

日本評論社・旧社時代出版目録（1）

七戸，克彦
九州大学大学院法学研究院：教授

<https://doi.org/10.15017/1957726>

出版情報：法政研究. 85 (2), pp.85-161, 2018-10-15. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

日本評論社・旧社時代出版目録（一）

七戸克彦

一 序論

二 初代社長・茅原茂時代の出版物

〈表1〉日本評論社・旧社時代出版目録（一）

.....以上本号

三 二代社長・鈴木利貞時代の出版物

〈表2〉日本評論社・旧社時代出版目録（二）

.....以上八六卷一号

一 序論

1 本稿の内容

筆者は、本誌前号において、末弘厳太郎「責任編輯」の『現代法学全集』（昭和三〇六年）が、版元の日本評論社第

二代社長・鈴木利貞の立案した企画であり、そのため、同社の既刊の出版物や鈴木利貞の出版戦略の影響を強く受けていることを紹介した（以下「前稿」という）^①。

この全集が、もっぱら末弘厳太郎の功績に帰する場合には、末弘の①人物と②業績を基礎に置いた考察を行ったであろう。^②これとまったく同様、ある出版物が、出版社（出版者）の主導で成立したものである場合には、出版社（者）の①社風（性格）と②それまで発行されてきた出版物の延長線上に、当該著作を位置づける必要が生ずる。

だが、日本評論社に関しては、正規の①社史も②出版目録も発刊されていない。そのため、前稿の執筆は、上記①および②の点を調査・確認する作業から開始された。

本稿は、右の準備作業のうち、②日本評論社・旧社時代（大正七年～昭和二十七年）の出版物に関する調査結果を整理したものである（なお、①旧社時代の社長（初代社長・茅原茂と二代社長・鈴木利貞）や編集者に関しては、本稿と同時並行的に掲載する別稿で論ずる）^③。

本稿ならびに別稿の目的は、前稿の記述内容・論旨を資料面から補強するとともに、今後筆者ならびに他の研究者が同種の研究を行う際に共有可能な共通プラットフォームを提示することにある。

2 日本評論社の書籍目録

(1) 日評アーカイブズ掲載目録

上記のように、日本評論社は「出版目録」を紙媒体では刊行していないけれども、日本評論社一〇〇周年記念事業「日評アーカイブズ」のホームページから、「日本評論社書籍目録（一九一八〜一九五二年）」のCSVファイルをダウンロードすることができる。⁽⁴⁾

(2) 鈴木三男吉作成目録

一方、同社の準「社史」的な著作である鈴木三男吉『回想の日本評論社』の「編集後記」(大石進)によれば、同書の第一部(「私記日本評論社史(戦前)」)は、鈴木三男吉が「旧社時代の出版目録をまとめられた際に、付録としてお書きになったもの」であり、同書刊行の経緯は、次のようなものであったという。⁽⁵⁾

大戦末期に社は、いわゆる横浜事件連座により有力な編集スタッフを失っている。またその最後には、新社への切り替えという「事件」が介在している。そのような事情もあって、旧社の出版目録の整理はもとより、「私記」の執筆も容易な業ではなかった。国会図書館その他に通い詰められ、あるいは発行雑誌の表紙裏の自社広告で確認をとるなど、大変な労力を払われたことを知っている。出版目録

と「私記」は鈴木さんの日本評論社に対する愛情のためなののである。

出版目録は日本評論社の宝物でもあるのだが、この種のデータを紙面にする時代ではなくなった。そこで、この「私記」を独立させて一書に仕立てると言うことがこの本の眼目であった。

筆者(七戸)は、前稿執筆の際、日本評論社より、鈴木三男吉『回想の日本評論社』ならびに鈴木三男吉作成書籍目録の電子データ(エクセル・ファイル)をご提供いただき、その記載内容を、上記(1)日評アーカイブズ目録と比較・対照したところ、両目録は、書誌事項の項目立ての内容・順番は異なるものの(鈴木三男吉目録の順番は、①発行年・発行月↓②著者・訳者↓③書名↓④判型↓⑤頁数↓⑥定価↓⑦備考、日評アーカイブズ目録の順番は、①分野(社会科学・人文科学・自然科学)↓②タイトル・サブタイトル↓③シリーズ↓④執筆者↓⑤出版事項(「東京・日本評論社出版部」等)↓⑥発行年・発行月↓⑦ページ↓⑧判型↓⑨版表示等↓⑩備考)、記載内容は(誤植等も含めて)きわめて類似しており、両者が参照した原資料は同一と推測された(この点に関しては、社に照会中のため、現段階でははっきりしないが、社所蔵の出版台帳に典拠し

たものか。

3 <CiNii Books> <NDL-Search>

これに対して、本稿〈表1〉〈表2〉は、基本的には① <CiNii Books>⁽⁹⁾ならびに② <NDL-Search> (国立国会図書館サーチ⁽⁷⁾)を用いて、日本評論社・旧社時代 (昭和二七年「日本評論新社」設立以前) に出版された書籍および雑誌を抽出したものである (表1〈表2〉各文献頭書の1〜はその年の通番、〔1〕〜〔2228〕は全文献の通番)。

しかし、これら二種の検索システムは、大学図書館・公共図書館のオンライン蔵書目録 (Online Public Access Catalog: OPAC) をベースに構築されているため、大学図書館・公共図書館に収蔵されないタイプ・性格の出版物 (受験参考書や当用日記など) については、<CiNii Books> <NDL-Search>では拾われなご。

(1) 受験参考書

たとえば初代社長・茅原茂時代の大正一三年、社は受験参考書の分野への進出を試み、①二月〔351〕中村八郎『国語の新しい学び方』、②十一月〔279〕松本七郎『模範答案・化学問題粹』、③十一月〔280〕山本宏一郎『模範答案・代数問題粹』、④十二月〔388〕納武津『 (受験参考) 英文解釈・作法・文法集成』の四書を発刊しているが、これ

らのうち①・③は、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録には記載があるが、<CiNii Books> <NDL-Search>ではヒットしない。一方、④は、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録のほか、<NDL-Search>でもヒットするが、<CiNii Books>ではヒットせず (つまり大学図書館には所蔵がないということである)。⁽⁹⁾については、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録、<CiNii Books> <NDL-Search>のいずれからも拾えない。

そのため、本稿〈表1〉〈表2〉作成に際しては、<CiNii Books> <NDL-Search>、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録のほか、日本評論社刊行の書籍・雑誌末尾の出版目録ならびに新聞広告・新聞記事 (書評等) から既刊が確認される出版物も拾う作業を行った。

(2) 当用日記

一方、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録には、第二代社長・鈴木利貞時代の昭和四年の刊行物に、著者名・杉村楚人冠の『新日記』なる文献が認められる (表1〜〔592〕)。この著作物は、<NDL-Search>ではヒットしないが、<CiNii Books>からは、同志社大学図書館が「新日記/同志社図書館〔編〕」データ種別「図書」、出版者「東京: 日本評論社」、出版年「一九二五—三五」、一般注

記「立案者・杉村広太郎」、著者標目「同志社図書館」、巻冊次「昭和五年」「昭和八年」「昭和十一年」なる文献を所蔵している旨の情報が得られる（右の書誌事項は、同志社大学 OPAC〈DOORS〉の記載を転記した）。

だが、『新日記』なる文献は、実際は白地の当用日記であって、その昭和五年版・昭和八年版・昭和十一年版に、同志社図書館が業務記録を書き込んだものが、同志社大学図書館に「図書」として分類・保存されているものである。

明治出版界の雄・博文館が『懐中日記』（明治二十八年）を発行して以降、出版社にとって、当用日記は、書籍・雑誌と並ぶ重要商品となっていた。⁽⁸⁾ 日本評論社の『新日記』に關しては、発行時の新聞広告に、「この『新日記』は杉村楚人冠氏の立案に成り、昨年まで『自由日記』の題名にて発行して来たものを改題したものでその体裁内容に至っては前のものと全くかはりません」とある。⁽⁹⁾ 杉村楚人冠（広太郎）立案の『自由日記』は、大正一〇年以來至誠堂から発行されていたもので、昭和四年に日本評論社が『新日記』を発行した後も、至誠堂は『自由日記』の出版を続けており（ただし、「杉村楚人冠先生立案」の謳い文句は掲げられなくなっている）、⁽¹⁰⁾ 杉村楚人冠立案の当用日記の出版をめぐる、両社の間にどのような経緯があったのか、

その背景事情は詳らかにならない（ちなみに、『新日記』発行当時の日本評論社は、『現代経済学全集』（1985）の失敗により経営破綻していた）。

なお、右『新日記』は、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録では、昭和一六年一二月発刊の翌一七年版まで、毎年独立書目として記載されているのに対して、〈CIN:Books〉（＝同志社大学 OPAC）では、全部で一点の年次刊行物としてカウントされている（『日本国勢図会』（1999）・『政治経済年鑑』（708）・『法律年鑑』（1018）等の年次刊行物についても同様）。その一方で、〈CIN:Books〉〈NDL-Search〉にあつては、雑誌の別冊付録についても、図書館が図書として OPAC に登録した文献は、独立した書籍に分類・登録されている（たとえば『昭和六年・日本経済大観』（713）は、雑誌「経済往来」六巻一号の付録であるため、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録には記載がないが、〈CIN:Books〉〈NDL-Search〉では独立書籍としてヒットする。一方、雑誌「法律時報」の臨時増刊である上記『法律年鑑』（1018）の分類は混乱している）。

本稿〈表 1〉〈表 2〉では、〈CIN:Books〉〈NDL-Search〉でヒットした出版物については、全点現物確認

のうえ、基本的に右データベース(＝図書館OPAC)の書誌事項に準拠した分類・挙示を行った。

(3) 国立国会図書館デジタルコレクション

その結果、本稿へ表1へ表2へ掲記した出版物の総点数は二二二八点となったが、これらの資料の現物を実見・確認することは、実際にはさほど難儀な作業ではない。国立国会図書館所蔵資料のうち、昭和四三年以前の出版物は三〇〇万点がデジタルデータ化されており(国立国会図書館デジタルコレクション)、そのうちの一五〇万点については「図書館向けデジタル化資料送信サービス」参加の図書館で閲覧可能であるほか(表1へ表2へ)で「D」と表記してあるもの、著作権の切れた五〇万点についてはインターネットで一般公開されているところ(表1へ表2へ)で「D」と表記してあるもの、日本評論社の旧社時代(昭和二七年以前)の出版物に関しては、その大半がデジタル化資料送信サービスで閲覧可能だからである。

それゆえ、多少手間のかかる作業は、①<NDL-Search>でヒットしない資料ならびに②国立国会図書館は未所蔵で全国の公立図書館が所蔵している資料であるが、③それらが<JINii Books>でヒットすれば、大学図書館の相互貸借制度を利用して現物を見ることができ

で、難物は、④地方の公共図書館だけに収蔵されている資料と、⑤鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録や新聞広告等に既刊の記載はあるが収蔵館のない出版物である。

このうち④に関しては、機会を見て現地に足を運んだほか、表紙・内表紙・目次・奥付の複写を依頼するか、書誌事項に関するリファレンス調査を依頼した。

(4) 未見資料

一方、⑤に関しては、東京書籍商組合『出版年鑑』等の資料から、当該出版物の書誌事項を探索したが、誠に遺憾ながら、目下のところ、以下の七点に関して、その詳細が明らかにならない。

[246] 茂森唯士(編)『少年詩人トーマス』

[251] 中村八郎(著)『国語の新しい学び方』

[279] 松本七郎(著)『模範答案・化学問題粹』

[286] 稲葉岩吉(君山)(著)『満洲発達史(増補版)』

[588] 太田正孝(個人執筆)『経済人』

[712] 日本評論社経済研究所(編)『日刊景気特報』

[754] 日本評論社経済研究所(編)『企業週報』

もともと、[246] [251] [279] は、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録に記載があるので、日本評論社が現物を保存しているかもしれない(社に照会中で回答待ちの状

態にある⁽¹²⁾。

[289] は、〈CiNii Books〉で中国・天津図書館日本文庫・遼寧省図書館の二館所蔵がヒットするもので、国内の図書館に所蔵されているのは、大正四年五月大阪屋号より発行された（発兌）大阪屋号出版部・（発売）大阪屋号書店 内藤虎次郎（湖南）（序）・稲葉君山（著）『滿洲発達史』と、昭和一〇年一月日本評論社より出版の『増訂・滿洲発達史』（表2）（933）のみである（目下、上記中国の図書館に表紙・奥付の複写依頼中であるが、当該書籍をOPACに登録した際の書籍名あるいは刊行年の入力ミスの可能性もある）。

[598] および [712] [754] は、いずれも東京朝日新聞の広告から拾ったもので、このうち [598] 「経済人」の広告には「経済学博士太田正孝個人執筆」とあるが、書誌事項の詳細は不明⁽¹³⁾。

一方、[712] 「日刊景気特報」の責任執筆者は勝田貞次・高橋亀吉・小島精一・向井鹿松の四名、会員数一〇〇名の「景気研究会」入会者のみを購読者とする限定会員制度は、初代社長・茅原茂時代の世界思潮研究会「世界パンフレット通信」等でも用いられた日本評論社得意の販売戦略であるが、東京朝日新聞昭和六年一月七日朝刊七面

「金！金！金！貨殖時代／エロ・グロ出版物を圧倒して／金まうけ当込出版が大当り」と題する記事中には――、

従来文学物を主としてゐた春陽堂では時代に動かされてか昨年十一月から十銭で大衆雑誌「実際と経済」を創め、日本評論社では「日刊景気週報」⁽¹⁴⁾を発刊、雑誌「海外」では新年付録として「海外金儲読本」をだしてゐるが、各書店共大衆経済物に着目してゐるらしい。

とあり、また、同年九月一九日朝刊一面広告には――、

「日刊景気特報」は彌々その真価を認められ、会員は急激に増加しつつある。継続申込も勿論百分⁽¹⁵⁾だ！

何故か？

発刊以来経済界の幾変動に際して「本特報」は的確・迅速に予則を報導した。

「本特報」の最大の強味は日刊であることだ。日々に変る微妙なる財界の動向は「日刊」に依つて始めて的確に報導し得る。

勝田貞次氏の科学的予測法は絶対的な信用を博した。

とあることから、この企画は比較的成功したようである。

[54] 「企業週報」に関しては、東京朝日新聞昭和六年六月二六日夕刊四面「日刊景気特報」広告中に、以下のような記載がある。

国際モラトリアム案の影響如何？

国際モラトリアム案は財界に如何な影響を及ぼすか？ その影響は非常に大きなものがある。それがドウいふものであるか？ 投資家は本「特報」を読んで其の詳細を知れ！ 此の機を逸する者は落伍者！！

これこそ景気の新聞！！

「景気特報」は景気の新聞だ。最も敏活に毎日々々、財界の変化と影響を読者に速報する

「企業週報」の刊行

更に新たに、毎週一回「企業週報」を刊行、投資家必読、会社内容の公平精確な診断だ

之を加へて「景気特報」の真価愈揚がる！（見本会則進呈）

◇会費一ヶ年百円 半ヶ年六十円

だが、「日刊景気特報」「企業週報」編集の中心人物である勝田貞次は、時事新報社「景気研究所」発行の「景気週報」（日本評論社「日刊景気特報」発刊三か月前の昭和五年九月創刊）の主幹も務めていた。⁽¹⁴⁾ こうした競合他誌や自社の月刊誌「経済往来」(340)との関係、「日刊景気特報」「企業週報」の廃刊時期についても、調査は目下のところ手詰まりの状態にある。大方のご教示を賜りたい。

4 刊行年月日

右の七点を除く出版物については、全点現物を見ているので、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録あるいは〈CINii Books〉〈NDL Search〉の書誌事項のうち、著者名・出版物名の不正確な箇所については、本稿へ表1へ表2へでは、すべて誤りを正してある。⁽¹⁵⁾

また、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録記載の出版時期が、現認した出版物の奥付の記載と異なるものについては、その旨を表中に注記したが、ただし、初刷の印刷ならびに発行年月日に関しては、現物を参照してもなお明らかでない場合がある。というのも、日本評論社の書籍に限らず、およそ一般に、戦前の出版物は、何刷目であるかを記載していない場合がほとんどなので、現認した出版物が初刷であるかどうかの判別がつかないからである。ただ、日本評論社の出版物も、他の出版社と同様、印刷日の五日後が発行日であることが多く（これは一説には内務省〔警保局図書課〕の検閲に要する時間を空けたものともいわれる）、また、印刷あるいは発行日は基本的に「五・十日」⁽¹⁶⁾なので、参照した蔵本の印刷・発行日が五・十日でない場合、あるいは印刷日と発行日の間が不自然に離れている場合には、他の收藏館の蔵本も探索した。

しかしながら、発行日が五・十日の蔵書が発見されない場合もある一方で、出版日が五・十日であるからといって、それが初刷であるとは限らない。それゆえ、出版日の記載に関しては、当該日付にて何刷目かが発行されている、という目安程度にお考えいただきたい。

二 初代社長・茅原茂時代の出版物

初代社長・茅原茂時代（大正七〜一四年）の日本評論社の出版物のうち、書籍（図書）に関しては、美作太郎『戦前戦中を歩む』の中に、比較的詳細な記述があるほか、鈴木三男吉『回想の日本評論社』にも言及がある。¹⁷⁾

美作太郎は、茅原茂時代の「社が、これを取り巻く『同人』の選好と縁故から生み出される出版物を、焦点のきまらないままに、そして専門的な不十分さのままに出版してきた」と評しているが、昭和四年一月一日「文芸時報」九五号記事には、次のようにもある。¹⁸⁾

古往今来出版業者は少くないが、凡そ茅原君ぐらゐ出版を濫発したものは多くなからう。小説よし、政治法律経済書よし、学生参考書よし、苟くもまとめて本になるものであれば何でもかでも引受けて刊行し、そして一月と経たぬ

間に片っ端から残本を見切品に処分し、まるで残本の製造問屋のやうなことをしてそれで平気であった。去りとして同君の刊行物がすべて失敗であったといふ訳ではなく、中にも世界思潮研究会名義で発行したパンフレットの如きは大に当たつたさうである。そのためかどうかは知らぬが、兎に角一時は大層景気がよく、社屋を新築する、自分は落合の自宅から毎日自動車で通勤するといふ豪勢振りを発揮してゐたといふ話も聞いてゐる

東京市本郷区弓町一丁目二五番地の自宅兼社屋に、茅原茂が東京府豊多摩郡西大久保百人町一〇七番地から転居し、雑誌「日本評論」の発行所である「日本評論社」が神田区駿河台鈴木町一二番地から移転するのは、大正七年七月のことであつたから、右記事には不正確な部分があるが、一方、成功を収めたとされる「世界思潮研究会名義で発行したパンフレット」については、美作太郎・鈴木三男吉はほとんど言及していないので、以下では、とくにこのパンフレットに焦点を当てて、美作・鈴木の著述の補遺を行う。

1 「世界パンフレット通信」

日本評論社・茅原茂が「世界思潮研究会」名義で発行したパンフレットの正式名称は「世界パンフレット通信」、初号の発刊は大正一〇年三月五日、創刊月の新聞広告では、

「刮目せよ！新時代の文化機関生る!!!」の見出しの下に、次のような宣伝文が掲げられている。⁽²⁰⁾

国際関係の緊密は広く世界的背景に対する明確なる意識を必要とする。然し乍ら為に幾千の新書に眼を曝し、幾万の外国新聞雑誌を涉獵する事は、現代人の多忙と精力が許さぬ。即ち本通信は此の充たされざる要求に應ずるもので、

広く政治、経済、軍事、社会、産業、教育、思想、文芸、学術、宗教等の各部門に亘り、その資料を欧米並に支那の新聞、雑誌、著書等に求め、之れに厳選を加へて各専門諸大家の反訳及解説を煩はし、各篇をパンフレットとし、毎月五、十の日に発行す。故に報告の敏速なるは勿論、保存にも携帯にも甚だ便利を極め自動車内、人力車の上、電車の中、随時随処自由に繰く事を得。従つて読者は時間と労力との極度の経済を条件として、而も能く世界の大勢と最新思潮に通達する事が出来る。

会費は、すべて前金で、一か月一円、半年一二円（別に新刊名著全訳一冊進呈）、一年二四円（別に新刊名著全訳三冊進呈）。

（一） 各号の内訳

右の会員募集広告にある通り、発行日は毎月五・十日で、通常号は月六回の刊行であるが、このほかに月一〜二回の

「号外」「特別号外」が発行されている。判型はいずれも四六判、頁数は少ない号で十数頁から多い号では百頁近いものもある。各号の内訳は以下の通りで、記事の内容は、当初は上記広告にもあるように、外国の新聞・雑誌の翻訳が多かったが、その後、次第に独自の著作が増加してゆく。

【大正一〇（一九二一）年】

3・5	1号	上海時事新報（所載）・張東蓀（上海時事新報主筆）『過激主義と支那』
10	2号	フォートナイトリ・レヴュー（所載）／アーキボールド・ハード（述）『世界の海運』（内表紙の記載は『世界の海運——勢力の均衡』）
15	3号	アトランテック・マンスリー誌（所載）／レラ・パスボルスキー（述）『労働露国の智識階級』（内表紙の記載は『労働治下の智識階級』）
20	4号	リヴィング・エーヂ誌（所載）／ジヤン・ヘルベツテ（述）『独逸の現状』
25	5号	アメリカン・レヴィユウ・オブ・レヴィユウ・ス誌（所載）『今年の米國財界予想』
30	6号	露国々境問題論集中より／ウイルヘルム・キスキー（著）『新興國ウクライナ』（内表紙の記載は『新興國ウクライナの歴史及國情』）
30	号外	支那研究輯録（所載）／パートランド・ラ

4・5	7号	ツセル（講演）・板橋卓一＝大畑達雄（編輯）『ボルシエウイキと世界政治』 コレスポンダン誌（所載）『英仏の利害の衝突は那辺に存在するか』 ノース・アメリカン・レビュー（所載）／アール・ダブリュー・レヤール（述）『日本と太平洋沿岸』 ナインティーンズ・センチュリー誌（所載） ／サー・デボン・ジョルダン（述）『予の知る支那名士』 コムマーシャル・エンド・フアイナンシャル・クロニクル誌（所載）『千九百二十年の米国外貿易』 メードウエーク・ピクトリアル誌（所載） 『過激派人物の性格スケッチ』（内表紙の記載は『労働露国を支配せる過激派人物の性格スケッチ』） （ハ爾賓）ルースキイ・ゴロロス紙（所載） ／アレキサンドル・クープリン（著）『労働露国の真相』 『世界画報（1）』 リヴィング・エイジ誌（所載）／デイミトリ・ウマンスキイ（輯）『トルストイと革命家との対話』（内表紙の記載は『トルストイと革命家の対話』） （支那）改造誌（所載）・梁啓超（著）『歴史上に於ける中華国民事業の成敗と今後の	15	15号	革進の機運』 テラドル・シーマン（著）『英国の弱点』 『雑纂（1）』（フォートナイトリー・レビュー誌（所載）／シスレー・ハツドルストン（述）『世界の脅威』ほか） 馬場孤蝶（述）『露国作家の傾向とクウブリン』 ウオルター・ガリカン（著）『性の教育』 ロオ・ストレイチイ（著）『世界思潮研究会（訳）『人民投票の理論と実際』』 『世界画報（2）』 ジエー・エリス・パーカー（述）『石炭と海運』（内表紙の記載は『石炭と海運——英米の地位』） （字林浪）ノース・チャイナ・デーリー・ニュース（所載）／ロドニー・ギルバルト（述）『支那に於ける外国人の権利』（内表紙の記載は『支那に於ける外国人の権利——（附録）支那に於ける外国人の安定』） （米国）リウヴングエージ誌（所載）『日本及東洋の将来』 バアナード・シヨウ（作）・渡平民（訳）『一幕物』（内表紙の記載は『新聞切抜（一幕物）——禁無断興行』） （米国）アトランチック・マンズリー（所載）／エチ・イ・ヴィ・フエイ（述）『モスコウの現状』（内表紙の記載は『モスコウ
10	14号	15	22号		
5・10	30 12号 13号	15	号外		
25	11号	15	21号		
20	号外	10	20号		
20	10号	6・5	19号		
15	9号	25	17号		
10	8号	20	16号		

11・5	30	25	25	15	10	10	10	30	特別号外	世界思潮研究会（編）『太平洋問題漫画集』
	48号	47号	号外	45号	号外	44号		43号		フオトナイト・レビュー誌（所載）ノセシル・パツチン（述）『日英米三角関係』（内表紙の記載は『親米論者の眼に映じたる日英米三角関係』）
										イー・ゼー・ウルイツク（著）『社会進歩の哲学』
15	51号									小山精一郎（著）『西伯利の富源及政情』（内表紙の記載は『極東問題研究資料』西伯利の富源及政情——附・極東共和国国際管理論）
10	50号									尾瀬敬止（著）『ルナチャールスキー』（内表紙の記載は『労農文化の中心人物ルナチャールスキー——附録・レーニンの日常生活』）
10	49号									リテラリー・ダイジェスト誌（所載）『土耳其衰亡史』
										尾瀬敬止（訳纂）『露西亜革命小史』（内表紙の記載は『ロシア革命小史』）
										『華盛頓の姿鏡』（内表紙の記載は『華盛頓の姿鏡——米國十四大人物』）
										牛丸潤亮、内山守太郎（共述）『在外鮮人の現状』
										安東源治郎（訳纂）『性格解剖学』
										村川堅固（著）『米國とサント・ドミンゴ』
										パラトン・パログ・ベネデク（述）『汎ツラン同盟』（内表紙の記載は『汎ツラン民族

【大正二一（一九二二）年】

1・5		30	25	20	15	10	5	20	同盟】	ヘクター・シー・バイウォーター（著）・小山精一郎（訳）『日米両国の紛争問題』
	61号	60号	59号	58号	57号	56号	号外	52号		茂森唯士（編）『哀史セメモノフ』
										『世界画報』（6）
										河田嗣郎（著）『政務組織と経済組織』（内表紙の記載は『政務組織と経済組織——二権分立論』）
										『ダツチ港の研究』（ゼー・ゼー・アングダー
										ウッド（述）「軍港としてのダツチ港」、
										ゼー・ゼー・アングダーウッド（述）「商港としてのダツチ港」、
										遠藤隆吉（述）「北進の必要と日米の接近及競争」
										ミラード・レヴェュー（所載）・ゼー・ビー・
										パウエル（述）『華盛頓案内』
										ミラード・レヴェュー（所載）『米支親善論』
										稲葉君山（著）『支那自治の将来』（内表紙の記載は『支那自治の将来——附・浙江及
										湖南の省憲問題／公布されたる郷自治制』
										世界思潮研究会（編）『お伽十二月』
										茂森唯士（著）『労農露國の經濟政策』（内表紙の記載は『労農露國の經濟政策——附・露國が今求めてゐる道』）
										世界思潮研究会（訳纂）『ジヨツフル將軍
										伝』

20	15	10	10	6・5	30	25	20	20	15	10	5・30	25	
93号	92号	号外	91号	90号	89号	88号	号外	87号	86号	85号	84号	82号	
小島徳彌(編)『最近思潮及び批評(第一	渡辺清(訳)『文明に殺された男の話』	重国家組織の研究』	重組織と三重組織——ギルト社会主義対三重国家組織の研究』	世界思潮研究会(訳纂)『国家の二重組織と三重組織』(内表紙の記載は『国家の二重組織と三重組織——ギルト社会主義対三重国家組織の研究』)	ジョン・スパーゴ(著)・小山精一郎(訳)『日本と西伯利』	世界思潮研究会(訳纂)『華盛頓会議全史(上)』	(桑港)エキザミナー紙(所説)『埃及の独立するまで』	オン誌(所載)『世界金融界の現状と前途』	世界思潮研究会(訳纂)『華盛頓会議全史(上)』	会(調査)／(米国)カーレント・オピニオン誌(所載)『世界金融界の現状と前途』	世界思潮研究会(訳纂)『支那研究雜纂』	チェンバーレン(著)『日本人の愛国教』	人の役割』
20	15	10	8・5	30	25	20	15	10	7・5	30	25	25	
104号	号外	103号	102号	101号	100号	99号	98号	97号	96号	95号	94号	94号	
『世界思潮研究会(訳纂)『現下経済界重要問題雜纂』	(中)』	世界思潮研究会(訳纂)『華盛頓会議全史(中)』	世界思潮研究会(訳纂)『華盛頓会議全史(中)』	小山精一郎(著)『モンロー主義の真相』	小島徳彌(編)『最近思潮及び批評(第二輯)』	世界思潮研究会(訳纂)『華盛頓会議全史(中)』	世界思潮研究会(訳纂)『東洋芸術と近代主義——附録・文学に現はれた月』	世界思潮研究会(訳纂)『独露人の新しき生活』	世界思潮研究会(編纂)『現代に活躍する世界名士録』(内表紙には「第百号記念特輯号」とある)	ロバート・ライヴズ・ラモント(著)・世界思潮研究会(訳)『新旧社会主義批判』(内表紙の記載は『新旧社会主義批判——マルキシズムとサンヂカリズム』)	小山精一郎(著)『モンロー主義の真相』	小島徳彌(編)『最近思潮及び批評(第二輯)』	世界思潮研究会(訳纂)『東洋芸術と近代主義——附録・文学に現はれた月』

		【大正二(一九一三)年】			
25	130号	伊藤奎二(述)(於・電気学会通俗講演会)			
		『家庭電化と其の実験』			
		『華盛頓會議全史(下)』			
25	号外	『世界思潮研究会』調査部(訳纂)			
15	139号	小野純蔵(訳纂)『無発動機飛行機』			
10	138号	小山精一郎(著)『米国下院論』			
2	5	レ・パスウォルスキイ(著)・早坂二郎(訳纂)『黄色組合と赤色組合』(内表紙の記載は『黄色』組合と『赤色』組合——附録・労働の創造——レーニン)『安島健(編)『伯刺西爾の方へ!』モオパッサン(原作)・安島健(抄)『ペラミー物語』(内表紙の記載は『ペラミー物語——名著梗概第一編』)中泉春男(編)『無線電話の話』重徳泗水(著)『仏国政党の現状とその批判』(内表紙の記載は『仏国政党の現状と批判』)	15	10	133132131号
30	30	小野純蔵(編)『労働代表ヨッフエ』(内表紙の記載は『労働代表ヨッフエ——附録・ロシア共和国の構成』)	25	20	135134号
4	5	エヴァレット・ホイラー(原著)・松本悟朗(訳)『米国に於ける労働運動の発達』	15	10	145144号
30	号外	ヂュシエン(原著)・藤尾正雄(訳)『エストニヤ共和国』	25	20	148147号
30	149(6)号		3	5	143(1)号
25	20	『世界思潮研究会』調査部(編)『愛蘭問題経緯』	28	142号	
20	140号	ロドニイ・ギルバート(原著)・峰村新一郎(訳)『支那と共産主義』	25	141号	
15	号外	アンリ・バルビウス(原作)・安島健(抄)『地獄物語』(内表紙の記載は『地獄』物語——名著梗概第二編)ダニエル・ド・レオン(著)・松本悟朗(訳)『同盟罷業の意義』ニコライ・レーニン(原著)・茂森唯士(訳)『ロシア革命の五箇年』(内表紙の記載は『ロシア革命の五箇年——附録・農業税の意義』)	15	10	145144(2)号
150	7号	小山精一郎(著)『英国憲法の真髓』(米国)リテラリー・ダイゼスト誌(調査)・保坂定三郎(訳)『世界現下の油田争奪戦』	15	10	145144(3)号
4	5	染井螳螂(著)『支那海より印度洋へ』	25	20	148147(4)号
30	号外	ジュセン(原著)・藤尾正雄(訳)『ラトウイヤ共和国』(内表紙の記載は『ラトウイヤ共和国——附録・リトワニヤ共和国』)	25	20	148147(5)号
30	149(6)号	エミユル・ゾラ(原作)・安島健(抄)『ナナ物語』(内表紙の記載は『ナナ』物語——名著梗概第三編)千原楠蔵(著)『所謂二十二箇条問題』	150	7号	148147(5)号
150	7号	信定瀧太郎(著)『独逸社会党と労働組合』			

12・5 181(1)号 然的革命』

『世界思潮研究会』調査部(訳纂)『世界は日本の震災を如何に見たか(第一輯)』(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部……〔240〕

【大正一三(一九二四)年】

1・10 182(2)号 本会(世界思潮研究会)調査部(訳纂)

『世界は日本の震災を如何に見たか(第二輯)』(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部……〔243〕

25 183号(号外)イー・マーク・ハム・リー(述)・世界思潮研究会(抄訳)『音楽の新智識』(発行所)

世界思潮研究会、(発売所)日本評論社出版部〔245〕……〔262〕『音楽の一般的智識』

2・10 184(3)号

本会(世界思潮研究会)調査部(訳纂)『世界は日本の震災を如何に見たか(第三輯)』(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部……〔246〕

20 185(4)号

平林初之輔(著)『日本自由主義発達史』(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部……〔249〕

(2) 監輯・編輯主任・特別寄書家

大正一〇年三月創刊時の会員募集広告ならびに創刊号の巻頭には、「執筆及監輯」者として、稲葉君山(陸軍大学

教授)・馬場胡蝶(慶応大学教授)・長瀬鳳輔(參謀本部編輯官)・昇曙夢(正教神学校教授)の四名の名が挙げられていたが、二号以降の巻頭の記載には、煙山専太郎(早稲田大学教授)のほか、「編輯主任」として大畑達雄(後の大畑書店創業者)の名が加わっている。

なお、創刊半年後の九月以降の新聞広告には、「特別寄書家」として西田博太郎・河田嗣郎・内藤虎次郎(湖南)の三名が挙げられている。²¹⁾その後、翌大正一一年一月の新聞広告では、「監輯」に関しては、煙山専太郎が留学のため外れているが、「特別寄書家」は、飯塚啓・蜷川新・林毅陸・西田博太郎・河田嗣郎・田中萃一郎・坪井九馬三・永井潜・内藤虎次郎・村川堅固・遠藤隆吉・遠藤源六・平沼淑郎の一三名に増える。²²⁾

一方、各冊の奥付には、「編纂兼発行並に印刷人」として野沢源之丞の名前が記載されている場合がほとんどであるが、野沢源之丞が「編纂兼発行人」で、「印刷人」が鈴木利貞の冊もある(四一号、七七号など)。

(3) 創刊半年後の編集方針

創刊から半年を経た大正一〇年八月三〇日発刊の三六号には、次のような会員への告知文が掲載されている。

敬愛する諸君に

—— 今後の新計画に就いて御報告 ——

「試みの半年」が過ぎました。そこで半週年間の経過と、此の試みに依つて具体化された今後の計画、方針を、此の際御報告致したいと存じます。

実を申すと、最初計画の際は、かうした新しい試みが、果して受け容れられるか何うか、多少不安の念がないでもなかつたのです。ところが、やつて見ると、予想意外！実に予想外の白熱的大歓迎を受けまして、会員は幾何級数的に増加又増加しつゝあります。

斯くて会の基礎も確立し、前途の見込も充分立つやうになりましたから、茲に愈々第二期の活動に着手することになりました。で、先づ改善の手始めに、有力記者数名を増聘し、従来多少不統一の憾あつた内部組織を「編輯部」「翻訳部」「調査部」の三部組織とし、従来の編輯主任大畑達雄氏を専任翻訳部主任に、又、新に入社した上野一也氏を編輯部及調査部主任とし、別に各専門有能者をそれぞれ配置して、組織的に其の歩式を進めることになりました。

一、今後の編輯方針

六ヶ月間に配本致した四十余冊のパンフレットは、恐らく、非常にお気に召したのもあると共に、又、必ずしも

さうでなかつたものもありませう。又、その選択標準が、多少雜駁の嫌ひもあつたでせう。が、是は創業勿々の不手廻りからといふよりも、寧ろ斯うした種々なるものを「試験的」に配本して、読者諸君大多數の御意嚮、御要求を觀測したい為に外ならなかつたのです。で、今日は、略その見当も立ちましたから、今後の編輯方針は、先づ

A、世界的中心時事問題（目下の場合で申さうならば、太平洋會議を主題とする各種の問題）を主とし、

B、之に關するに社会問題、思想問題、実業、経営に關する新研究新消息、又、特に科学上の新知識を重要視し度いと存じます。

C、それから、世界各国の歴史的地理的事情（尤も是れは新しい変化に基づいた新研究に限ります）

D、画報は製版印刷上革命的大改良を試むべく、目下研究中であります。

E、又、今後は大に漫画趣味を取入れます。取敢ず九月中旬には『太平洋問題漫画集』を出します。

F、名著の紹介、新人物評論、此れも亦時々取入れます。

以上が編輯方針の大体ですが、要するに此のパンフレットの生命は、飽くまで一般的、普遍的なる点にあります。随つて、余りに局部的、専門的、非一般的のものは、今後

は避けたいと思ひます。例せばラッセル氏の著述の如き、その社会問題に関するものは今後も採択する場合がありますが、哲学に属するもの、如きはパンフレットからは除外します。本会が別に『ラッセル叢書』を刊行したのも此の趣意に外ならぬのであります。

二、太平洋問題と本通信

世界の国際政局に画時代的大変化を与へんとする太平洋問題に関する活資料は、抜目なく蒐集紹介しつゝあります。が、今回法学士小原正樹氏の渡米（約二ヶ年滞米の予定）を幸ひ、同会議に関する詳細なる通信を囑託致しました。殊に同氏は渡米後或特種な任務に就かれる筈で、其の特種の立場から見聞した同会議表裏両面の消息は、決して他の追隨を許さぬ特色あるものです。

三、世界パンフレット通信地方支部

地方支部は其の後逐次増加し、左記六ヶ所、新設を見るに至りました。

△山梨県甲府支部、甲府市柳町周藤孝平△青森県弘前支部、弘前市土手町今泉道次郎△兵庫県西宮支部、西宮町太陽堂書店△兵庫県神戸支部、神戸市元町宝文館支店△福岡県福岡支部、福岡市博多中島町金文堂支店△朝鮮大邱支部、大邱府庁内佐々木静雄

四、世界パンフレット賞金

第二回懸賞「誤脱指摘」第一会にもまして多数の応募がありました。本号で其の結果を御報告致す筈であります、何分其調査が困難なので、来九月十日号の誌上には必ず発表いたします。

右の告知文のうち、「三、世界パンフレット通信地方支部」は、かつての茅原華山||石田友治「第三帝国」における「益進会」地方支部のような思想浸透・販売促進のための組織ではなく、おそらくは地方在住者のための冊子の頒布場所だったと考えられる（五日ごとに会員一人一人に冊子を郵送したのでは費用がかさむ）。

これに対して、「四、世界パンフレット賞金」は、読者に誤植を発見させ、その指摘数の多い者に対して賞金を支払う企画で、発行間隔の短さから生ずる誤植の多さを逆手にとった、奇抜な販売促進策である。

2 「太平洋問題通信」「世界通信」「太平洋問題通信録」

一方、上記告知文「一」「A」および「二」にある太平洋問題に関しては、国立国会図書館デジタルコレクションで、「世界思潮研究会版」名義の以下の謄写版（ガリ版刷）冊子を観覧することができるが――、

① 『太平洋会議と各国新聞論調』（大正一〇年九月一五日

印刷、大正一〇年九月二日発行、編纂兼印刷竝に発行人・野沢源之丞

② 米国ハウス大佐(述)・費府(フィラデルフィア)パブリック・レジャー紙所載『太平洋會議と日英米支の立場』(大正一〇年一〇月二日印刷、大正一〇年一〇月一六日発行、編纂兼印刷竝に発行人・野沢源之丞)

③ 紐育タイムス紙所載『日本の恐怖』(大正一〇年一〇月二三日印刷、大正一〇年一〇月二八日発行、編纂兼印刷竝に発行人・野沢源之丞)

④ 巴里レクチュール・プール・トゥス誌所載『言論界の覇

王ノースクリフ卿の来朝』(大正一〇年一〇月三〇日印刷、大正一〇年一二月三日発行、編纂兼印刷竝に発行人・野沢源之丞)

——このうちの②と④については、「世界パンフレット通信」の派生冊子として大正一〇年一〇月より刊行された「太平洋問題通信」の一部(「速報」ないし「特報」)である(後述(3))。

(1) 「太平洋問題通信」

この冊子に関しては、遺憾ながら現物を確認できていないが、大正一〇年一二月五日発行「世界パンフレット通信」五一号『汎ツラン同盟』巻末掲載の広告によれば、

「世界パンフレット通信」の「監輯」者のうち、馬場胡蝶を除く三人——稲葉君山・長瀬鳳輔・煙山専太郎——を「編集顧問」に戴き、小山精一郎・浅野利三郎の二名を「編集主任」として、大正一〇年一〇月一日より翌二一年四月一日までの六か月間、①「速報」(毎月五〜一〇回)、②「特報」(毎月五〜一〇回)、③「本報」(毎月一回)、④「太平洋會議史」(総集編)のほか、⑤「特別寄書」を随時頒布するものである(なお、⑤「特別寄書」の寄稿者は、大正一一年より「世界パンフレット通信」の「特別寄書家」となる前記1(2)の一三名のうち永井潜を除く二名)。限定二〇〇名の会員制で、会費は一月分一〇円、六月分五〇円と、かなり高額である。

(2) 「世界通信」

この冊子の収蔵館は、大阪市立大学学術情報総合センターのみであるが、創刊号(二号)の内表紙には「太平洋通信改題/世界通信(1)」「アメリカン・レビュー・オブ・レビュー誌/四国協定批判」とあることから、上記(1)「太平洋問題通信」の継続後誌であることが知られる。

大阪市大蔵本は奥付を欠いているため、創刊年月日は不明であるが、次述(3)「太平洋問題通信録」創刊号(大正一〇年一〇月三十一日発行)の「凡例」には、「尚又、本

会は、この通信の外、別に『世界パンフレット通信』『世界カード通信』を、発行して居る」とあることから、創刊は大正一〇年一〇月以前のものである。

(3) 「太平洋問題通信録」

東京朝日新聞大正一〇年二月九日朝刊七面の出版物紹介には――、

◇太平洋問題通信録（世界思潮研究会報告）（一）太平洋問題に関する諸般の資料を系統的に然も研究調査に便利なやうに輯録したもので軍備制限、極東、太平洋、移民問題その他有益な研究資料に富む（非売品、本郷弓町一の二五世界思潮研究会）

――とある。しかしながら、同冊子の創刊は、上記のように大正一〇年一〇月（三一日）のことで、大学図書館蔵本では、十一月（三〇日）発行の二号、十二月（三〇日）発行の三号の計三冊を現認できる。

また、創刊号の「凡例」には「此の通信録は、専ら問題に対する解説を本位とし、刻々の変化、急を要する資料、乃至、長文に互る研究資料は、別に『速報』若くは『特報』を以て刻々快速に通信することとする」とあることから、前記（1）「太平洋問題通信」の「本報」に相当する冊子のようにも見受けられるが、しかし、上記（2）「世

界通信」が「太平洋通信改題」とされていることとの関係は不明である。

なお、各号末尾の「編集局より」には、大正一〇年一〇月・十一月・十二月の各月に発行した「速報」および「特報」が掲記されている。

【大正一〇年一〇月】（一〇冊）

1	特報	「日米両国の紛争問題」
2	同	「太平洋会議と日英米支の立場」
3	同	「極東共和国の憲法」
4	同	「華盛頓会議と支那の運命」
5	同	「世界大洋時代」
6	速報	「太平洋會議に失敗せば」
7	同	「日本の恐怖」
8	同	「太平洋商権の焦点ダツチ港」
9	同	「ロイド・ジョージ氏の勢望失望」
10	同	「排日米人の山東問題批判」
【大正一〇年十一月】（一五冊）		
1	特報	「英国代表者の人物及閱歴」
2	同	「北進説と日本の接近及競争」
3	同	「華盛頓會議と支那の運命」
4	同	「欧米の新兵器」

9	同	「独逸より見たる華府会議」
8	同	「華府に於ける広東政府代表の宣言」
7	同	「海軍経費の費途如何」
6	同	「日英同盟の廃棄は日露独同盟を誘致せん」
5	速報	「ストラウス提督の来朝」
4	同	「華府會議の裏面觀」
3	同	「一八九八年より一九二二年まで」
2	同	「予が太平洋上の戰爭觀」
1	特報	「日本のありのまゝ」
		【大正一〇年二月】(一〇冊)
15	同	「英国海軍縮小の真相」
14	同	「支那南北対立と華府會議」
13	同	「極東政策の眼目」
12	同	「大洋杖は戸外に」
11	同	「華府會議問答」
10	同	「日米問題の厳正批判」
9	同	「太平洋會議と支那の態度」
8	同	「華盛頓案内」
7	同	「海軍縮小案」
6	同	「華府會議の主要問題」
5	速報	「言論界の霸王」

10 同 「華府會議に於ける露西亜問題」

上記2国立国会図書館デジタルコレクション閲覧可能資料のうち、②は大正一〇年一〇月2の「特報」、③は同月7の「速報」、④は一月5の「速報」であることが分かる。

3 『ラッセル叢書』『エポック叢書』

ところで、鈴木三男吉『回想の日本評論社』は、「この時代の出版傾向は、大正デモクラシーの台頭期の例外にもれず、社会改革の志向や新しい社会思想の紹介が中心をなしている。『ラッセル叢書』、『エポック叢書』などがその現れであるが、これは「世界思潮研究会」と密接な関係があったためであろう」と述べていた。⁽²³⁾

(1) 『ラッセル叢書』

このうち、松本悟朗⁽²⁴⁾が翻訳ならびに解説を担当していた『ラッセル叢書』(全八編)は、前記1(3)「世界パンフレット通信」創刊半年後の告知文「一」が述べていたような事情で、独立のシリーズとして大正一〇年八月より発刊されたものである。各巻の内訳は、以下の通り。

〔1〕 8・6 第一編 『神秘主義と論理』……世界パンフ

レット通信大正10・7・20号外の単

行本化

- [117] 15 第二編 『自由教育に於ける科学の位置
——附録・自由人の崇拜』……世界
パンフレット通信大正10・8・10号
外の単行本化
- [125] 9・3 第三編 『物理学対感覚与科の關係』
- [127] 13 第四編 『数学と形而上学者——附録・数学
の研究』
- [135] 10・7 第五編 『哲学に於ける科学的方法』
- [144] 25 第六編 『物質の究極的要素』
- [156] 12・5 第七・八編 『原因の觀念に就いて』『直智と叙
述智』
- (2) 『エポック叢書』
- 一方、『エポック叢書』(全六編)の刊行開始も『ラッセル叢書』と同じ大正一〇年八月、内訳は左記の通りであるが、この叢書の刊行の理由も、『ラッセル叢書』と同様であつたかもしれない。
- [115] 8・10 第一編 エイチユ・ジー・ウエルズ(講述)・大畑達雄(訳)『世界国家論』……世界パンフレット通信29号(大正10・7・25)の単行本化
- [118] 15 第二編 オット・アウンテンリーツ(著)・小
- [128] 9・15 第三編 原正樹(訳)『次の三大戦争』アレキサンドル・クープリン(著)・世界思潮研究会(訳)『労農露国の真相』……世界パンフレット通信11号(大正10・4・25)の単行本化
- [124] 3 第四編 アー・ドマンジエオン(著)・世界思潮研究会(訳)『世界に於ける中心勢力の移動』²⁵⁾
- [133] 29 第五編 ワグデマル・フォン・メンゲンデン(著)・高瀬毅(訳)『過激派の獄中より』
- [136] 10・10 第六編 ウィルヘルム・キスキー(著)・世界思潮研究会(訳)『新興国ウクライナ』……世界パンフレット通信6号(大正10・3・30)の単行本化
- なお、第一編・ウエルズ『世界国家論』の翻訳者でもあつた大畑達雄は、その後『世界パンフレット通信』の編集から離れ、同通信の編集の中心は、大正一一年以降、茂森唯士に移つたように見受けられる。
- 一方、大畑達雄は、その後、日本評論社より、以下の三
点の翻訳書を出版している。

(357) ダーウィン (原著)・大畑達雄 (訳) 『人間の由来』 (大正一三年四月一五日発行、日本評論社) ……〔再刊〕大畑書店、昭和八年一月

(369) ランケスター (著)・大畑達雄 (訳) 『地と海のコト』

(大正二年六月一〇日印刷、六月二五日発行、発行者・

茅原茂、発行所・日本評論社)

(359) ダーウィン (原著)・大畑達雄 (訳) 『雌雄淘汰』 (大正

一五年一月五日印刷、一月一〇日発行、発行者・鈴木

木利貞、発行所・日本評論社)

4 『吾等何を学ぶべき乎』シリーズ

『ラッセル叢書』『エポック叢書』のほか、世界思潮研究

会が発行したシリーズ物には、『吾等何を学ぶべき乎』第

一期・第二期がある (第一期は大正一二年四月刊行開始の

全一二冊 (180) [182] [187] [188] [192] [193] [196]

[197] [198] [203] [204] [205])、第二期は大正一二年三

月刊行開始の全一二冊 (212) [219] [225] [232] [233]

[235] [242] [252] [261] [268] [271] [272])。各冊一円

二〇銭、毎月一回刊行の同シリーズの編纂を担当したのは、

後に茅原茂の養嗣子となる平栗要三 (茅原茂の妻・律子の

弟) である (その後、彼は鈴木木利貞社長時代の昭和四年に

社を離れ、茅原華山の一元社を再興した)。

5 「カード式世界通信」「国際経済通信」

前記2 (3) 大正一〇年一〇月創刊の月刊「太平洋問題通信録」については、大正一一年に入ってから刊行を認

認できない。

(1) 「カード式世界通信」

その一方で、大正一一年二月から一二年一二月にかけて

「カード式世界通信」一号〜八号が発刊されている。

二月一五日印刷・一六日発行の一号の表紙には「太平洋

問題通信録合併号」とあり、また、巻末の【編輯だより】

には、以下のようにあることから――、

□世界が恐ろしい力でぐんぐん動いてゐる如く、地球も何

だか非常識に寒暖を人に送つて或る試練と暗示とを試みて

ゐるかのやうに思はれます。実は昨月以来の大寒気で、編

輯局のみか、事務局の多数が将棋倒しに流感にやられて、

凡ての進捗が遅れるとふ有様なのに、太平洋問題も茲一段

落の形となりましたので、詳細の報告は、別に単行本とし

て編纂中の『太平洋会議史』に譲り、今後は御覧の如き、

範囲を拡大せる一般的通信として、時代の要求と共に推移

するのを賢明なりとして此挙に出でました。

□それから『速報』『特報』も、謄写版主任が病臥中なの

で、今後は矢張り活字印刷として、手軽な感じのいいもの

を供する事としました。これでこゝ数日間、不可抗的ではあったが、多大の懈怠をした罪を償ふに足るべしと自讃いたします。

――前記2(3)「太平洋問題通信録」は、大正一一年一月号休刊の後、二月より「カード式世界通信」に吸収合併されたようである。

一方、同年一月二三日印刷・二五日発行の八号巻末の「より世界的に」と題する記事中には、次のようにある。

そこで此点(百科事典の情報のアップデート問題)に鑑み、この缺陷を補ふべく、茲に新に創案せられたものが、即ち此の鳩目綴『カード式世界通信』であります。本通信は『世界通信』の名の下に従来発行し来りしものと、『太平洋問題通信録』との合併号ともみらるべく、その両方の短をすて長を採つてこゝに編み出されたものであります。

尚『太平洋問題通信録』と共に月数回発行して来た『速報』及び『特報』は、その性質をそのまゝ継承し、名を『世界通信』と更めて、月六回五日毎に発行し、専ら速報又は特報を要する世界事情、殊に世界経済事情を通報することとしました。これらは時代並に国際事情の推移に鑑みて、然るべき改善であらうと信じます。

しかし、右記事を掲載した八号より後の「カード式世界

通信」の存在は確認できていない。

(2) 「国際経済通信」

これに対して、前記2(2)大正一〇年一〇月以前より刊行されていた「世界通信」に関しては、右記事にあるように「太平洋問題通信」の「速報」ないし「特報」の役割を担うこととなったが、大正一二年三月二〇日発行の七一号をもって終刊となった。

その後続企画が、翌大正一二年四月五日より刊行開始の「(カード・インデックス式) 国際経済通信」(全三〇号)であり(創刊一号は小田恪介(著)『欧米財界の近況及将来』、創刊号(一号)末尾には、次のような記事が掲載されている。²⁶⁾

改題に当って

政治に依つて経済が支配を受けたのは過去のことになる。今や経済は政治の隷属から解放されんとしてゐる。正に時代は移つた。一片の政治外交の辞令を以て、世界の難局を救はんとした、ヴェルサイユ条約が終に破局に達し、ゼノア、パリ、ロンドン、近東と、露・独を中心として展開する場面は、経済を以て世界の悩みを救はんと試みるものに他ならぬ。

此改造期に面せる国際経済の舞台を直視して、わが『世

界通信』を『国際経済通信』と改題し、改造と救済への途上にある世界経済界の趨勢を、迅速に権威ある報導者たらんとする、吾人は無意義の仕事に非ざるを信ずる者である。『国際経済通信』は世界通信と等しく月六回五日毎に配本すると共に、本会独特のカード・インデックスの法を用ひて各問題を綜合統一するに便とした。詳しくは附録のカードと、その使用法に就て見られたし。

大正十二年四月五日

世界思潮研究会

先行企画である「世界通信」でも採用された「カード・インデックス式」ないし「カード式インデックス法」なる新趣向は、茅原茂の創案にかかるもののように、世界パンフレット通信大正一二年五月一五日号外『カード式読書法——カード・インデックスの実例』で、彼は次のように述べている。⁽²⁷⁾

吾人は先年来、最も経済的の読書を欲する人々に資するため、広汎なる最近の著述の中から、現在に最も重要な材料を簡約し、重要と最新と節約との三条件を基礎として、世界思潮研究会なるものを起し、即ち、要、新、簡の三者を結晶せしめたる世界パンフレット通信なるものを始めた。そして此の要、新、簡のパンフレットを刊行して配付する

こと、今日既に百七拾余冊の多きに及んで、其の小冊子もこれを堆積すれば半等身に達するに至った。茲に於て、更に此の要、新、簡のパンフレットは更に一層要、新、簡を極めたるインデックスを必要とするに至った。パンフレット自身が一つの材料であったが、この材料から、更に重要な材料を精選する必要が生じたのである。所でこのパンフレットに一枚宛のカードを添へてこれにパンフレットの目次、梗概、引用書、参考書を簡潔に明記することとした。又同じく世界思潮研究会から此度新たに『世界経済通信』を発刊し、最近世界の経済上の重要事を速報することにしたのであるが、是れが亦附するにインデックス、即ちカードを以てした。

なお、同書内表紙は、著者・茅原茂の肩書を「世界思潮研究会主宰／日本評論社長」としている。

6 「正則エスペラント講義録」「エスペラント研究」

茅原茂はまた、熱心なエスペラントイストでもあったが、日本評論社（出版部）から刊行されたエスペラント関係の書籍——〔200〕金田常三郎『独修自在・エスペラント講義』〔220〕川原次吉郎『エスペラントの話』〔236〕石黒修『初等エスペラント教科書』〔292〕石黒修『エスペラントの学び方（独習三十日）』——のうち、〔200〕と

〔220〕は、「世界パンフレット通信」として出版された著作——〔200〕につき金田常三郎『国際語エスペラント綱要』世界パンフレット通信一〇七号（大正一二年九月）、〔220〕につき川原次吉郎『エスペラント雑話』世界パンフレット通信一五二号（大正一二年四月）——を改版・改題・単行本化したものである。

右のような「世界パンフレット通信」の日本評論社による書籍化のほか、世界思潮研究会からは、以下のエスペラント関係の冊子ならびに雑誌が刊行されている。

（1） 「正則エスペラント講義録」

その一は、大正一二年五月一日創刊の「正則エスペラント講義録」と題する冊子で、毎月二冊（一日・一五日）発行、全六巻、三か月修了、会費（入会金不要）は全巻前払五円、毎月分納二円、講師は小坂狷三・川原次吉郎・秋田雨雀・金田常三郎・北川三郎・上野孝男・小野俊一⁽²⁸⁾。

なお、右「講義録」の頒布が開始された大正一二年五月には、世界思潮研究会主催の「エスペラント講演会」が開催されている（五月一七日午後六時、場所は神田美土代町青年会館⁽²⁹⁾）。

（2） 「エスペラント研究」

さらに、「正則エスペラント講義録」頒布が最終月に

入った大正一二年七月一日の東京朝日新聞朝刊六面の出版物紹介欄には、次のような記事がある。

◆月刊雑誌「エスペラント研究」創刊 七月十日発行丘

次郎、城井尚義、秋田雨雀、小坂狷三、川原次吉郎、上

野孝男、アレキサンダー嬢等のエスペラント講演集発行

所は東京本郷区弓町世界思潮研究会

この雑誌は〈CINii Books〉ではヒットせず（11つまり大学図書館に所蔵はない）、〈NDL Search〉によれば京都府立図書館のみが所蔵する。同図書館所蔵の創刊号の発刊日は、右新聞記事と異なり「正則エスペラント講義録」頒布終了の翌月（八月）であり、収蔵されている号は、以下の計四冊である。

一巻一号（八月号） 大12・7・28印刷 8・1発行

二巻（九月号） 8・15印刷 9・1発行

四（三）号（二月号） 11・10印刷 11・15発行

二巻一号（新年号） 大12・12・30印刷 大13・1・10発行

なお、このうちの大正一二年一月号については、表紙の記載は「第四号」であるが、目次の記載は「第三号」になっている。

7 世界思潮研究会の解散時期

右「エスペラント研究」における巻号表記のずれは、同

年九月一日に発生した関東大震災のためであり、右四(三)号の巻頭に掲載された「大震災に際して」と題する告知文には、「遺憾ながら、十月号は休刊し……取敢へず十一月臨時号として頁も半ばにし、活字も代用して発行することにしました」とあり、さらに、巻末「編輯後記」には、一二月号についても雑誌組合の規定により休刊することになった旨の告知がある。³⁰⁾

(1) 関東大震災と「世界パンフレット通信」

右「エスペラント研究」創刊の二か月後の大正一二年九月一日に発生した関東大震災は、出版業界にも大打撃を及ぼした。出版業者は東京書籍組合員一七二五名のうち半数の九五六名が火災被害に遭い、印刷所は六八五工場の八割を超える五五二工場が焼失、製本所も九二%が被災したとされる。³¹⁾この震災で、吉野作造と縁の深いキリスト教系出版社・警醒社は経営が傾き、黎明会の出版物の版元であった大鏡閣は倒産した。

日本評論社の被災状況については、資料を発見できていないが、大正一二年九月の震災発生以降同年末までの四か月間に同社から刊行された書籍が、[238] [239] [241] のわずか三点にとどまることよりすれば、相当程度の打撃を被ったものと推測される。

だが、本社の書籍出版事業にも増して深刻な事態に陥ったのは、会費月額二円を徴求して、毎月六回(号外とも七冊)の発行を会員に約束していた世界思潮研究会の「世界パンフレット通信」であつたろう。震災後の頒布は、毎月五・十日発行の建前が完全に崩壊し、筆者が調査した限りでは、震災発生から翌大正一三年四月までの間に、通常号六冊(一八〇号〜一八五号)、号外三冊を発行したのみで途絶している(なお、一〇月〜一二月の刊行の大半を欠いているのは、前記6(2)月刊「エスペラント研究」と同様の事情に基づくものであろう)。また、これら震災後発刊の冊の発売元が、いずれも日本評論社になつてることよりすれば(なお、世界思潮研究会「発行」の出版物の「発売」を日本評論社が担当する出版形態は、書籍に関しては大正一〇年世界思潮研究会発足当時より存在していた[90] [93] [95] など)、世界思潮研究会が「世界パンフレット通信」に関して構築した物販システムは機能停止したものと考えられる。

(2) 世界思潮研究会の最後の出版物

その後、世界思潮研究会は、大正一四年二月になつて、改訂増補「正則エスペラント講義録」(六か月修了・全六巻完結予定)の新会員を募集している。³²⁾編集主任は、前記6

日本評論社刊行の〔236〕『初等エスペラント教科書』、〔292〕『エスペラントの学び方（独習三十日）』の著者・石黒修であるが、この改訂増補版「講義録」の第四巻以降については現物を確認できず、また、第三巻（内表紙の記載は『増訂／正則エスペラント講義録／第三巻』、奥付には「編者 石黒修」、「大正十四年五月廿日印刷）」「大正十四年五月廿日発行」とある）の後、世界思潮研究会の名前で刊行された出版物も発見できていない。

このことよりすれば、同年四月四日に茅原茂が病死し、翌五月に合資会社化した日本評論社の社長（代表社員）に鈴木利貞が就任した際、世界思潮研究会についても組織整理された（解散した）ようにも思われる。³⁴⁾

- (1) 七戸克彦「末弘厳太郎責任編輯『現代法学全集』の研究」法政研究八五巻一号（平成三〇年）三一頁。
- (2) 末弘厳太郎の人物と業績に関しては、やはり本誌前稿で、彼の略年譜・業績一覧と、末弘法学を研究した文献目録を掲載した。七戸克彦「末弘厳太郎研究資料総覧」法政研究八五巻一号（平成三〇年）一七五頁。
- (3) 七戸克彦「日本評論社初代社長・茅原茂と第二代社長・鈴木利貞について（一）〜（二・完）」本誌本号、八六巻一号掲載予定。
<https://www.nippygo-archives.jp/>
- (5) 鈴木三男吉『回想の日本評論社』（日本評論社・非売品、平成一九年）一四五〜一四六頁（大石進）。
- (6) <Cinii Books>……国立情報学研究所（National Institute of Informatics: NII）が運用する目録所在情報サービス（NACSIS-CAT）に蓄積された全国の大学図書館・研究機関（約一二〇〇館）所蔵の約一〇〇〇万件（一億冊以上）の書籍情報が検索可能。<https://cinii.ac.jp/books/>
- (7) <NDL Search（国立国会図書館サーチ）>……①国立国会図書館（National Diet Library: NDL）所蔵の全資料（書籍・雑誌・デジタル情報）のほか、②都道府県立図書館・政令指定都市の市立図書館の所蔵資料が検索可能。<http://iss.ndl.go.jp/>
- (8) 日本評論社が『新日記』を出版していた昭和時代においても、たとえば昭和二年暮れの新聞記事には、「日記帳はすべて昨年度より約一割高、種類は東京堂扱の分だけで二百十二種で昨年度より廿八種減つてゐます」とある。東京朝日新聞昭和二年一月一七日朝刊六面「日記帳の変り種／二百種に余る中から」。
- (9) 東京朝日新聞昭和四年一月四日朝刊一面広告、読売新聞昭和四年一月四日朝刊一面広告。
- (10) 東京朝日新聞昭和一年一月一日朝刊一面広告「至誠堂・自由日記」。
<http://dl.ndl.go.jp/>
- (11) このうち、〔246〕茂森唯士（編）『少年詩人トーマス』は、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録によれば、大正十三年一月発行、四六版、七二頁、定価三五銭の書籍であるが、その五か月後（同年六月）発行の山内房吉（訳）

『世界童話名作選集』少年詩人の旅』(367)。鈴木三男吉目録によれば定価一円八〇銭（二四五）二七二頁には、「少年詩人トーマス（スコットランド童話）」が収録されている。現物を対比していないので断定できないが、(367) 発刊の後、(367) に収録したものか。となれば、(367) 収録の全一五話の童話のうち、(346) 以外の童話についても、独立の書籍として刊行されたのかもしれない。

- (13) 太田正孝（おた・まさたか。1866-1928）は、明治四五年東京帝国大学法科大学経済科卒業（同期の法科卒業生に末弘厳太郎・金森徳次郎・芦田均など）。卒業後は大蔵省に入省したが、大正八年報知新聞副社長に転ずる。大正一三年経済学博士、昭和三年報知新聞退社後は翌四年中央大学教授、五年衆議院議員。終戦後公職追放となるが、解除後の昭和二八年再び衆議院議員となり、昭和三〇年には自治庁長官。戦前を代表するエコノミストの一人であり、日本評論社からも、大正一四年『読本』シリーズの嚆矢である『経済読本』(320)の後、翌大正一五年には『も一つの鏡』(350)・『新聞そのをりをり』(351)・『経済そのをりをり』(352)、昭和四年には『関税と貿易』(363)を刊行している。伊藤隆＝季武嘉也（編）『近現代日人物誌料情報辞典2』（吉川弘文館、平成一七年）四六頁「太田正孝」〔矢野信幸、上久保敏「啓蒙派エコノミスト太田正孝——官界・新聞界・政界を渡り歩いた健筆家」八木紀一郎＝柳田芳伸（編）『埋もれし近代日本の経済学者たち』（昭和堂、平成三〇年）五七頁〕

(14) 勝田貞次（かつた・ていじ。1901-1968）は、大正六年慶応義塾大学理財科卒業。卒業後は三井物産スラバヤ支店勤

務の後、野村銀行に転じ、野村証券調査部長、時事新報社景気研究所長の後は、勝田景気経済研究所を設立。昭和三年八月二三日死去、六四歳。昭和前期に一世を風靡した景気評論家であり、日本評論社からも、昭和六年『財界は何うなる』(704)・『フーヴァ提案と日本の景気』(755)・『英独財界混乱と日本の景気』(758)を出版している。人事興信所（編）『人事興信録（第一四版・上）』（人事興信所、昭和一八年）カ九二頁、朝日新聞昭和三年八月二五日夕刊三面（訃報）勝田貞次氏。

- なお、前記〔13〕「日刊景気特報」に関して、勝田貞次は次のように語っている（勝田貞次「『経済往来』創刊の思い出」景気特報「経済往来二巻三号（復刊一周年記念号、昭和二五年三月号）二八頁）。「当時私は時事新聞（新報）に景気週報を出してかなりの好評をほくし、時事の財政を大分もり返した事があった。其頃私の書いたものが一部十円で一年に二万部売れたが、当時の金額にして二〇万円は大金で大分評判になった。そこで経済往来でもというので、景気週報というのを作ることになり、始め私の外に小汀利得君、高橋亀吉君、児島精一君、山崎靖純君等錚々たる人々が集って、いろいろ書いたが、だんだん私一人が残ってやるようになった。私のやった特報は年百円で六百位売れたが、それで経済往来の内容も大分よくなったと思う。当時京都帝大教授の黒正厳氏が日本でも屈指の多額納税者で、この人が資金の面で経済往来に関係していたが、私の特報で大分赤字を解消したと思う。その後私は経済往来をはなれたが、……〔後略〕……」。

(15) 鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録に関して、典

- 扱した一次資料の記載が不正確であるためか、著者名・書名の誤りが目立つ。たとえば①『戦争か平和か』(195)・②『近代一幕物選集』(117)・③『魚の舞踏』(113)の原著者につき、日評アーカイブズ目録は「ゴオリキイ」としているが、①・②は複数の著者の作品の選集であり、③の原著者はクロイロフである。
- (16) 美作太郎『戦前戦中を歩む——編集者として』(日本評論社、昭和六〇年)一七九頁以下。なお、美作は、出典につき「今日入手できる出版目録をみた」としているが、美作の挙げる茅原茂時代の出版書目のうち、①ロバート・ハント(著)・板倉貞一(訳)『勝利の黎明——バクスターとマルクスの闘争』と、②トマス・カーカップ(著)・石松無逸(訳)『社会主義解説』の二点については、鈴木三男吉目録・日評アーカイブズ目録に記載はなく、また〈CINII Books〉〈NDL Search〉でもヒットしない。大方の「教示」を賜りたい。
- (17) 鈴木三男吉・前掲注(5)二五頁以下。
- (18) 美作太郎・前掲注(16)一八八頁。
- (19) 週刊「文芸時報」九五号(昭和四年一月一日)七面(七頁)「借金五十万円で／日本評論社プロを出す／崇りは例の経済学全集」。なお、同誌四五号(昭和二年九月二〇日)七面(七頁)二等卒亭「日本評論社／鈴木利貞君」も、『世界思潮研究会』の名義を用ひて会員組織で発行したパンフレットだけは相当の成績を上げた」とする。
- (20) 東京朝日新聞大正一〇年三月二三日朝刊一面広告。なお、その一か月後・二か月後の同紙大正一〇年四月二五日朝刊一面、五月二二日朝刊一面の文面も、ほぼ同一。
- (21) 東京朝日新聞大正一〇年九月二日朝刊一面広告、一〇月五日朝刊一面広告。
- (22) 東京朝日新聞大正一一年一月七日朝刊一面広告。
- (23) 鈴木三男吉・前掲注(5)二五頁。
- (24) 松本悟朗(まつもと・ごろう。1886-1946)は、明治一九年八月一八日福島藩(板倉氏)藩士・米山家に生まれたが、槍の師範であつた父の死後生家が困窮したため、桑折町の曹洞宗慈雲寺・松本達宗の養子となる。福島中学から明治四四年三月東洋大学専門部第一科二種卒業(第二期生)。その後は、「第三帝国」「洪水以後」「内観」同人として茅原華山と行動を共にする一方で、弟・茅原茂の日本評論社・世界思潮研究会にも関係したが、茅原茂の死去・有限会社化と鈴木利貞の社長就任前後に社から離れた。終戦直後の昭和二年一月八日死去。享年六〇歳。松本史朗「祖父悟朗を思う」たちばな(高津図書館友の会)三八号(昭和四八年)三〇頁、茅原健①『茅原華山と同時代人』(不二出版、昭和六〇年)一三二頁以下、同②『民本主義の論客・茅原華山伝』(不二出版、平成四年)一一九頁、金沢篤「忘れえぬ人々——松本悟朗から高橋五郎の方へ」駒沢大仏教学部論集四六号(平成二七年)三八八頁。
- (25) 『エポック叢書』の「第三編」と「第四編」は、「第四編」が先に刊行された。「第三編」巻末の出版案内には、「エポック叢書4(既刊)」とある。
- (26) なお、東京朝日新聞大正一二年四月一日朝刊一面には、同冊子の会員募集広告が掲載されている。
- (27) 茅原茂『カード式読書法——カード・インデックスの実例』世界パンフレット通信大正一二年五月一五日号外二一

（二二頁。なお、同書巻末には、世界パンフレット通信一
号）九号の書誌事項・内容をカード化した実例が収録され
ている。

（28） 東京朝日新聞大正一二年四月一九日朝刊一面広告。なお、
その後の同紙七月八日朝刊一面広告には、「第一回入会者
既に三千名超過をしたるも。時代の機運に頼りみ大普及の
為猶五百名を限り随時入会を諾す」とある。

（29） 東京朝日新聞大正一二年五月一六日朝刊六面広告。

（30） なお、前記5（2）「国際経済通信」は、関東大震災の
二日前である大正一二年八月三〇日発行の三〇号をもって
「休刊」となるが、その理由は、会員数不足（「売れ行き
不振」）のためらしく、同号巻末「休刊之辞」は次のように
いう。

休刊之辞

本通信は此号を最後として暫らく休刊する。本年四月
改題以来、専門有識階級よりは異常の賛辞と後援とを与
へられて来たが、吾人が五ヶ月の奮闘に依りて知り得た
結論は、不幸にして我国一般経済界は、未だ博大なる国
際経済に対して眼醒めてゐないと云ふことであつた。か
るが故に吾人の使命は彌が上にも重い訳であるが、如何
せん現在迄の奮闘に依つて得たる会員諸氏の数を以てし
ては、此莫大なる時と経費とを要する事業は、到底独立
出来ぬ事情に在る。有識者並びに専門家の愛情の辞を寄
せらるる幾多、されど本通信は形式の上に於て暫らく休
刊の止むなきを悲しむ。

併し、国際経済通信としては休刊するが、国際経済に
関する精髓を毎月二回宛（本通信の約四冊分）を世界パ

ンフレット通信の中に入れて刊行することになった。故
に多少通俗化するけれども、本通信の精髓は全通信に
依つて継続される訳である。

斯く国際経済通信はその形式に於て一時休刊の止むな
きに至つたが、併しそれは休刊であつて決して廃刊でない
ことを銘記して頂きたい。近き将来に於て、再び何等か
の形式を以て読者諸氏に相見ゆるであらう其際は、現在
に変わぬ愛撫を寄せらるることを信じ且つ折つて止まぬ。
改題してより五ヶ月、世界通信時代より通巻して百二号、
顧みてその努力の足らざりしを憶ひ、窃かに忸怩たらざ
るを得ぬ。謹で会員諸氏の健在（を）祈る。

大正十二年八月三十日

世界思潮研究会

国際経済通信編集部同人

（31） 『日本出版百年史年表』（日本書籍出版協会、昭和四三
年）三七一〜三七二頁、日外アソシエーツ編集部（編）
『日本出版文化史事典（トビックス一八六八—二〇一〇）』
（日外アソシエーツ、平成二二年）七九頁。

（32） 東京朝日新聞大正一四年二月六日朝刊一面広告。

（33） 石黒修（いしぐろ・よしみ。本名は修治（よしはる）。
1899-1980）に関しては、柴田巖^{II}後藤齊（編）『日本エス
ペラント運動人名事典』（ひつじ書房、平成二五年）三六
〜三七頁「石黒修」参照。

（34） なお、政界往来社（時事通信政治部記者であつた木舎幾
三郎により大正一一年創業、昭和五年「政界往来」発刊）
が昭和八年一二月に創刊した「世界時事講座」（第一輯
〜第一〇輯）の誌名は、昭和九年九月「Current Thought

〔カレント・ソート〕(第一一輯〜第三〇輯、昭和十一年一月「世界思潮講座」(第三一輯〜第三二輯)に変更されるが、第二八輯(昭和十一年六月)〜第三〇輯(同年八月)の発行は、「世界思潮研究会」になっている。東京朝日新聞昭和十一年六月二日朝刊一面の会員募集広告には、「毎月たった二円の会費で全世界の新刊書が邦訳されて読める……(分冊一冊二円普及版)」「学者も、実務家も学生も、本講座によりて展開する新情勢を掴め。内容は平明且懇切講師亦一流」「世界最新経済動向検討号／好評——正に世界の最新動向を指示する総合大学が此れだ!!」「年二十円会員は毎月講座配本を受く。(体裁)毎巻菊版二百頁前後」とあり、茅原茂の世界思潮研究会「世界パンフレット通信」や鈴木利貞の各種全集の企画とよく似ているが、この研究会は政界往來社の下部組織であり(所在地は政界往來社と同じ東京市芝区琴平町虎之門会館)、日本評論社の「世界思潮研究会」とは無関係のようである(ちなみに、「政界往來」の雑誌名も、日本評論社「経済往來」と似ているが、「政界往來」の誌名の命名者は、「文芸春秋」の菊池寛であるという)。

〈表1〉 日本評論社・旧社時代（大正7年～昭和27年） 出版目録（一・大正5年～昭和9年）

* 略語一覧

A：鈴木三男吉作成出版目録

B：「日評アーカイブズ」ホームページ掲載出版目録

C：CJii（国立情報学研究所〔NII〕学術情報ナビゲータ）Books ヒット文献

D：国立国会図書館デジタルコレクション収録文献（Dは図書館送信参加館内公開）

N：NDL Search（国立国会図書館〔NDL〕サーチ）ヒット文献（D以外のもの）

1	大正5年（一九一六年）		
1	〔1〕	7・5	C・N
2	大正6年（一九一七年）		
1	〔2〕	12・1	C・N
3	大正7年（一九一八年）		
1	〔3〕	11・15	C・N
2	〔4〕	28	C・D
4	大正8年（一九一九年）		
1	〔5〕	1・25	C・D
2	〔6〕	4・1	C・N
3	〔7〕	15	C・D
4	〔8〕	5・15	D
5	〔9〕	6・5	C・N
6	〔10〕	5	N

〔日本評論〕一五号〔洪水以後〕改題。号数は「洪水以後」通号数を承継

〔日本評論〕七九号〔東京評論〕と合併。号数は「東京評論」の通号数を承継

茅原廉太郎（華山）（著）『国民的悲劇の発生』四版（Ⅱ四刷）（A・B…大正8年3月）

小倉徂峰（鏗爾）（著）『三益主義——資本家と重役並に被用人階級の新福音』（A・B…12月）

秋田雨雀Ⅱ仲木貞一（共著）『須磨子の一生——恋の哀史』

室伏高信（著）『現代叢書・第一編』デモクラシー講話（A・B…3月）

安成二郎（著）・竹久夢二（装画）『恋の絵巻』（A・B…3月）

森律子（著）・竹久夢二（装画）『妾の自白』

山川菊栄（著）『現代叢書・第二編』婦人の勝利』

金子洋文（著）『労働美談』力の勝利』（A・B…5月）

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
[35]	[34]	[33]	[32]	[31]	[30]	[29]	[28]	[27]	[26]	[25]	[24]	[23]	[22]	[21]	[20]	[19]	[18]	[17]	[16]	[15]	[14]	[13]	[12]	[11]
3・5	29	25	20	15	8	5	25	15	10	12・10	30	15	10	11・1	25	10	10	30	15	9・5	15	7・12	15	5
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・N	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	D	C・D	C・D	D	C・D
伊藤正徳(著)『改造の戦ひ』	エドワード・カーペンター(著)・時国理一(訳)『農業と社会主義』	イチ・エル・ガント(著)・麓三郎(訳)『ガント式工場管理法——作業、賃金及利潤』	来栖健助(著)『証券市場改造論』(A・B…3月)	岩野泡鳴(著)『燃える稲秆』	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『政治的理想』	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『結婚心理学』(A・B…2月)	田川大吉郎(著)『改造途上の欧米社会見物』(A・B…2月)	ウォルター・エム・ガリカン(著)・相葉久江(訳)『結婚心理学』(A・B…2月)	横田英夫(著)『農村改造か農村革新か』	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『科学的経営法の理論と実際』	パスカル・ラーキン(著)・中目尚義(訳)『マルクス派社会主義』	ヘンリー・アトキンソン(著)・松本悟朗(訳)『合理的賃銀制度』	アール・ダブリュー・バリットほか(著)・板橋卓一(訳)『利益分配の理論と実際』	渡辺貴知郎(著)『雄弁第一』(A・B…11月)	パアナード・ムツシオ(著)・時国理一(訳)『現代産業心理学講話』	豊田教嘉(著)『人間万事日蓮主義で行け』	石田伝吉(著)『農村改造講話』(A・B…10月)	多恵春光(著)『新しき婦人の手紙』	守(監修)『最先端民衆娯楽映画文献資料集4』(ゆまに書房、平成18年)	三楽流子(小生夢坊)小ぐら生(著)『女盛衰記——女優の巻』(A…なし)……〔復刻〕牧野	植田好太郎(編)『労働問題講話』	青山洪平(著)『株は此の呼吸で行け』	木下幹(編)『主婦必読』婦人も働け』	茅原華山(小田政賀)共著)『現代文章講話』(A・B…5月)
5 大正9年(一九二〇年)																								

36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
[61]	[60]	[59]	[58]	[57]	[56]	[55]	[54]	[53]	[52]	[51]	[50]	[49]	[48]	[47]	[46]	[45]	[44]	[43]	[42]	[41]	[40]	[39]	[38]	[37]	[36]	
						6							5							4						
30	15	15	10	10	10	1	28	25	25	20	15	15	10	25	25	20	15	14	12	5	25	25	20	12	12	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・N	C・D	C	C・D	D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	D	D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
ダブリュー・アール・クーパー (著) ・田中貢 松本晃 (共訳) 『労資共益法』	徳田秋声 (著) 『妹思ひ』	ローヤル・ヂクソン フランクリン・フィッツェ (著) ・相葉久江 (訳) 『森林ロマンス』	真山青果 (著) 『照る日の虹』	チャールス・エム・ペツパー (著) ・浅野護 (訳) 『米国を中心としたる世界貿易の研究』	モリス・ヒルクイット (著) ・高橋正熊 (訳) 『社会主義大系——一名・社会主義の理論と実際』	マッケンザイ (原著) ・納武津 (訳) 『社会哲学原論』	マックス・ステイルネル (著) ・辻潤 (訳) 『唯一者とその所有 (人間篇)』	岩橋信二郎 (編) 『世界思潮叢書・第一編』 (A・B・なし)	アール・グラエヴェニツ (著) ・高橋潜淵 (正熊) (訳) 『革命の悲哀』 (A・B・6月)	アール・グリフィス (著) ・森下岩太郎 (訳) 『警察と犯罪の秘密』 (A・B・6月)	パートランド・ラッセル (著) ・時国理一 (訳) 『正義と闘争』	根岸正吉 伊藤公敬 (著) 『労働詩集』 どん底で歌ふ』	ジョン・スバルゴ (著) ・浅野護 (訳) 『過激主義の心理』	岩野泡鳴 (著) 『情か無情か (長篇小説)』	野村隈畔 (著) 『未知の国へ』 (A・B・5月)	社出版部 (A・B・5月)	佐藤健 (著) 『米国よりの脚本集・第一集』 …… (著作兼発行者) 佐藤健、(発行所) 日本評論	井上恵宏 (著) 『日蓮遺文・新修養の道』	タマス・ヒューズ (著) ・高橋潜淵 (正熊) (訳) 『国家社会主義の本質と其運用』	エル・トロツキー (著) ・茅原退二郎 (訳) 『露西亜革命実記』	横田英夫 (著) 『農民の声を聞け』	ストッタード (著) ・板橋卓一 (訳) 『工場委員制度』	納武津 (著) 『民族性の研究』	野村隈畔 (著) 『新文化への道』	ヘレン・マロー (著) ・丸山茂樹 (訳) 『労働改造の原理』	佐野袈裟美 (著) 『社会改造の諸問題』

37	〔62〕	7	1	D	松本真一(著)・宮本憲吉(装画)『血笑記』
38	〔63〕	1	1	C・D	吉野臥城(著)『諸国拜見 日和下駄』
39	〔64〕	10	10	C・D	溝口白羊(編著)『尼港事変 国辱記』……〔再刊〕大正10年2月『校訂国辱記』
40	〔65〕	9	1	C・D	岩野泡鳴(作)・竹久夢二(装画)『女の執着』
41	〔66〕	15	15	C・D	高須梅溪(著)『明治大正五十二年史論』
42	〔67〕	20	20	C・D	近松秋江(著)『京美やげ』(A・B・10月)
43	〔68〕	10	5	D	白石実三(著)『姉妹』(A・B・11月)
44	〔69〕	20	20	D	溝口白羊(著)『明治神宮案内』(A・B・11月)
45	〔70〕	20	20	D	佐藤紅緑(著)『(長編小説)結婚前後』(A・B・11月)
46	〔71〕	11	1	C・D	羽太鋭治(著)『通俗性欲学』(A・B・11月)
47	〔72〕	20	20	D	溝口白羊(編著)『明治神宮紀』(A・B・10月)
48	〔73〕	10	10	C・N	徳田秋声(著)『或売笑婦の話』
49	〔74〕	20	20	C・N	岩野泡鳴(著)『焰の舌(脚本全集)』(A・B・12月)
50	〔75〕	30	30	D	溝口白羊(著)『鎮座祭紀念・明治神宮写真帖』(A・B・12月)
51	〔76〕	12	15	D	羽太鋭治(著)『性欲生活と両性の特徴』
52	〔77〕	20	20	C・D	沖野岩三郎(著)『恋の笈摺』
53	〔78〕	20	20	D	沖野岩三郎(著)・西村アヤ子(装画)『絵入り童話 頬白の歌』
6 大正10年(一九二一年)					
1	〔79〕	1	10	D	渡辺霞亭(著)『新比翼塚』
2	〔80〕	15	15	C・N	チャールス・ホルトン・クレー(著)・納部津(訳)『社会と我』
3	〔81〕	20	20	C・D	羽太鋭治(著)・竹久夢二(装画)『性欲と恋愛』
4	〔82〕	20	20	D	佐藤紅緑(著)『何処まで』
5	〔83〕	2	18	C・N	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル論集』
6	〔84〕	20	20	C・D	稲葉君山(著)『最新支那史講話(近世之部)』
7	〔85〕			C・D	田山花袋(著)・竹久夢二(装画)『小説 渦』
8	〔86〕	3	5	C・D	木谷勝郎(著)『景気不景気の見方』
9	〔87〕			D	秋田雨雀(著)・竹久夢二(装画)『童話 東の子供へ』

33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
(111)	(110)	(109)	(108)	(107)	(106)	(105)	(104)	(103)	(102)	(101)	(100)	(99)	(98)	(97)	(96)	(95)	(94)	(93)	(92)	(91)	(90)	(89)	(88)
		7						6						5							4		
15	10	1	20	20	20	18	15	8	28	25	20	20	15	8	25	25	20	15	10	9	3	20	18
C	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	D	C・D	C・D	C	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
渡平民(訳)『近代一幕物選集』(A・B…8月)	石井柏亭(著)『絵の旅(日本内地の巻)』	溝口白羊(編著)『東宮御渡欧記(乾の巻)』	ウオルホーフスキー(著)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第一編 茶碗の一生』	石井柏亭(著)『絵の旅(支那朝鮮の巻)』	久留義郷(著)『独塊及巴爾幹』敗残の国々を辿りて』	アンリ・ド・ラ・ヴォルIIアーヌウル・ガロバン(共著)・高瀬毅(訳)『世界一周飛行旅行』	木村荘八(著)『日本を見る』	西宮藤朝(訳)『ゴオルキイ全集・第一巻』懺悔』	溝口白羊(著)『熱血史談・第三編』維新の人々』	高須梅溪(著)『近代史論叢書』近代文芸史論・上巻』	矢田挿雲(著)『俳句のねり方』	徳田秋声(著)『闇の花』	与謝野晶子(著)・石井柏亭II中沢弘光(画)『旅の歌』	下沢瑞世(著)『日本欧洲比較文化史』	田山花袋(著)『心の緒』	日本評論社出版部	世界思潮研究会(訳)『日米問題研究・戦争か平和か』…(発行)世界思潮研究会、(発売)	溝口白羊(著)『熱血史談・第二編』維新前後』	日本評論社出版部	吉井勇『生霊』	論社出版部	窪田空穂(著)『歌集 青水沫』	福良竹亭(著)『洋行赤毛布』

34	112]	C・D	20	佐々木指月(著)『米国を放浪して』
35	113]	C・N	30	クロイロフ(作)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第二編 ろしあ童話集・魚の舞踏』
36	114]	C・N	8・6	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第一編』神祕主義と論理』
37	115]	C・D	10	……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部 エイチユ・ジー・ウエルズ(講述)・大畑達雄(訳)『エポック叢書・第一編』世界国家論』…… 〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
38	116]	C・N	10	赤木毅(著)『歌集・白帆の夢』
39	117]	C・N	15	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第二編』自由教育に於ける科学の位置』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
40	118]	C・N	15	オット・アウンテンリーツ(著)・小原正樹(訳)『エポック叢書・第二編』次の三大戦争』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
41	119]	C・D	15	佐藤鋼次郎(著)『日米戦争夢物語』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
42	120]	C・N	15	昇曙夢(訳)『ゴオルキイ全集・第二巻』零落者の群』
43	121]	C・D	15	稲葉君山『对支一家言』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
44	122]	C・D	20	望月小太郎(著)『軍備制限と日米関係』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
45	123]	C・D	20	荻原井泉水(著)『新しき俳句の作り方』
46	124]	C・D	9・3	アー・ドマンジエオン(著)・世界思潮研究会(訳)『エポック叢書・第四編』世界に於ける中心勢力の移動』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
47	125]	C・D	3	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第三編』物理学対感覚与料の関係』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
48	126]	C・D	10	長谷川零余子(編)『校註解釈』蕪村俳句全集』
49	127]	C・D	13	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第四編』数学と形而上学者』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
50	128]	C・D	15	アレキサンドル・クープリン(著)・世界思潮研究会(訳)『エポック叢書・第三編』労働露国の真相』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
51	129]	C・D	15	ダーウキン(原著)・安東源治郎・岡本愛吉(共訳)『人間及動物の表情』
52	130]	C・N	15	溝口白羊(著)『熱血史談・第四編』斬奸状』

70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53							
[148]	[147]	[146]	[145]	[144]	[143]	[142]	[141]	[140]	[139]	[138]	[137]	[136]	[135]	[134]	[133]	[132]	[131]							
16	11	3	11・1	25	25	20	20	18	16	15	10	10	7	10・2	29	26	21							
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	D	C・D	C・D	C・D							
ダイソーン(著)・ス波典二(訳)『小説 社会主義公爵』	阿良田弘三(著)『外遊の記録より』……〔注〕表紙カバーには「外遊記録より」とあるが、標題紙には「外遊の記録より」とある。また、標題紙には「日本評論社発行」とあるが、奥付記載の発行所は「暁聲社出版部」、発売所は「東京堂」および「北隆館」。	セヴラユー(著)・松原伝吾(訳)『死後の運命』	アンドレーフ(作)・伊藤欽二(訳)『救ひなき折り』	……〔発行〕世界思潮研究会〔発売〕日本評論社出版部	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第六編 物質の究極的要素』	西宮藤朝(訳)『ゴオルキイ全集・第三巻 自由の生活へ』(A・B…11月)	納武林(著)『最新社会学講話』	浅野利三郎(著)『太平洋外交史』……〔発行〕世界思潮研究会、〔発売〕日本評論社出版部	徳田秋声(著)『断崖』	Kotaro Mochizuki, <i>The proposed reduction of the naval armaments of the United States and Japan</i> ……〔122〕の英訳版(A…なっ)	昇曙夢(著)『芸術の勝利・露西亜研究』	……〔発行〕世界思潮研究会、〔発売〕日本評論社出版部	小山精一郎(著)『極東問題研究資料』西伯利の富源及政情——附・極東共和国国際管理論』	……〔発行〕世界思潮研究会、〔発売〕日本評論社出版部	イナ』……〔発行〕世界思潮研究会、〔発売〕日本評論社出版部	ウィルヘルム・キスキー(著)・世界思潮研究会(訳)『エポック叢書・第六編』新興国ウクラ	方法』……〔発行〕世界思潮研究会、〔発売〕日本評論社出版部	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第五編』哲学に於ける科学的	B…9月)	セルマ・ラゲルロフ(著)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第三編 漁夫の指輪』(A・	より』……〔発行〕世界思潮研究会、〔発売〕日本評論社出版部	ワグデマル・フォン・メンクデン(著)・高瀬毅(訳)『エポック叢書・第五編 過激派の獄中	寺田瑛(著)『陸上競技の研究』	溝口白羊(編著)『東宮御渡欣記(坤の巻)』

71	149	20	D	アナトール・フランス(著)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第四編』蜜峰姫』
72	150	21	D	チャールズ・ノードマン(著)・浅野利三郎(訳纂)『誰にも解かる相対性原理の話』……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
73	151	27	D	荻原井泉水(著)『新に俳句を作る人に』(A・B・12月)
74	152	28	D	渡平民(編)・広川松五郎(装画)『一日一益お伽論語』
75	153	12	D	西宮藤朝(著)『現代文化の諸問題』
76	154	5	D	馬場胡蝶(訳)『ゴオルキイ全集・第四巻』国事探偵』
77	155	5	D	佐々木指月(著)『金と女から見た米国及米国人』(A・B・11月)
78	156	5	D	パトランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第七・八編』原因の觀念に就て／直知と叙述知』……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部 (A・B・10月)
79	157	7	D	佐藤惣之助(著)『佐藤惣之助詩集』新都市雑曲集・深紅の人』
80	158	10	D	ウォルター・エム・ガリカン(原著)・浅山於菟(訳)『教師並びに家庭の為の性欲学教科書』
81	159	11	D	吉田絃二郎(著)『白い鳩をたづねて』(A・なし)
82	160	12	D	宇治田直義(著)『支那研究・共和以後』
83	161	12	D	白鳥章吾(著)『詩に徹する道』
84	162	15	D	中村吉蔵∥河野義博(共著)『近代史論叢書』近代演劇史論』
7 大正11年(一九二二年)				
1	163	5	D	安東禾村(著)『意志療法・活力増進の秘訣』
2	164	10	D	佐々木指月(著)『亜米利加夜話』
3	165	10	D	福田正夫(編)『泰西社会詩人詩集』
4	166	10	D	福田正夫(編著)『日本社会詩人詩集』
5	167	13	D	マグニツキイ(著)・中村白葉∥金田常三郎(訳)『自由の一年』(A・B・2月)
6	168	17	N	エッチ・コール(著)・納武津(訳)『新社会組織の原理(機能的社会組織の提唱)』
7	169	25	D	尾瀬敬止(著)『ロシヤ十大革命家——附・ロシヤ革命小史』
8	170	28	D	宮島新三郎(訳)『ゴオルキイ全集・第六巻』三人』(A・B・2月)
9	171	31	D	仲木貞一(訳)『ゴオルキイ全集・第五巻』浮浪人』
10	172	2	D	小寺融吉(著)『近代史論叢書』近代舞踊史論』

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
[192]	[191]	[190]	[189]	[188]	[187]	[186]	[185]	[184]	[183]	[182]	[181]	[180]	[179]	[178]	[177]	[176]	[175]	[174]	[173]	
	8	7				6				5					4			3		
20	15	20	20	20	20	17	10	21	15	13	30	23	10	3	1	20	20	15	25	
C・N	D	C・N	C・D	C・N	C・N	C・N	(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	N	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	D	
久保和彦(編)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第五編 進化の話(生物篇)……(発行)	庄崎俊夫(著)『良子女王御生立の記』	寺田稔彦(著)『摂政宮御生立の記』	石田伝吉(恵峰)(著)『地方研究・新優良町村及優良団体』	松本悟朗(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第四編 哲学の話……(発行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部(A・B:7月)	納部津(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第三編 社会の話……(発行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部	長谷川零余子(著)『近代史論叢書 第一卷・芭蕉時代』	若山牧水(選)『路行く人々の歌』	ウヰル・アウヰン(著)・弓家七郎(訳)『科学的軍備と次の戦争』	菊池悟郎＝溝口白羊(共編)『原敬全伝(地編)』……[177] [183] 復刻……御厨貴(監修)『歴代総理大臣伝記叢書10・11原敬(上)(下)』(ゆまに書房、平成18年2月)	浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第二編 文化の話……(発行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部	茂森唯士(著)『ガンデイ及びガンディズム』(A・B:5月)	潮研究会(発売) 日本評論社出版部	浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第一編 宇宙の話……(発行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部	原田実(訳)『ゴオルキイ全集・第七卷 世の中へ出て』(A・B:5月)	森口多里(著)『近代史論叢書 近代美術史論』	菊池悟郎＝溝口白羊(共編)『原敬全伝(天編)』	カテリン・ブラックフォード＝アーサー・ニューコムほか(原著)・安東源治郎(禾村)(訳纂)『性格解剖学』……(発行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部	ハヴァロック・エリス(著)・弓家七郎(訳)『産児制限と優生学』(A・B:なし)	行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部	ミス・サンダース(著)・早坂二郎(訳)・相葉又一郎(編)『英国皇太子生立の記』……(発行) アンリ・ファアブル(著)・伊藤欽二(訳)『科学知識・少年少女の為に』

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
[230]	[229]	[228]	[227]	[226]	[225]	[224]	[223]	[222]	[221]	[220]	[219]	[218]	[217]	[216]	[215]	[214]	[213]	[212]	[211]	[210]
			6					5							4				3	
20	20	18	10	27	21	20	20	20	13	5	23	20	20	15	5	26	20	15	15	25
C・D	C・N	C・(D)	C・N	C・D	C	D	C・D	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	D	C・N	C・D	C・N
中田千畝(著)『最新登山案内』	レーニン(著)・茂森唯士(訳)『レーニン論文集』	大久保昶彦(補訳)『チルデン庭球術』	安島健(編)『最近主義思潮三十講』	大久保昶彦(著)『家庭電気学』	会、(発売) 日本評論社出版部	石田伝吉(著)『小説 理想の農家』	小田恪介(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第三編』	東京朝日新聞社経済部(編)『通俗財話』……(増補改訂) 大正13年(286)、(増補再改訂) 昭和3年(433)	川原次吉郎(著)『エスベラントの話』……(編輯者) 平栗要三、(発行者) 茅原茂	安島健(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第二編』	アンリ・バルビュウス(著)・青野季吉(訳)『闘争に赫く光』	編輯者) 平栗要三、(発行者) 日本評論社出版部 (A・B・5月)	ダニエル・ド・レオン(原著)・松本悟朗(訳)・世界思潮研究会版『同盟罷業の意義』……(編輯者) 平栗要三、(発行者) 日本評論社出版部 (A・B・5月)	寺田瑛(著)『女子の運動競技』	山内封介(著)『出兵より撤兵まで』シベリヤ秘史』	中尾龍夫(著)『呪はれたる陸軍』	会、(発売) 日本評論社出版部	宮下文雄(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一編』	河瀬蘇北(著)『財界秘話(附・経済的国難論)』	荒木直範(著)『体育ダンスと社交ダンス』(A・B・5月)

28	[231]								荻原井泉水(著)『緑蔭に語る』
29	[232]								浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第四編』教育の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
30	[233]								安島健(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第五編』美学の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
31	[234]								伊藤正一(著)『通俗現代商業講話』
32	[235]								弓家七郎(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第六編』都市の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B…11月)
33	[236]								石黒修(著)『初等エスペラント教科書』……〔発行〕茅原茂、(発行所)世界思潮研究会、(発売)日本評論社、(増訂三版)大正13年5月
34	[237]								野間守人(著)『理想の庭園及公園』
35	[238]								信定龍太郎(編)『大震災・写生図解』
36	[239]								大内秀一郎(著)『通俗講話・建築の智識』
37	[240]								世界思潮研究会調査部(訳纂)『世界は日本の震災を如何に見たか(1)』世界パンフレット通信一八一号……〔発行所〕世界思潮研究会、(発売所)日本評論社出版部(A・B…大正13年1月)
38	[241]								佐伯矩(監修)・東京朝日新聞社(編)『栄養料理講習録』(A・B…11月)
									9 大正13年(一九二四年)
1	[242]								山内房吉(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一編』芸術の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
2	[243]								世界思潮研究会調査部(訳纂)『世界は日本の震災を如何に見たか(2)』世界パンフレット通信一八二号……〔発行所〕世界思潮研究会、(発売所)日本評論社出版部(A・B…2月)
3	[244]								時事新報社経済部(編)『大震災経済史』……〔編輯者〕石川連城、(発行)茅原茂、(発行所)日本評論社・時事新報社
4	[245]								イー・マーク・ハム・リー(述)・世界思潮研究会(抄訳)『音楽の新智識』世界パンフレット通信号外……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
5	[246]								茂森唯士(編)『少年詩人トーマス』(A・B…1月)
6	[247]								清水正己(著)『商業から見た欧米都会見物』

26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
[267]	[266]	[265]	[264]	[263]	[262]	[261]	[260]	[259]	[258]	[257]	[256]	[255]	[254]	[253]	[252]	[251]	[250]	[249]	[248]
	6			5						4					3				
	5	20	10	10	10	29	25	17	16	15	15	11	25	20	10	?	25	20	10
D	C・D	C・(D)	C・N	C・(D)	C・(D)	C	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・N	C・D
山内房吉 (訳) 『世界童話名作選集 少年詩人の旅』 (A・B・・・5月)	東京朝日新聞経済部 (編) 『改訂増補 通俗財話』 …… (初版) 大正12年 (231)	東京商科大学庭球部 (編) 『バックハンドの研究』	吉野甫 (著) 『体験図解・自彊術講話』	山内封介 (編) 『日露会話独習——附「新語 略語字彙」』	マークハム・リー (著) ・杉浦躬行 (訳) 『音楽の一般的智識』	研究会、(発売) 日本評論社出版部	大内秀一郎 (著) 『吾等何を学ぶべき乎 第二期第七編 建築の話』 …… (発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	吉野鉄拳禅 (著) 『政治家のカラクリ』	寺田瑛 (著) 『最新陸上競技法』 (A・B・・・2月)	6月5日	水島爾保布 (著) 『新東京繁昌記 (附) 大阪繁盛記』 (A・B・・・5月) …… (発売禁止改訂版)	ダウキン (原著) ・大畑達雄 (訳) 『人間の由来』	蘆川忠雄 (著) 『現代商業・流行の見方と流行品の売方』	評論社出版部	大久保利彦 (著) 『趣味と実益の泉・今日の科学』 …… (発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	住谷成一 (著) 『新聞雑誌の作方と説方』	安島健 (著) 『吾等何を学ぶべき乎 第二期第八編 論理の話』	〔注〕 東京朝日新聞大正13年11月4日朝刊五面に、既刊の広告が掲載されている。	〔注〕 東京朝日新聞大正13年11月4日朝刊五面に、既刊の広告が掲載されている。

27	[268]		10	C・N	長谷川猪三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一〇編』歴史の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部(A・B・5月)
28	[269]		25	C・D	ランケスター(著)・大畑達雄(訳)『地と海の秘密』
29	[270]	7・5	5	C・D	松川二郎(著)『珍珠を求めて』舌が旅をする』
30	[271]		5	N	大久保昶彦(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一編』電気の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部(A・B・6月)
31	[272]	8・12			西田卯八(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第六編』地理の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部
32	[273]	9・20		C・D	東京朝日新聞経済部(編)『国際財誌』
33	[274]	10・3		C・D	伊藤正一(著)『現代商工実務の学び方——商業編』(A・B・9月)
34	[275]		5	C・D	寺田瑛(著)『最新運動競技規則集』(A・B・9月)
35	[276]		10	C・D	新関荘蔵(著)『通俗財政経済大系・第八編』貿易の見方』
36	[277]		20	C・D	下田将美(著)『通俗財政経済大系・第一〇編』物価の見方』
37	[278]		20	C・D	土田清次(著)『現代商工実務の学び方——工業編』
38	[279]	11・?		C・D	松本七郎(著)『模範答案・化学問題粹』(A・B・11月)……東京朝日新聞大正14年1月25日朝刊七面では、『模範答案・代数問題粹』(280)より前の位置に既刊の広告が掲載されている。
39	[280]		5	N	山本宏一郎(著)『模範答案・代数問題粹』(A・B・なし)
40	[281]		10	C・D	森田久(著)『通俗財政経済大系・第三編』予算の見方』(A・B・10月)
41	[282]		10	C・D	西野喜与作(著)『通俗財政経済大系・第六編』金融の見方』
42	[283]	12	20	C・D	ジュール・コンパリウ(著)・田坂晋三郎(訳)『音楽の思想と法則』
43	[284]			C・D	マッケンザー(著)・浅野利三郎(訳)『社会哲学大系』
44	[285]		10	C・D	森田久(著)『通俗財政経済大系・第四編』税の見方』(A・B・11月)
45	[286]		10	C・D	三浦弘一(著)『通俗財政経済大系・第一四編』相場取引の見方』(A・B・11月)
46	[287]		10	C・D	石田伝吉(著)『農村改造十二講(附録・漁村振興の新提唱)』
47	[288]		10	N	納武津(編)『受験参考』英文解釈・作法・文法集成』
48	[289]	?・?		C	稲葉岩吉(著)『満州発達史(増補版)』……〔注〕天津図書館・遼寧省図書館所蔵(国内図書館に所蔵なし)……〔増訂版〕昭和10年〔983〕

10	大正14年（一九二五年）
1	〔290〕 1・10 C・D 森田久（著）『通俗財政経済大系・第五編 地方予算と地方税の見方』
2	〔291〕 10 C・D 遠藤麟太郎（著）『通俗財政经济大系・第七編 銀行の見方』（A・B・大正13年12月）
3	〔292〕 10 C・D 石黒修（著）『エスベラントの学び方（独習三十日）』
4	〔293〕 20 C・D 浅野利三郎⇨大久保昶彦（編輯代表）『現代常識大系・第一編 宇宙の見方』
5	〔294〕 10 C・D 浅野利三郎⇨大久保昶彦（編輯代表）『現代常識大系・第二編 地球の見方』（A・B・1月）
6	〔295〕 10 C・D 山崎靖純（著）『通俗財政经济大系・第九編 外国為替の見方』
7	〔296〕 10 C・D 長永義正（著）『通俗財政经济大系・第一八編 保険の見方』
8	〔297〕 10 C・D 茂森唯士（著）『国際知識大系・第八編 露西亞の見方』
9	〔298〕 20 C・D 石田伝吉⇨吉野甫（共編）『公民教育・教授要綱の字引』
10	〔299〕 10 C・D 和田信夫（著）『通俗財政经济大系・第二三編 米国経済の見方』
11	〔300〕 10 C・D 浅野利三郎⇨大久保昶彦（編輯代表）『現代常識大系・第五編 遺伝の見方』（A・B・2月）
12	〔301〕 4・1 C・D 日本評論社（編）『通俗経済講座（第一輯）』
13	〔302〕 10 C・D 堀川淳一郎（著）『通俗財政经济大系・第二〇編 工場経営の見方』（A・B・3月）
14	〔303〕 10 C・D 下田将美（著）『通俗財政经济大系・第二二編 労働問題の見方』（A・B・3月）
15	〔304〕 15 C・D 日本評論社（編）『通俗経済講座（第二輯）』
16	〔305〕 20 C・D 浅野利三郎⇨大久保昶彦（編輯代表）『現代常識大系・第四編 人種の見方』
17	〔306〕 20 C・N 清水都代三（著）『通俗財政经济大系・第二二編 商品取引の見方（重要商品篇）』
18	〔307〕 5・1 C・D 田川大吉郎（著）『普選の話』（A・B・4月）
19	〔308〕 1 C・D 日本評論社（編）『通俗経済講座（第三輯）』
20	〔309〕 15 C・D 日本評論社（編）『通俗経済講座（第四輯）』
21	〔310〕 22 C・D 川西正鑑（著）『通俗財政经济大系・第一編 商品取引の見方（一般商品篇）』
22	〔311〕 22 C・D 浅野利三郎⇨大久保昶彦（編輯代表）『現代常識大系・第八編 社会の見方』
23	〔312〕 22 C・D 東京朝日新聞経済部（編）『国際資本戦』
24	〔313〕 6・1 C・D 日本評論社（編）『通俗経済講座（第五輯）』
25	〔314〕 5 C・D 堀江帰一（著）『通俗財政经济大系・第一編 国民経済の話』（A・B・5月）
26	〔315〕 20 C・D 政治教育会調査部（編）『普通政治講話』

27	[316]	7・10	C・D	信夫淳平(著)『国際政治論叢・第一巻』国際政治の進化及現勢……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所)合資会社・日本評論社(A・B・6月)
28	[317]	15	C・D	中平亮(著)『欧・亜・弗の旅——君府から聖都まで』
29	[318]	?	C・D	牧野輝智(著)『農村金融』(A・なし、B・7月)……〔注〕翌年7月に牧野輝智(著)『農村問題大系・第五編』農業金融』(355)が刊行されている。
30	[319]	9・5	C・D	信夫淳平(著)『国際政治論叢・第二巻』国際政治の綱紀及連鎖……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所)合資会社・日本評論社
31	[320]	5	C・(D)	太田正孝(著)『読本シリーズ』経済読本……〔訂正版〕大正15年1月、〔改訂〕昭和2年(401)
32	[321]	15	C・D	尾崎行雄(著)『読本シリーズ』政治読本……〔増補改訂〕昭和11年(1068)
33	[322]	15	D	杉村広太郎(楚人冠)(著)『正誤取消の規定に関する誤解』
34	[323]	10・15	C・D	大阪朝日新聞社経済部(編)『商売うらおもて』〔正編〕
35	[324]	20	C・N	小汀利得(著)『通俗財政経済大系・第一五編』会社の見方
36	[325]	11・10	C・D	牧野輝智(著)『為替問題十講』
37	[326]	10	D	日本評論社(編)『通俗経済講座(追補)』
38	[327]	18	C・D	清沢冽(著)『米国の研究』
39	[328]	20	C・D	武内文彬(著)『通俗財政経済大系・第二編』支那経済の見方
40	[329]	20	C・D	北沢新次郎(著)『資本主義経済と社会主義経済』
41	[330]	28	C・D	清水長郷(著)『農村問題大系・第三編』農村財政
42	[331]	30	C・D	信夫淳平(著)『国際政治論叢・第三巻』国際紛争と国際連盟……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所)合資会社・日本評論社
43	[332]	12・20	C・D	下村宏(海南)(著)『新聞に入りて』
44	[333]	20	C・D	太田利一(著)『農村社会問題の趨嚮』
45	[334]	20	C・D	有馬農村問題研究所(編)『農村問題文献資料』
11	大正15年・昭和元年(一九二六年)			
1	[335]	1・1	C・D	武藤山治(著)『読本シリーズ』実業読本……〔訂正版〕2月
2	[336]	2・10	C・D	八木長人(著)『通俗財政経済大系・第一三編』食糧政策の見方』(A・B・1月)
3	[337]	18	C・D	小橋一太(著)『農村問題大系・第二編』農村自治

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4		
[361]	[360]	[359]	[358]	[357]	[356]	[355]	[354]	[353]	[352]	[351]	[350]	[349]	[348]	[347]	[346]	[345]	[344]	[343]	[342]	[341]	[340]	[339]	[338]		
11・5	10・25	10・10	12	12	8・5	7・15	7・5	29	20	10	6・10	5・21	5・18	12	10	5	4・1	30	20	8	5	1	3・1		
C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・(D)	C・D		
志村源太郎(著)『農村問題大系・第一〇編 産業組合問題』	小平権一(著)『農村問題大系・第九編 農村副業問題』	ダーウィン(原著)・大畑達雄(訳)『雌雄淘汰』(A・B・11月)	土方成美(著)『我國民經濟と財政』	鈴木文史朗(郎)(著)『東西話行』	下村宏(海南)(著)『思ひ出草(二白の巻)』(A・B・7月)	牧野輝智(著)『農村問題大系・第五編 農業金融』	松岡正男(著)『通俗財政經濟大系・第一九編 植民及移民の見方』	尾崎行雄(著)『読本シリーズ 婦人読本』	太田正孝(著)『經濟そのをりをり』	太田正孝(著)『新聞そのをりをり』	年(4081)	西野元(著)『予算概論』	本位田祥男(著)『消費組合巡礼』	上山満之進(著)『農村問題大系・第八編 米穀問題』	永井亨(著)『読本シリーズ 社会読本』	山室宗文(著)『我國の金融市場(正編)』	西野元(著)『會計制度要論(第三版)』……〔初版〕大正11年(202)、〔再版〕大正12年5月30日	平、(発行所) 合資会社・日本評論社	信夫淳平(著)『國際政治論叢・第四卷 外政監督と外交機關』……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所) 合資会社・日本評論社	東京朝日新聞經濟部(編)『経営百態』	大阪朝日新聞經濟部(編)『商売うらおもて(続編)』	号(昭和10年10月)〔1042〕。	「經濟往来」一卷一号。〜一〇卷九号(昭和10年9月)。「継続後誌」「日本評論」一〇卷一〇号(昭和10年10月)〔1042〕。	原田讓二(著)『欧米新聞遍路』(A・B・2月)	遠藤麟太郎(著)『財政經濟私言』

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
[386]	[385]	[384]	[383]	[382]	[381]	[380]	[379]	[378]	[377]	[376]	[375]	[374]	[373]	[372]	昭和2年(一九二七年)	[371]	[370]	[369]	[368]	[367]	[366]	[365]	[364]	[363]	[362]
5	25	15	4	25	15	5	3	25	17	15	2	25	1	1		25	17	15	15	10	10	12	22	20	15
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D

- 武藤山治(著)『実業政治——吾々もし政局に立たば』
 西野喜与作・松本武雄(著)『通俗財政経済大系・第一七編』運輸交通の見方』
 東京朝日新聞社経済部(編)『金と物どう動く?』(A・B・12月)
 『社会経済体系・第一巻』
 下村宏(海南)(著)『読本シリーズ』財政読本』(A・B・11月)
 藤田進一郎(著)『東西記者行脚』
 本位田祥男(著)『人間復興』
 武藤山治(著)『普選のススメ』(A・B・11月)
 永井亨(著)『労働組合法論』
 『社会経済体系・第二巻』
- 1 『経済研究』四巻一号……(出版者)経済研究会、(発売)日本評論社。一巻一号(大正13年10月)〜三巻四号(大正15年10月)は岩波書店の刊行。五巻三号(昭和3年7月)で廃刊。
 武藤山治(著)『実業政治参考資料』(A・B・2月)
 『社会経済体系・第三巻』
 南波礼吉(著)『株式講話』
 喜多取一郎(著)『通俗財政経済大系・第二四編』欧州経済の見方』
 社会科学研究所同人(編)『社会科学研究』一巻一号
 『社会経済体系・第四巻』
 河田嗣郎(著)『農村問題大系・第四編』農業経済』
 杉村広太郎(楚人冠)(著)『新聞紙の内外』
 ヒュー・ダルトン(著)・楠井隆三(訳)『財政学』
 『社会経済体系・第五巻』
 信夫淳平(著)『近代外交史論』(A・B・3月)
 小林丑三郎(著)『批判経済学』
 『社会経済体系・第六巻』
 穂積重遠(著)『読本シリーズ』民法読本』……〔改訂版〕昭和6年〔772〕、〔新訂版〕昭和

41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
[412]	[411]	[410]	[409]	[408]	[407]	[406]	[405]	[404]	[403]	[402]	[401]	[400]	[399]	[398]	[397]	[396]	[395]	[394]	[393]	[392]	[391]	[390]	[389]	[388]	[387]
11	15	30	24	18	10	10	10	5	30	28	20	10	30	18	17	10	10	30	15	15	14	25	25	13	10
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)

- 11年〔1086〕、〔改版〕昭和18年〔1084〕、昭和23年『新民法読本』〔1898〕
- 関谷龍吉（著）『読本シリーズ』教育読本』
- 東京朝日新聞経済部（編）『経済随想』
- 『社会経済体系・第七巻』
- 小林丑三郎（著）『経済思想及学説史』（A・B：6月）
- 野村兼太郎（著）『欧洲印象記』
- 下田将美（著）『通俗財政経済大系・第二編 経済政策の話』
- 『社会経済体系・第八巻』
- 藤山雷太（著）『南洋叢談』
- 『社会経済体系・第九巻』
- 前田繁一（著）『庶民金融』
- 土方成美（著）『マルクス価値論の排撃』
- 東京朝日新聞社会部（編）『夏日夜話』
- 矢野恒太（編）『日本国勢図会（昭和二年版）』
- 『社会経済体系・第一〇巻』
- 太田正孝（著）『改訂 経済読本』……〔初版〕大正14年〔320〕
- 米山梅吉（著）『銀行行余録』
- 泉哲（著）『最近国際法批判』（A・B：10月）
- 『社会経済体系・第一一巻』
- 吉野作造（編）『明治文化全集・第一四巻（翻訳文芸篇）』
- 関口泰（著）『普選と新興勢力』
- 下村宏（海南）（著）『皮と肉』
- 太田正孝（著）『婦人経済読本（も一つの鏡改題）』……〔初版〕大正15年〔330〕
- 小林丑三郎（著）『税制整理の根本批判（総選挙攻戦の争点）』
- 牧野英一（著）『海を渡りて野をわたりて』
- 『社会経済体系・第一二巻』
- 高田保馬（著）『人口と貧乏』（A・B：12月）

42	413	C・D	20	12	1	5	1	1	1	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42
	〔413〕	C・D								〔421〕	〔422〕	〔420〕	〔419〕	〔418〕	〔417〕	〔416〕	〔415〕	〔414〕	〔413〕
	吉野作造(編)『明治文化全集・第五卷(自由民権篇)』																		
	『社会経済体系・第一三卷』																		
	野田豊(著)『通俗財政経済大系・第一六編 経済団体——附・トラストとカルテル』																		
	馬場敬治(著)『産業経営理論』																		
	清水長郷(著)『農村経済』																		
	小島精一(著)『産業統制史論・第一分冊 企業集中論』……〔増補再版〕昭和4年〔367〕																		
	那須皓(著)『人口食糧問題』																		
	井上準之助(編)『太平洋問題——一九二七年ホノル、会議』……〔発行所〕太平洋問題調査会、〔発売所〕日本評論社(A・B)：昭和3年2月																		
	永井亨(著)『日本政党論』																		
	西原寛一(著)『銀行法解説』																		
	吉野作造(編)『明治文化全集・第六卷(外交篇)』																		
	ロバート・オウエン(著)・本位田祥男 五島茂(共訳)『ロバート・オウエン自叙伝』(A・B)：昭和2年12月																		
	東京朝日新聞経済部(編)『卓を囲んで』																		
	『社会経済体系・第一四卷』																		
	吉野作造(編)『明治文化全集・第一九卷(風俗篇)』																		
	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一卷』																		
	川村貞四郎 佐伯敦美(共著)『英国労働党の政策及現勢』																		
	吉野作造(編)『明治文化全集・第一六卷(外国文化篇)』																		
	『社会経済体系・第一五卷』																		
	守屋栄夫(著)『太平洋時代来る』																		
	東京朝日新聞経済部(編)『通俗財話(改訂版)』(A・B)：1月……〔初版〕大正12年〔222〕、〔改訂増補〕大正13年〔266〕																		
	橋爪明男(著)『貨幣理論』																		
	吉野作造(編)『明治文化全集・第一〇卷(教育篇)』																		

13 昭和3年(一九二八年)

39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	
[461]	[460]	[459]	[458]	[457]	[456]	[455]	[454]	[453]	[452]	[451]	[450]	[449]	[448]	[447]	[446]	[445]	[444]	[443]	[442]	[441]	[440]	[439]	[438]	[437]	[436]	
										6				5						4						
20	18	18	18	15	15	15	15	5	1	1	31	25	25	15	30	28	25	15	15	15	5	25	20	20	18	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
青木得三(著)『日本国債論』	石原護(著)『社会科学叢書・第三編』ギリシャ人の哲学思想』	土方成美(著)『財政学講義(上巻)』	〔第三版〕昭和22年(1861)	本位田祥男(著)『社会科学叢書・第一編』英国経済史要』……(改訂)昭和13年(1255)、『	与謝野晶子(著)『心の遠景』	長岡隆一郎(著)『世界の動き』	深井英五(著)『通貨調節論』……(増訂)昭和4年(552)、『(新訂)昭和13年(1288)	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三巻』	小島精一(著)『(産業統制史論・第三分冊)英国産業組織論』	新生協会同人(著)『新社会の基調』	土方成美(著)『日本経済研究(上巻)(下巻)(附録)』(全三巻)(A・B・3月)	『社会経済体系・第一八巻』	猪谷善一(著)『日本資本主義——其歴史・機構・改造』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三巻』	吉野作造(編)『明治文化全集・第二巻(正史篇・上巻)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二四巻』	『社会経済体系・第一七巻』	山室宗文(著)『我国の金融市場(統編)』	小島精一(著)『(産業統制史論・第二分冊)恐慌と独占』	吉野作造(編)『明治文化全集・第三巻(時事小説篇——附・統訳訳文芸篇)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二巻』	滝本誠一(著)『日本経済典籍考』	上杉慎吉(著)『(読本シリーズ)憲法読本』(A・B・2月)	長尾半平(著)『禁酒叢話』	『社会経済体系・第一六巻』	下村宏(海南)(著)『思ひ出草(二黒の巻)』

40	(462)	C・D	25	吉野作造(編)『明治文化全集・第一七卷(新聞篇)』
41	(463)	C・D	28	土田杏村(著)『社会科学叢書・第二編』社会哲学』
42	(464)	C・D	5	堀尾夫(著)『社会科学叢書・第四編』リカアド派社会主義』
43	(465)	C・D	10	グスタフ・カッセル(著)・田村敏雄 毛里英於菟(共訳)『世界の貨幣問題(購買力平価説)』
44	(466)	C・D	12	山川均(著)『社会科学叢書・第六編』社会主義サヴェート共和国同盟の現勢』
45	(467)	C・D	15	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法科学全集・第四卷』
46	(468)	C・D	15	『社会経済体系・第一九卷』
47	(469)	C・D	20	吉野作造(編)『明治文化全集・第四卷(憲政篇)』
48	(470)	C・D	15	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法科学全集・第五卷』
49	(471)	C・D	25	永井亨(著)『日本民族論』
50	(472)	C・D	25	永井亨(著)『日本国体論』
51	(473)	C・D	1	エル・エル・ブライス(著)・石渡六三郎(訳)『英国経済学史』
52	(474)	C・D	10	高橋亀吉(著)『日本資本主義発達史』……〔増補改訂〕昭和4年(1900)、『改訂増補』昭和14年〔1930〕
53	(475)	C・D	10	マックス・アドラー(著)・山田秀男(訳)『思想家としてのマルクス』
54	(476)	C・D	15	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法科学全集・第六卷』
55	(477)	C・D	15	吉野作造(編)『明治文化全集・第一卷(宗教篇)』(A・B:8月)
56	(478)	C・D	20	高柳賢三(著)『社会科学叢書・第五編』法律哲学』
57	(479)	C・D	20	山口正太郎(著)『労働法原理』
58	(480)	C・D	20	波多野鼎(著)『社会科学叢書・第七編』社会思想史概説』
59	(481)	C・D	20	高田保馬(著)『社会科学叢書・第八編』経済学』
60	(482)	C・D	20	小松堅太郎(著)『社会科学叢書・第九編』社会学概論』
61	(483)	C・D	20	高島素之(著)『社会科学叢書・第一〇編』地代思想史』
62	(484)	C・D	20	中川友長(著)『統計研究法の基礎』
63	(485)	C・D	25	『現代経済学全集・第一卷』……土方成美(著)『経済学総論』
64	(486)	C・D	25	大藏省理財局(編)『昭和三年調』金融事項参考書』(A・B:10月)
65	(487)	C・D	30	上田貞次郎(著)『社会科学叢書・第一一編』株式会社論』(A・B:10月)

4	3	2	1		84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66
[510]	[509]	[508]	[507]		[506]	[505]	[504]	[503]	[502]	[501]	[500]	[499]	[498]	[497]	[496]	[495]	[494]	[493]	[492]	[491]	[490]	[489]	[488]
			14 昭和4年 (一九二九年)							12 1												10 15	30
C・D	C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
20	20	15	10		25	20	15	10	5	1	25	20	15	10	11 1	30	25	25	20	15	15	15	30
波多野鼎 (著) 『社会科学叢書・第二編』新カント派社会主義 (A・B・10月)	末弘厳太郎 (編輯代表者) 『現代法學全集・第七卷』	吉野作造 (編) 『明治文化全集・第二卷 (文学芸術篇)』 (A・B・9月)	『社会経済体系・第二〇卷』 (完結)	蠟山政道 (著) 『社会科学叢書・第二三編』行政学総論	那須皓 (著) 『農村問題大系・第一編』農村社会問題	下田将美 (著) 『世界経済の革新運動』	経済史研究会 (編) 『経済史研究』一号…… (継続) 五〇号 (昭和8年12月、一一卷一号 (昭和9年1月) 三二卷一号 (昭和20年1月))	末弘厳太郎 (編輯代表者) 『現代法學全集・第八卷』	『現代経済学全集・第三卷』……高田保馬 (著) 『景気変動論』 (A・9月、B・月表記なし)	吉野作造 (編) 『明治文化全集・第一卷 (皇室篇)』	武藤山治 (杉浦宗三郎 (村山義路) 今岡純一郎 (河村驍) 野田鶴雄 (中井励作) 高杉晋 (著) 『現代産業叢書・第五卷』工業編 (下巻)』	杉村楚人冠 (著) 『湖畔吟』	小林良正 (著) 『社会科学叢書・第一四編』ドイツ経済史要 (A・B・10月)	末弘厳太郎 (編輯代表者) 『現代法學全集・第九卷』	『現代経済学全集・第一八卷』……神戸正雄 (著) 『财政学・日本租税論』	吉野作造 (編) 『明治文化全集・第一八卷 (雑誌篇)』	土方成美 (著) 『财政学講義 (下巻・第一分冊)』…… (注) 『下巻・第二分冊』も発刊されているが、国会図書館蔵本には奥付がないため、刊行年月日不明。(合冊版) 昭和4年 [516]	末弘厳太郎 (編輯代表者) 『現代法學全集・第一〇卷』	孫田秀春 (著) 『労働法論 (巻の二・各論上)』 (A・B・2月)	白柳武司 (著) 『財界太平記 (正)』 (A・B・2月)	安川雄之助 (中川正左 (米山梅吉) 長満欽司 (村田省蔵) (著) 『現代産業叢書・第三卷』商業・		

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5		
[534]	[533]	[532]	[531]	[530]	[529]	[528]	[527]	[526]	[525]	[524]	[523]	[522]	[521]	[520]	[519]	[518]	[517]	[516]	[515]	[514]	[513]	[512]	[511]		
20	17	15	10	10	4	30	15	10	10	3	20	17	17	17	15	15	25	10	10	10	10	2	10		
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D		
『現代経済学全集・第一六卷』……小島精一＝増井幸雄(著)『工業政策・交通政策』	『現代経済学全集』(山崎(寛次郎)教授還暦祝賀記念)『経済学研究(第一卷・経済編)(第二卷・金融編)』	矢作栄蔵(編)『山崎(寛次郎)教授還暦祝賀記念』	山崎寛次郎(著)『貨幣概論』	吉野作造(編)『明治文化全集・第二〇卷(文明開化篇)』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一三卷』	山川均(著)『社会科学叢書・第二〇編』インタナショナルの歴史』	藤山雷太＝稲畑勝太郎＝松永安右衛門＝今井五介(著)『現代産業叢書・第四卷 工業編(上巻)』	『現代経済学全集・第一九卷』……小島昌太郎(著)『保険学要論』	渡辺鉄蔵(著)『時事問題講座12 経営合理化』	吉野作造(編)『明治文化全集・第三卷(正史篇・下巻)』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二卷』	吉野作造(編)『明治文化全集・第二卷(社会篇)』	三谷隆正(著)『社会科学叢書・第一九編 国家哲学』	新明正道(著)『社会科学叢書・第一六編 独逸社会学』	稲畑勝太郎(著)『欧亜に於て』	藤井悌(著)『社会科学叢書・第一五編 各国労働党・社会党・共産党』	下村宏(海南)(著)『新聞常識』	『現代経済学全集・第三卷』……河田嗣郎(著)『経済学原論』	土方成美(著)『財政学講義(下巻)』……(下巻・第一分冊)昭和3年(306)	田中広太郎(著)『時事問題講座6 地方財政』	評論社	茗荷房吉(著)『日本政党の現勢』……(著者兼発行者)茗荷房吉、(発行所)合資会社・日本	小野清一郎(著)『社会科学叢書・第一八編 法律思想史概説』	荒木光太郎(著)『社会科学叢書・第一七編 奥太利学派経済学』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二一卷』

49	48		47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
[555]	[554]		[553]	[552]	[551]	[550]	[549]	[548]	[547]	[546]	[545]	[544]	[543]	[542]	[541]	[540]	[539]	[538]	[537]	[536]	[535]
10	10		7	15	30	25	21	20	18	15	15	10	6	30	25	20	20	20	20	10	5
C・D	C・D		C	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
<p>美濃部達吉（編）『不戦条約中「人民の名に於て」の問題』 末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第一四巻』 吉野作造（編）『明治文化全集・第八巻（法律篇）』 『現代経済学全集・第二〇巻』……汐見三郎（著）『統計学』 田辺忠男（著）『社会科学叢書・第二一編 労働組合運動』 牧野輝智（著）『時事問題講座5』 国際貸借』 池田成彬∥森広成∥井上進之助∥藤原銀次郎∥矢野恒太（著）『現代産業叢書・第二巻』 金融・保険編』 穂積八束（著）『憲法制定之由来』 土田杏村（著）『社会科学叢書・第二二編 ユートピア社会主義』 末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第一五巻』 『現代経済学全集・第九巻』……林癸未夫（著）『社会問題各論』 白柳秀湖（著）『西園寺公望伝』 ゲオルグ・イエリネック（著）・美濃部達吉（訳）『社会科学叢書・第二四編 人権宣言論・外編』 栗栖起夫（著）『工場・鉄道及鉱業抵当法論』 松本勝太郎（著）『海外を巡りて』 藤井悌（著）『社会科学叢書・第三編 ファッションズム』 吉野作造（編）『明治文化全集・第一五巻（思想篇）』 深井英五（著）『増訂 通貨調節論』……〔初版〕昭和3年〔455〕〔新訂〕昭和13年〔1288〕 明治文化研究会（編）『明治文化』五巻七号……一年〔第一巻〕一冊（大正14年2月）∥三年〔第三巻〕二冊（昭和2年2月）の雑誌名は「新旧時代」（福永書店、四年三冊〔昭和3年3月〕∥五巻六号〔昭和4年6月〕の雑誌名は「明治文化研究・新旧時代」（三省堂。日本評論社版は、六巻三号〔昭和5年3月〕で「第一期」休刊、昭和9年1月「第二期」復刊〔七巻一号〕、昭和19年1月終刊〔一七巻一号〕。〕 末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第一六巻』 上山満之進（著）『戦争と硬貨』</p>																					

50	(556)	C・D	15		『現代経済学全集・第六卷』……本条栄三郎 黒正徹(著)『日本経済史』
51	(557)	C・D	15		牧野輝智(著)『貨幣学の実証的研究』
52	(558)	C・D	20		アルフレット・アモン(著)『社会科学叢書・第二五編 正統派経済学』
53	(559)	C・D	25		石川三四郎(著)『社会科学叢書・第二六編 社会主義運動史』
54	(560)	C・D	5	8	阿比留乾二(著)『満洲問題とは何ぞや』
55	(561)	C・D	10		吉野作造(編)『明治文化全集・第九卷(経済篇)』
56	(562)	C・D	15		末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一七卷』
57	(563)	C・D	15		下村宏(海南)(著)『鯨を読む話』
58	(564)	C・D	15		『現代経済学全集・第四卷』……高島素之(著)『マルクス経済学』
59	(565)	C・D	20	9	石榑茂(著)『石榑茂歌集』
60	(566)	C・D	1	1	下村宏(海南)(著)『さし潮ひき汐』
61	(567)	C・D	1		小島精一(著)『産業統制史論・第一分冊 企業集中論(増補再版)』……〔初版〕昭和2年〔418〕
62	(568)	C・D	5		梅嵩南(著)『三民主義と階級闘争』
63	(569)	C	15		新渡戸稻造(編)『太平洋問題叢書1 満洲問題研究』……〔発行〕太平洋問題調査会、〔発売〕日本評論社
64	(570)	C	15		太平洋問題調査会(編)『太平洋問題叢書2 米国人の観たる満洲問題』……〔発行〕太平洋問題調査会、〔発売〕日本評論社
65	(571)	C・D	15		末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一八卷』
66	(572)	C・D	15		高島素之(著)『批判マルクス主義』
67	(573)	C・D	25		『現代経済学全集・第七卷』……高橋誠一郎(著)『経済学史』
68	(574)	C・D	25		大阪毎日新聞社・東京日日新聞社エコノミスト部(編)『エコノミスト叢書1 日本金融資本戦』
69	(575)	C・D	5	10	尾崎行雄(著)『罵堂漫談』
70	(576)	C・D	5		向井鹿松(著)『新経営者学——新時代の事業とその経営者』
71	(577)	C・D	10		末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一九卷』
72	(578)	C・D	10		土方成美(著)『時事問題講座1 金解禁』
73	(579)	C・D	10		土田杏村(著)『時事問題講座9 思想問題』
74	(580)	C・D	15		『現代経済学全集・第二三卷』……高瀬荘太郎(著)『会计学』

95	94	93		92	91	90		89	88	87	86	85		84	83	82	81	80	79	78	77		76	75
[601]	[600]	[599]		[598]	[597]	[596]		[595]	[594]	[593]	[592]	[591]		[590]	[589]	[588]	[587]	[586]	[585]	[584]	[583]		[582]	[581]
10	10	5		1	1	20		15	15	15	10	10		1	1	1	30	25	25	20	20		20	15
C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		C	C・D
末弘徹太郎（編輯代表者）『現代法學全集・第二卷』	昭和14年〔320〕	高橋亀吉（著）『増補改訂』日本資本主義発達史』……〔初版〕昭和3年〔474〕、〔改訂増補〕昭和14年〔320〕	孫田秀春（著）『労働法通義』	とも不詳。	12月31日朝刊1面広告によれば、同誌は太田正孝個人執筆の月刊誌であるが、発行年・廃刊年とも不詳。	末弘徹太郎（責任編輯）『法律時報』一卷一号	吉野作造（編）『明治文化全集・第七卷（政治篇）』	向井鹿松（著）『取引所取引論』／油本豊吉（著）『商業問題』／河津暹（著）『物価問題』／	安部磯雄（著）『時事問題講座11』失業問題』	太田正孝（著）『時事問題講座4』関税と貿易』	『新日記（昭和五年日記・前年記）』（A・B・12月）……〔継続〕／昭和一六年。	末弘徹太郎（編輯代表者）『現代法學全集・第二〇卷』	『昭和9年1月』／三二卷一号（昭和20年1月）	経済史研究会（編）『経済史研究』一号……〔継続〕／五〇号（昭和8年12月）、一一卷一号（昭和9年1月）	本位田祥男（著）『社会科学叢書・第二八編』協同組合論』（A・B・10月）	滝本誠一（著）『社会科学叢書・第二七編』日本経済思想史』（A・B・10月）	深井英五（著）『通貨問題としての金解禁』	高田保馬（著）『社会雑誌』	吉野作造（編）『明治文化全集・第二卷（雑史篇）』	氣賀勘重（著）『農村問題大系・第一一編』小作問題』	黒正徹（著）『百姓一揆史談』		太平洋問題調査会（編）『太平洋問題叢書3』海軍軍縮問題』……〔発行〕太平洋問題調査会（発売）日本評論社（A・B・9月）	牧野輝智（著）『現代産業叢書・第六卷』世界産業大観』（完結）

96	[602]	C・D	15	尾崎行雄(著)『時事問題講座8)軍備制限』
97	[603]	C・D	15	『現代経済学全集・第一卷』……高垣寅次郎・荒木光太郎(著)『貨幣制度』
98	[604]	C・D	20	岡美(著)『社会経済批判』
99	[605]	C・D	20	橋本伝左右衛門(著)『農村問題大系・第七編)農業土地問題』
100	[606]	C・D	25	吉野作造(著)『時事問題講座7)对支問題』
101	[607]	C・D	25	林房雄(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一卷)密偵』(A・B・昭和5年1月)
102	[608]	C・D	30	栗栖赳夫(著)『社債信託法原論』(A・B・昭和5年1月)
103	[609]	C・D	30	滝本誠一(著)『乞食袋』(A・B・昭和5年1月)
104	[610]	C・D	30	平林たい子(著)『日本プロレタリア傑作選集・第二卷)敷設列車』(A・B・昭和5年1月)
1	15 昭和5年(一九三〇年)	C・D	5	金子洋文『日本プロレタリア傑作選集・第三卷)赤い湖』
2	[611]	C・D	5	黒島伝治(著)『日本プロレタリア傑作選集・第四卷)氷河』
3	[612]	C・D	5	村山知義(著)『日本プロレタリア傑作選集・第五卷)暴力団記』
4	[613]	C・D	5	徳永直(著)『日本プロレタリア傑作選集・第六卷)能率委員会』
5	[614]	C・D	5	片岡鉄兵(著)『日本プロレタリア傑作選集・第七卷)血』
6	[615]	C・D	5	岩藤雪夫(著)『日本プロレタリア傑作選集・第八卷)太刀打ち』
7	[616]	C・D	10	葉山嘉樹(著)『日本プロレタリア傑作選集・第九卷)誰が殺したか?』
8	[617]	C・D	10	前田河広一郎(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一〇卷)セムガ』
9	[618]	C・D	10	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二卷』
10	[619]	C・D	10	松崎実(著)『伴天連見聞録・殺生関白行状記』
11	[620]	C・D	15	『現代経済学全集・第一〇卷』……橋爪明男(著)『貨幣論』
12	[621]	C・D	20	河津暹(著)『時事問題講座10)中小農工商問題』(A・B・2月)
13	[622]	C・D	20	藤森成吉(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一卷)蜂起』
14	[623]	C・D	20	小林多喜二(著)『日本プロレタリア傑作選集・第二卷)不在地主』
15	[624]	C・D	22	奈良正路(著)『判例を中心としたる普選法』(A・B・2月)
16	[625]	C・D	25	今中次麿(著)『社会科学叢書・第二九編)政治政策学』
17	[626]	C・D	2	鶴見祐輔(著)『自由人の旅日記』
	[627]	C・D	1	

44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18
[654]	[653]	[652]	[651]	[650]	[649]	[648]	[647]	[646]	[645]	[644]	[643]	[642]	[641]	[640]	[639]	[638]	[637]	[636]	[635]	[634]	[633]	[632]	[631]	[630]	[629]	[628]
25	25	25	20	20	15	15	5	25	20	20	20	20	20	10	4	25	25	18	10	10	3	20	15	10	10	10
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
白柳秀湖(著)『続・財界太平記』	大森洪水(著)『裁判夜話』	牧野輝智(著)『時事問題講座5) 国際貸借』	小川郷太郎(著)『新銀行法理由』	『現代経済学全集・第一七卷』……上田貞次郎(著)『商業政策』	吉野作造(編)『明治文化全集・第二卷(正史篇(上卷))』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二八卷』	蠟山政道(著)『現代政治学全集・第一一巻(無産政党論)』	『現代経済学全集・第五卷』……本位田祥男(著)『欧洲経済史』(B…7月)	カアル・クニス(著)・山口正吾(訳)『貨幣論』	シンクレア(著)・前田河広一郎(訳)『資本』	小島昌太郎(著)『交通経済論』	小島精一(著)『モルガン王国——弗資本の神々に就いて』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二七巻』	山内一雄(著)『ソウェート共和国——その政治・経済・社会』	吉野作造(著)『現代政局の展望』	大口喜六(著)『時事問題講座3) 財政整理』	松平齊光(著)『社会科学叢書・第三〇編) フランス政治思想史』(A・B…4月)	大内民恵(著)『教育制度改革概論』	貴司山治(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一三巻) 敵の娘』	渡辺鉄蔵(著)『時事問題講座12) 産業合理化』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二六巻』	中川与之助(著)『財政現象の研究』	藤村一雄(著)『学生思想問題雑話——彼等はどうして左傾したか』	田中広太郎(著)『時事問題講座6) 地方財政』	吉野作造(編)『明治文化全集・第三卷(軍事篇・交通篇)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二五巻』

70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	
[680]	[679]	[678]	[677]	[676]	[675]	[674]	[673]	[672]	[671]	[670]	[669]	[668]	[667]	[666]	[665]	[664]	[663]	[662]	[661]	[660]	[659]	[658]	[657]	[656]	[655]	
		10							9			8						7				6				
	20	5	20	20	20	20	15	15	15	20	15	12	5	25	25	20	20	15	25	20	15	5	5	25	25	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三三卷』	立作太郎(著)『平時国際法論』	末弘徹太郎(著)『法窓雑話』……〔改訂〕昭和13年10月	尾崎敬義(著)『随筆・秋花譜』	下村海南(宏)(著)『盗忠』	田村謙治郎(著)『列国の財政恢復と財政論考』(A・B…11月)	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三二卷』	下村宏(海南)(著)『飴ん棒』	矢野恒太(著)『財界立直しの一策——税制改革論(所得単税の主張)』	信夫淳平(著)『現代政治学全集・第三二卷』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三一巻』	高橋清吾(著)『現代政治学全集・第一〇巻』現代の政党	山本条太郎(著)『経済国策の提唱——国民繁栄への道』(A・B…7月)	菅野和太郎(著)『日本商業史』(A・B…7月)	(合冊)版)昭和13年〔1214〕(選集)昭和24年〔2000〕	河合栄治郎(著)『トーマス・ヒル・グリーンの思想体系(上巻)』(A・B…6月)……〔改装	吉野作造(編)『明治文化全集・第三三巻(軍事篇・交通篇)』	戸沢鉄彦(著)『現代政治学全集・第一巻』政治学概論(B…9月)	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三〇巻』	『現代経済学全集・第一四巻』……牧野輝智(著)『金融論』	佐藤寛次(著)『肥料問題研究』(A・B…8月)	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二九巻』	小川郷太郎(著)『時事問題講座2) 国債整理』	清水玄(著)『健康保険法提要』	尾佐竹猛(著)『現代政治学全集・第六巻』日本憲政史	アーヴィング・フィッシャー(著)・山本米治(訳)『貨幣錯覚』	松好貞夫(著)『土佐藩経済史研究』

97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	76	75	74	73	72	71	
[706]	[705]	[704]	[703]	[702]	[701]	[700]	[699]	[698]	[697]	[696]	[695]	[694]	[693]	[692]	[691]	[690]	[689]	[688]	[687]	[686]	[685]	[684]	[683]	[682]	[681]	
20	20	20	20	15	5	5	5	30	20	20	20	15	15	15	15	15	15	15	15	5	1	11	28	22	20	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
楠木徳二(著)『自然科学叢書・第一編』森林の生理』	本庄栄治郎(著)『人口及人口問題』	勝田貞次(著)『財界は何うなる——昭和六年財界観測』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三五卷』	永雄策郎(著)『植民地鉄道の世界経済的及世界政策的研究』(A・B・昭和6年1月)	ダブリュー・シー・シュルター(著)・東京政治経済研究所	田村市郎(著)『経済統計学』……〔再刊〕昭和6年3月	奈良正路(著)『法律学の根本問題』	美濃部達吉(著)『現代政治学全集・第七卷』議会制度論』……〔第二版〕昭和21年〔1821〕	吉野信次(著)『我国工業の合理化』	『現代経済学全集・第二五卷』……猪間驥一(編)『日本経済図表』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三四卷』	前田河広一郎(著)『新作長編小説選集』支那から手を引け』	黒島伝治(著)『新作長編小説選集』武装せる市街』	今野賢三(著)『新作長編小説選集』女工戦』	金子洋文(著)『新作長編小説選集』魚河岸』	伊藤永之介(著)『新作長編小説選集』暴動』	細田源吉(著)『新作長編小説選集』陰謀』	葉山嘉樹(著)『新作長編小説選集』稚き闘士』	青野季吉(著)『新作長編小説選集』或る時代の群像』	三土忠造(著)『経済非常時の正視』	汐見三郎(著)『社会科学叢書・第三一編』財政統計』(A・B・10月)	(合冊)版)昭和13年〔1244〕、(選集)昭和24年〔2043〕	河合栄治郎(著)『トーマス・ヒル・グリーンの思想体系(下巻)』(A・B・10月)……〔改装	笠森伝繁(著)『農村社会学』(A・B・9月)	小牧近江(著)『新作長編小説選集・第七』異国の戦争』(A・B・11月)	巖山政道(著)『現代政治学全集・第九卷』行政組織論』

98	[707]	20	C・D	小南又一郎・土屋栄吉(合著)『自然科学叢書・第二編 飲酒と犯罪及び禁酒』
99	[708]	20	C・D	東京政治経済研究所(著)『(一九二〇—三〇) 政治経済年鑑——最近十年の日本』
100	[709]	20	C・D	中瀬古六郎(著)『自然科学叢書・第三編 近代化学概観』
101	[710]	25	C・D	『現代経済学全集・第一二巻』……高垣寅次郎(著)『銀行論』
102	[711]	25	C・D	吉野作造(著)『時事問題講座7 対支問題』
103	[712]	?・?	C・D	日本評論社経済研究所(編)『日刊景気特報』……(注) 東京朝日新聞昭和5年11月5日夕刊4面広告、12月27日朝刊1面広告、昭和6年9月19日朝刊1面広告
1	16 昭和6年(一九三一年)			
2	[713]	1・1	C・N	日本評論社経済研究所(編)『昭和六年・日本経済大観』経済往来六巻一号附録
3	[714]	10	C・D	渡辺宗太郎(著)『現代政治学全集・第一二巻』自治制度論』
4	[715]	10	C・N	向井鹿松(著)『産業の合理化』
5	[716]	20	C・D	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三六巻』
6	[717]	20	C・D	東京朝日新聞経済部(編)『明るい里暗い村』
7	[718]	25	C・D	本位田祥男(著)『消費組合運動』
8	[719]	25	C・D	前田繁一(著)『新街頭経済学』
9	[720]	28	C・D	岩崎重三(著)『自然科学叢書・第四編』農業地質学』
10	[721]	30	C・D	須藤詩登美(著)『社会理想パンフレット・第一輯』マルクス主義討伐論(弁証法的人生社会観の排撃)』
11	[722]	2・1	C・D	レオン・フルラス(著)・早川三代治(訳)『理論経済学叢書・第二編』純粹経済学入門』
12	[723]	1	C・D	高田保馬(著)『労働価値説の吟味』
13	[724]	5	C・D	カール・カウツキー(著)・藤井悌二(訳)『唯物史観・第一巻・自然と社会——第一書』精神と世界』
14	[725]	20	C・D	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三七巻』
15	[726]	20	C・D	橋爪明男(著)『社会科学叢書・第三二編』英国の株式銀行』
16	[727]	3・10	C・D	大谷武夫(著)『自然科学叢書・第五編』酵素研究法』
17	[728]	20	C・D	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三八巻』
18	[729]	20	C・D	馬場敬治(著)『経営学方法論』

40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22		21	20	19	18		
[752]	[751]	[750]	[749]	[748]	[747]	[746]	[745]	[744]	[743]	[742]	[741]	[740]	[739]	[738]	[737]	[736]	[735]	[734]		[733]	[732]	[731]	[730]		
5	5	5	5	5	1	6	20	20	20	17	11	11	10	10	5	20	17	15		4	25	20	20		
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D		C・N	C・D	C・D	C・N		
フランツ・オッペンハイマー(著)・谷川弘実(訳)『社会文庫・第六冊』社会問題及社会主義	ゲオルク・ハルム(著)・西原重吾(訳)『社会文庫・第五冊』社会主義は経済的に可能なりや	エヂュアード・ダヴィッド(著)・森力(訳)『社会文庫・第四冊』社会主義と農業	ルドルフ・シユタムラー(著)・国松久彌(訳)『社会文庫・第三冊』唯物史観批判	ベーム・パウエルク(著)・竹原八郎(訳)『社会文庫・第一冊』マルクス学説体系の終焉	河津暹(編)『矢作(栄蔵)教授官歴祝賀記念』農業経済の諸問題	河津暹(編)『矢作(栄蔵)教授官歴祝賀記念』農業政策の諸問題	鶴見祐輔(著)『現代米国論』	福永恭助(著)『挑むアメリカ』	金持一郎(著)『植民政策』	『現代経済学全集・第二巻』……河田嗣郎(著)『土地経済論』／永井亨(著)『人口論』／	佐藤安之助(著)『満蒙問題を中心とする日支関係——共存共栄か?共亡共枯か?』	宇野木忠(著)『台所経済学』	大森洪太(著)『裁判異譚』	石井満(著)『女人極楽郷』……(新訂版)昭和14年5月	評論社(三巻一―号(昭和9年3月)まで)。四巻一―号(昭和9年4月)より岩波書店に変更。	社会経済史学会(編)『社会経済史学』一卷一―号……(発行所)社会経済史学会、(発売所)日本	高田保馬(著)『歌集・ふるさと』	池田芳郎(著)『自然科学叢書・第七編』美しき高電圧の現象	立作太郎(著)『戦時国際法論』	『現代経済学全集・第一五巻』……那須皓(著)『農業政策』	渡辺良吉(著)『日印綿業論』	野満隆治(著)『自然科学叢書・第六編』海洋学	森口繁治(著)『現代政治学全集・第八巻』選挙制度論	東京帝国大学経済学会(編)『経済学論集』新刊一卷一―号……(発行所)東京帝国大学経済学	会、(発売所)日本評論社。(継続前誌)『経済学研究』一卷一―号(大正9年1月)→八巻四号

41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
[753]	[754]	[755]	[756]	[757]	[758]	[759]	[760]	[761]	[762]	[763]	[764]	[765]	[766]	[767]	[768]	[769]	[770]	[771]	[772]	
25	7・?	15	8・1	10	12	15	15	17	20	18	20	25	10・1	1	1	1	10	10	10	
C・D	C・D	C・N	C	C・D	C	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
(A・B:8月)	阪本勝(著)『戯曲資本論』	日本評論社経済研究所(編)「企業週報」(A・B:なし)……〔注〕東京朝日新聞昭和6年6月26日夕刊4面広告	勝田貞次(著)『フーヴァ提案と日本の景気——附録・東株の前途観』経済往来六卷七号臨時増刊……〔発行〕日本評論社経済研究所(A:なし、B:9月)	クラウゼン(著)・和田英作 岩井尊人(訳編)『絵画の制作と鑑賞』	『現代経済学全集・第八卷』……河合栄治郎(著)『社会政策原理』……〔改訂〕昭和10年(1010)、『選集』昭和22年(1846)	勝田貞次(著)『英独財界混乱と日本の景気』経済往来六卷八号臨時増刊(A:なし、B:10月)	尾崎行雄 田川大吉郎(共著)『銀行国営論——一名・金本位制廃止論』	斎藤良衛(著)『ソヴィエト露国の極東進出』	松田慎三(著)『デパートメントストア』……〔改訂版〕昭和8年(895)、『新訂版』昭和14年(1341)	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三九卷』〔完結〕	下条康磨(著)『社会政策の理論と施設』	石黒直男(著)『消費組合の世界は躍る』	『現代経済学全集・第二四卷』……中西寅雄(著)『経営経済学』	本庄栄治郎(著)『(近世日本の研究・その一)近世の経済思想〔正篇〕』……〔続編〕昭和13年(1301)	岩崎卯一(著)『社会統制理論の研究』	ヴィクトル・カートライン(著)小田垣光之輔(訳)『社会文庫・第七冊)社会主義の科学的基礎に関する考察』	アンリー・セイ(著)・花沢武夫(訳)『社会文庫・第二冊)唯物史観と歴史の経済的説明』	勝本正晃(著)『法学挿話』	奈良正路(著)『法学の基礎観念(法学の根本問題・第二卷)』	穂積重遠(著)『読本シリーズ』改訂・民法読本』……〔初版〕昭和2年(386)、『新訂版』昭和

6	5	4	3	2	1	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
[796]	[795]	[794]	[793]	[792]	[791]	[790]	[789]	[788]	[787]	[786]	[785]	[784]	[783]	[782]	[781]	[780]	[779]	[778]	[777]	[776]	[775]	[774]	[773]
	3	2		1								12								11			
	20	10	20	20	4	25	25	20	20	18	10	10	10	23	23	23	20	15	15	15	10	25	25
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D

17 昭和7年（一九三二年）

- 和11年〔1086〕〔改版〕昭和18年〔1684〕、昭和23年『新民法読本』〔1898〕
- 『現代経済学全集・第二巻』……小泉信三（著）『経済原論』……〔第六版〕昭和12年〔1146〕
- 今中次麿（著）『現代政治学全集・第四巻』政治学説史』
- 東京朝日新聞経済部（編）『地方産業座談会』
- 谷口吉彦（著）『商業組織の特殊研究——米の配給組織に関する研究』（A・B：昭和7年1月）
- 大西清治（著）『自然科学叢書・第八編』労働医学概論（A・B：12月）
- ジョン・パーマー・ガビット（著）・安藤明道（訳）『阿片』
- 星野直樹（著）『日本租税法概論』
- 神戸正雄（著）『現行税制及其整理』
- 新明正道（著）『欧洲の危機』
- 岡部平太（著）『スポーツ行脚』
- カルル・フォン・チスカ（著）・藤川宏（訳）『社会文庫・第八冊』経済生活の社会化』
- カール・ディール（著）・桜井誠之（訳）『社会文庫・第九冊』資本主義の法律的基础』
- アドルフ・ウェーバー（著）・竹原八郎（訳）『社会文庫・第九冊』資本主義の終末？』
- 正路倫之助||吉村寿人（著）『自然科学叢書・第九編』生物の物理化学』
- 『現代経済学全集・第二六巻』……猪間驥一（編）『世界経済図表』
- エム・ツガン・パラノウスキー（著）・鍵本博（訳）『英国恐慌史論』
- 神戸正雄（著）『最近地方税問題』
- 河合栄治郎（著）『大学生活の反省』
- 平田晋策（著）『読本シリーズ』陸軍読本』（B：なし）
- 小出満二（著）『農村問題大系・第二編』農村教育』
- オスカー・シュテイリッヒ（著）・高後虎雄（訳）『新貨幣学入門』
- レオナルド・シドニー・ウルフ（著）・篠田七郎（訳）『社会文庫・第二一冊』協働組合と産業の将来』
- 高市慶雄（編）『明治文献目録』
- 穂積重遠（著）『判例百話』

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	18	38	37	36	35	34	33	32	31		
[842]	[841]	[840]	[839]	[838]	[837]	[836]	[835]	[834]	[833]	[832]	[831]	[830]	[829]	昭和8年(一九三三年)	[828]	[827]	[826]	[825]	[824]	[823]	[822]	[821]		
5	3 1	25	20	20	20	2	25	25	20	20	20	20	15		25	22	22	20	15	20	15	25		
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D		
上田貞次郎(著)『最近商業政策』	平貞蔵(著)『満蒙移民問題』	清水玄(著)『社会保険要論』(A・B・3月)	B・3月)	フリードリッヒ・レンツ(著)・小田垣光之輔(訳)『社会文庫・第一七冊) 国家と社会』(A・	永田稠(著)『農村更生叢書4) 農村人口問題と移植民』	小平権一(著)『農村更生叢書3) 農業金融と農家負債整理』	アルヴィン・エッチ・ハンセン(著)・小川福太郎(訳)『景気循環論』	賀川豊彦(著)『農村更生叢書2) 農村社会事業』	本位田祥男(著)『農村更生叢書1) 農村更生の原理』	沢村康(著)『協同組合叢書・第二卷) ロシアの協同組合』	ハイブリッヒ・ディーツェル(著)・渡辺信一(訳)『社会文庫・第一六冊) 価値論の学説価値』	レオ・ケッペル(著)・藤田清(訳)『社会文庫・第一五冊) 限界効用説とマルクス主義』	館デジタルコレクション表紙扉には「8・1・18禁止」の書き込みがある)	末弘巖太郎(著)『法窓漫筆』……〔注〕発禁により2月20日に改訂再版発行(国立国会図書	荒木光太郎(著)『貨幣制度概説』	『現代経済学全集・第二九卷』……増井光蔵(著)『賠償問題』／蠟山政道(著)『世界恐慌と	『現代経済学全集・第一九卷』……増井光蔵(著)『賠償問題』／蠟山政道(著)『世界恐慌と	大平久(著)『法律相談』……〔改訂版〕昭和12年〔1175〕	横尾惣三郎(著)『農村教育の革新』	山崎勉治(著)『協同組合叢書・第四卷) 日本消費組合運動史』	エー・アンドレアース(著)・町田義一郎(訳)『英蘭銀行史論』	小川太一郎(著)『読本シリーズ) 航空読本』……〔改訂版〕昭和13年〔1222〕	郎(著)『金本位と世界恐慌』／東畑精一(著)『日本農業恐慌』／永雄策郎(著)『満洲問題』	『現代経済学全集・第二八卷』……上田貞次郎(著)『最近世界及日本の関税政策』／高垣寅次

15	[843]		C・D	千石興太郎(著)『農村更生叢書5』産業組合の諸問題
16	[844]		C・D	南崎雄七(著)『農村更生叢書6』農村の衛生と医療
17	[845]		C・D	檀崎敏雄(著)『空中戦争論』
18	[846]		C・D	下村宏(海南)(著)『日本の行くべき道』
19	[847]		C・D	大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第五卷(論文篇)』(A・B・4月)
20	[848]	4	C・D	武田春次郎(著)『武田春次郎遺稿』管理通貨論
21	[849]	5	C・D	長守善(著)『ナチス—ヒットラー運動』思想・政策
22	[850]		C・D	土田杏村(著)『読本シリーズ』思想読本
23	[851]		C・D	本庄栄治郎(編)『日本経済史研究所紀要・第一冊』改版・日本経済史文献……〔初版〕『日本経済史文献』(内外出版株式会社、大正13年9月20日)
24	[852]		C・D	永井治良(著)『農村更生叢書7』蚕糸業経済
25	[853]		C・D	関谷龍吉(著)『農村更生叢書8』農村社会教育
26	[854]		C・D	『現代経済学全集・第三〇卷』……高瀬荘太郎(著)『企業財政論』
27	[855]	25	C・D	高田保馬(著)『理論経済学叢書・第三編』経済原論
28	[856]	5	C・D	カール・カウツキー(著)・佐多忠隆(訳)『唯物史観・第一卷・自然と社会—第二書 人間性』
29	[857]	10	C・D	大森洪太(著)『裁判綺聞』
30	[858]		C・D	山崎寛次郎(著)『読本シリーズ』貨幣読本
31	[859]		C・D	東浦庄治(著)『農村更生叢書9』農業団体の統制
32	[860]		C・D	東畑精一(著)『農村更生叢書10』農産物物価統制
33	[861]		C・D	本位田祥男(著)『欧洲の憶ひ出』
34	[862]	25	C・D	大藏省(編)『昭和八年度予算の解説(非常時財政の内容)』
35	[863]	30	C・D	大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第七卷(史料篇)』
36	[864]	6	C・D	『現代経済学全集・第三一卷(完結)』……馬場敬治(著)『技術と経済』
37	[865]	15	C・D	土方成美(著)『国民所得の構成』
38	[866]	20	C・D	奥田讓 大谷武夫(著)『自然科学叢書・第一二編』水産食品化学
39	[867]	20	C・D	田沢義鋪(著)『農村更生叢書11』農村更生と青年教育
40	[868]	20	C・D	有働良夫(著)『農村更生叢書12』耕地整理と土地改良

66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41
[894]	[893]	[892]	[891]	[890]	[889]	[888]	[887]	[886]	[885]	[884]	[883]	[882]	[881]	[880]	[879]	[878]	[877]	[876]	[875]	[874]	[873]	[872]	[871]	[870]	[869]
			11			10								9					8						7
25	25	20	1	25	25	25	25	25	25	25	23	23	19	1	29	25	25	20	20	29	20	20	20	17	1
C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・D	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・N
麻生慶次郎(著)『農村更生叢書20』土壌と肥料』……〔改訂版〕昭和13年〔1289〕、〔第三	今和次郎(著)『農村更生叢書19』農村家屋の改善』	榛村専一(著)『新聞法制論』	森武夫(著)『日本統制経済叢書・第六卷』戦時統制経済論』(A・B:10月)	コンラード・メツレロウイチ(著)・大塚一朗(訳)『経営経済学総論』	諸井貫一(著)『現代日本工業全集18』セメント』	池田英次郎(著)『経営学研究会(編輯)経済学叢書・第一冊』原価と操業率』	大蔵公望(著)『日本統制経済叢書・第五卷』日滿統制経済論』	岡田温(著)『農村更生叢書18』農村更生の原理と計画』	村上龍太郎(著)『農村更生叢書17』我国の畜産』	フアンチェスコ・ニツティ(著)・田中力(訳)『社会文庫・第一八冊』ボルシェビズムとファッシズムと民主主義』	堀真琴(著)『現代政治学全集・第一六卷』現代独裁政治論』	松井茂(著)『読本シリーズ』警察読本』……〔改訂版〕昭和16年7月	中平亮(著)『大亜細亜主義』	水野祐吉(著)『百貨店経営学』	堀江保蔵(著)『日本経済史研究所研究叢書・第一冊』我国近世の専売制度』(A・B:9月)	渡辺全(著)『農村更生叢書16』木材と木炭』	高橋偵造Ⅱ坂口謹一郎(共著)『農村更生叢書15』農産製造の原理と実際』	柳沢健(著)『日本発見』	水上滝太郎(著)『貝殻追放(第一)』	吳文炳(著)『信託経済論』	渡辺全(著)『農村更生叢書14』造林と山村の副業』	関慎之介(著)『農村更生叢書13』蔬菜園芸』	岡崎文規(著)『職業統計問題研究』	小島精一(著)『非常時統制経済論』	経済往来編輯部(中目尚義)(編)『新作三十三人集』経済往来夏季増刊(A・B:9月)

67	[895]			C・D	版)昭和22年〔854〕(第四版)昭和23年〔996〕 松田慎三(著)『改訂・デパートメントストア』……〔初版〕昭和6年〔761〕、〔新訂版〕昭和14年〔341〕
68	[896]	12・5		C・D	社会経済史学会(編)『平沼淑郎博士古稀祝賀記念 社会経済史論集』
69	[897]	25		C・D	岩原拓(著)『農村更生叢書21 農村の体育運動』
70	[898]	25		C・D	高橋広治(著)『農村更生叢書22 農村更生と養鶏』
19 昭和9年(一九三四年)					
1	[899]	1・5		C・D	小松堅太郎(著)『現代哲学全集・第一六卷 社会学』(A・B・昭 and 8年12月)
2	[900]	20		C・D	山口正(著)『社会事業研究』(A・B・2月)
3	[901]	23		C・D	五来欣造・広瀬哲士(著)『現代政治学全集・第二卷 政治思想』
4	[902]	25		C・D	福島繁三(編)『農村更生叢書23 篤農青年体験記録』
5	[903]	25		C・D	石黒忠篤(著)『農村更生叢書24 農林行政』
6	[904]	25		C・D	カール・デュール・フォン・ポルトキウィツチ(著)・渡辺信一(訳)『社会文庫・第一九冊 マルクス地代論に関する二つの批判的研究』
7	[905]	25		C・D	三浦悦郎(著)『生氣躍動する産業朝鮮』(A・B・2月)
8	[906]	2・5		C・D	谷口吉彦(著)『百貨店・連鎖店・小売店問題』
9	[907]	7		C・D	大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第六卷(法令篇)』(A・B・1月)
10	[908]	20		C・D	池田秀雄(著)『満洲統治論』
11	[909]	20		C・D	佐藤寛次(編)『農業大辞典(上巻)』
12	[910]	3・1		C・D	日本評論社(編)『満洲国読本』経済往来九卷三号別冊附録(A・B・なし)
13	[911]	18		C・D	河合良成(著)『国家改造の原理及其実行——主として経済的觀察』
14	[912]	22		C・D	石川一郎(著)『現代日本工業全集13 化学肥料』
15	[913]	4・1		C・D	山崎延吉(著)『農村更生叢書25 農村非常時と農民道の真髓』(A・B・11月)
16	[914]	25		C・D	菅野秀雄(著)『海の生命線・南洋の楽園』経済往来九卷四号別冊附録(A・B・なし)
17	[915]	1		C・D	日本評論社(編)『ロシア読本』経済往来九卷四号別冊附録(A・B・なし)
18	[916]	1		C・D	下村海南(宏)(著)『心の花叢書』歌集・白雲集』
19	[917]	6		C・D	立作太郎(著)『時局国際法論』

46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20
[944]	[943]	[942]	[941]	[940]	[939]	[938]	[937]	[936]	[935]	[934]	[933]	[932]	[931]	[930]	[929]	[928]	[927]	[926]	[925]	[924]	[923]	[922]	[921]	[920]	[919]	[918]
				7						6											5					
13	9	8	7	3	1	20	20	15	10	8	5	27	27	20	20	20	18	17	11	4	3	29	20	20	20	19
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
山崎寛次郎（監修）・橋爪明男（編）『金融大辞典（第二卷・コ〜ハ）』	池上謙三（著）『現代哲学全集・第一〇巻 論理学』……〔第二版〕昭和22年〔1837〕	馬場敬治（著）『経営学の基礎的諸問題』	茂森唯士（著）『日本と蘇聯邦』	大藏省（編）『昭和九年度予算の解説』	東郷実Ⅱ長谷川了ほか（著）『南洋読本』経済往来九巻七号別冊附録（A・B…昭和10年2月）	谷口吉彦（著）『新経済全集7』貿易統制論』	生島広治郎（著）『新経済全集5』世界経済論』	アーヴィング・フィッシャー（著）・大岩鉄（編訳）『リフレーションの基礎理論』	山崎寛次郎（監修）・橋爪明男（編）『金融大辞典（第一巻・ア〜ケ）』	美濃部達吉（著）『憲法と政党——国法学資料五篇』	入沢達吉（著）『読本シリーズ』内科読本』（A・B…9月）	大阪市役所（編）『明治大正大阪市史・第四巻（経済篇・下）』（A・B…6月）	土方成美（著）『読本シリーズ』国民経済読本』	佐藤寛次（編）『農業大辞典（下巻）』	高木寿一（著）『新経済全集23』戦時財政論』（A・B…4月）	内田武男（著）『新経済全集6』ブロック経済論』（A・B…4月）	渡辺万次郎（著）『読本シリーズ』金銀読本』	齊藤隆夫（述）『革新論及び革新運動を戒む』	柳沢健（著）『異国趣味』	穂積重遠（著）『有閑法学』	美濃部達吉（著）『議会政治の検討』	大阪市役所（編）『明治大正大阪市史・第一巻（概説篇）』（A・B…5月）	高木友三郎（著）『新経済全集4』厚生経済論』（A・B…3月）	松井春生（著）『新経済全集1』経済参謀本部論』（A・B…3月）	末弘徹太郎（著）『法学入門』	シュランニー・ウンゲル（著）・堀経夫Ⅱ三谷友吉（共訳）『現代経済学概観』

72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	
[970]	[969]	[968]	[967]	[966]	[965]	[964]	[963]	[962]	[961]	[960]	[959]	[958]	[957]	[956]	[955]	[954]	[953]	[952]	[951]	[950]	[949]	[948]	[947]	[946]	[945]	
						11						10								9			8			
29	20	20	20	10	5	3	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	15	15	15	7	20	20	20	20	15	
C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
社・殿松堂書店	三菱経済研究所 〔編〕『世界経済の現勢』……〔発行所〕三菱経済研究所、〔発売元〕日本評論社・殿松堂書店	勝野金政〔著〕『赤露脱日記』	加田哲二〔著〕『新経済全集32』維新以後の社会経済思想概論』	佐藤貞二郎・竹内正巳〔著〕『新経済全集9』満蒙資源論』	原伝〔著〕『日本経済史研究所研究叢書・第二冊〕松江藩経済史の研究』	近藤康男〔著〕『農村問題大系・第六編〕農村経済の諸問題』	我妻栄〔編〕・杉村章三郎・後藤清・木村亀二・我妻栄〔著〕『ナチスの法律』	四宮恭二〔著〕『農業更生叢書26〕農業保険の理論と実際』	山中六彦〔著〕『農村更生叢書27〕保育事業と農繁託児所』	野村兼太郎〔著〕『新経済全集31〕徳川時代の社会経済思想概論』	小野武夫〔著〕『新経済全集27〕農村経済論』	高須芳次郎〔著〕『明治文学史論』	美濃部達吉〔著〕『美濃部達吉論文集・第一卷〕日本憲法の基本主義』	菅内吉〔著〕『宗教復興』	森武夫〔著〕『新経済全集22〕戦時経済論』	岩崎重三〔著〕『新経済全集17〕金と銀』	菅内吉〔著〕『現代哲学全集・第二〇卷〕現代の宗教哲学』	友松円諦〔著〕『読本シリーズ〕宗教読本』	室伏高信〔著〕『論語』	木下正中〔著〕『読本シリーズ〕産科婦人科読本』	河合栄治郎〔著〕『欧洲最近の動向』	板倉正一〔著〕『新経済全集16〕金問題概論』	高島佐一郎〔著〕『新経済全集13〕管理通貨論』	山崎寛次郎〔監修〕・橋爪明男〔編〕『金融大辞典（第三卷・ヒソワ）』	八木芳之助〔著〕『新経済全集28〕米穀統制論』	ランダワー〔著〕・田中力〔訳〕『社会文庫・第二〇冊〕計画経済と流通経済』

82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	
[980]	[979]	[978]	[977]	[976]	[975]	[974]	[973]	[972]	[971]	
								12		
								5		
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)
<p>阿部真之助(著)『新人物論』</p> <p>室伏高信(著)『孔子』</p> <p>河合栄治郎(著)『フアツシズム批判』</p> <p>杉山平助(著)『氷河のあくび』</p> <p>柳沢健(著)『柳沢健随筆集 三鞭酒の泡』</p> <p>宮田喜代蔵(著)『新經濟全集18』平価切下論』</p> <p>長守善(著)『新經濟全集11』フアツシヨ的統制經濟』</p> <p>宗正雄(著)『農村更生叢書28』品種改良法』</p> <p>河村又介(著)『現代政治学全集・第一五卷』直接民主政治』</p> <p>大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第三卷(經濟篇・中)』(A・B…11月)</p>										

〈表1〉 日本評論社・旧社時代（大正7年～昭和27年）出版目録（一・大正5年～昭和9年）

* 略語一覧

A：鈴木三男吉作成出版目録

B：「日評アーカイブズ」ホームページ掲載出版目録

C：CNI（国立情報学研究所〔NII〕学術情報ナビゲータ）Books ヒット文献

D：国立国会図書館デジタルコレクション収録文献（Dは図書館送信参加館内公開）

N：NDL Search（国立国会図書館〔NDL〕サーチ）ヒット文献（D以外のもの）

1	大正5年（一九一六年）		
1	〔1〕	7・5	C・N
			「日本評論」一五号「洪水以後」改題。号数は「洪水以後」通号数を承継
2	大正6年（一九一七年）		
1	〔2〕	12・1	C・N
			「日本評論」七九号「東京評論」と合併。号数は「東京評論」の通号数を承継
3	大正7年（一九一八年）		
1	〔3〕	11・15	C・N
2	〔4〕	28	C・D
			茅原廉太郎（華山）（著）『国民的悲劇の発生』四版（Ⅱ四刷）（A・B…大正8年3月） 小倉徂峰（鏗爾）（著）『三益主義——資本家と重役並に被用人階級の新福音』（A・B…12月）
4	大正8年（一九一九年）		
1	〔5〕	1・25	C・D
2	〔6〕	4・1	C・N
3	〔7〕	15	C・D
4	〔8〕	5・15	D
5	〔9〕	6・5	C・N
6	〔10〕	5	N
			秋田雨雀Ⅱ仲木貞一（共著）『須磨子の一生——恋の哀史』 室伏高信（著）『現代叢書・第一編』デモクラシー講話（A・B…3月） 安成二郎（著）・竹久夢二（装画）『恋の絵巻』（A・B…3月） 森律子（著）・竹久夢二（装画）『妾の自白』 山川菊栄（著）『現代叢書・第二編』婦人の勝利』 金子洋文（著）『労働美談』力の勝利』（A・B…5月）

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	5	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	
[35]	[34]	[33]	[32]	[31]	[30]	[29]	[28]	[27]	[26]	大正9年(一九二〇年)	[25]	[24]	[23]	[22]	[21]	[20]	[19]	[18]	[17]	[16]	[15]	[14]	[13]	[12]	[11]	
3・5	29	25	20	15	8	5	25	15	10		12・10	30	15	10	11・1	25	10	10	30	15	9・5	15	7・12	15	5	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・D		C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・N	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	D	C・D	C・D	C・D	C・D	
伊藤正徳(著)『改造の戦ひ』	エドワード・カーペンター(著)・時国理一(訳)『農業と社会主義』	イチ・エル・ガント(著)・麓三郎(訳)『ガント式工場管理法——作業、賃金及利潤』	来栖健助(著)『証券市場改造論』(A・B…3月)	岩野泡鳴(著)『燃える襦袢』	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『政治的理想』	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『科学的経営法の理論と実際』	田川大吉郎(著)『改造途上の欧米社会見物』(A・B…2月)	ウォルター・エム・ガリカン(著)・相葉久江(訳)『結婚心理学』(A・B…2月)	横田英夫(著)『農村改造か農村革新か』	5	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『社会改造の原理』	パスカル・ラーキン(著)・中目尚義(訳)『マルクス派社会主義』	バートランド・トムソン(著)・時国理一(訳)『科学的経営法の理論と実際』	ヘンリー・アトキンソン(著)・松本悟朗(訳)『合理的賃銀制度』	アサー・ダブリュー・バリットほか(著)・板橋卓一(訳)『利益分配の理論と実際』	渡辺貴知郎(著)『雄弁第一』(A・B…11月)	パアナード・ムツシオ(著)・時国理一(訳)『現代産業心理学講話』	豊田教嘉(著)『人間万事日蓮主義で行け』	石田伝吉(著)『農村改造講話』(A・B…10月)	多恵春光(著)『新しき婦人の手紙』	守(監修)『最先端民衆娯楽映画文献資料集4』(ゆまに書房、平成18年)	三楽流子(小生夢坊)小ぐら生(著)『女盛衰記——女優の巻』(A…なし)……〔復刻〕牧野	植田好太郎(編)『労働問題講話』	青山洪平(著)『株は此の呼吸で行け』	木下幹(編)『主婦必読』婦人も働け』	茅原華山(小田政賀)共著)『現代文章講話』(A・B…5月)

36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
[61]	[60]	[59]	[58]	[57]	[56]	[55]	[54]	[53]	[52]	[51]	[50]	[49]	[48]	[47]	[46]	[45]	[44]	[43]	[42]	[41]	[40]	[39]	[38]	[37]	[36]	
						6							5							4						
30	15	15	10	10	10	1	28	25	25	20	15	15	10	25	25	20	15	14	12	5	25	25	20	12	12	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・N	C・D	C	C・D	D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	D	D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
ダブリュー・アール・クーパー（著）・田中貢 松本晃（共訳）『労資共益法』	徳田秋声（著）『妹思ひ』	ローヤル・ヂクソン フランクリン・フィッツェ（著）・相葉久江（訳）『森林ロマンス』	真山青果（著）『照る日の虹』	チャールス・エム・ペツパー（著）・浅野護（訳）『米国を中心としたる世界貿易の研究』	モリス・ヒルクイット（著）・高橋正熊（訳）『社会主義大系——一名・社会主義の理論と実際』	マッケンザ（原著）・納武津（訳）『社会哲学原論』	マックス・ステイルネル（著）・辻潤（訳）『唯一者とその所有（人間篇）』	岩橋信二郎（編）『世界思潮叢書・第一編』（A・B・なし）	ピー・グラエヴェニツ（著）・高橋潜淵（正熊）（訳）『革命の悲哀』（A・B・6月）	アサラー・グリフィス（著）・森下岩太郎（訳）『警察と犯罪の秘密』（A・B・6月）	パートランド・ラッセル（著）・時国理一（訳）『正義と闘争』	根岸正吉 伊藤公敬（著）『労働詩集』どん底で歌ふ』	ジョン・スバルゴ（著）・浅野護（訳）『過激主義の心理』	岩野泡鳴（著）『情か無情か（長篇小説）』	野村隈畔（著）『未知の国へ』（A・B・5月）	社出版部（A・B・5月）	佐藤健（著）『米国よりの脚本集・第一集』……〔著作兼発行者〕佐藤健、〔発行所〕日本評論	井上恵宏（著）『日蓮遺文・新修養の道』	タマス・ヒューズ（著）・高橋潜淵（正熊）（訳）『国家社会主義の本質と其運用』	エル・トロツキー（著）・茅原退二郎（訳）『露西亜革命実記』	横田英夫（著）『農民の声を聞け』	ストッタード（著）・板橋卓一（訳）『工場委員制度』	納武津（著）『民族性の研究』	野村隈畔（著）『新文化への道』	ヘレン・マロー（著）・丸山茂樹（訳）『労働改造の原理』	佐野袈裟美（著）『社会改造の諸問題』

37	〔62〕	7	1	D	松本真一(著)・宮本憲吉(装画)『血笑記』
38	〔63〕	1	1	C・D	吉野臥城(著)『諸国拜見 日和下駄』
39	〔64〕	10	10	C・D	溝口白羊(編著)『尼港事変 国辱記』……〔再刊〕大正10年2月『校訂国辱記』
40	〔65〕	9	1	C・D	岩野泡鳴(作)・竹久夢二(装画)『女の執着』
41	〔66〕	15	15	C・D	高須梅溪(著)『明治大正五十二年史論』
42	〔67〕	20	20	C・D	近松秋江(著)『京美やげ』(A・B・10月)
43	〔68〕	10	5	D	白石実三(著)『姉妹』(A・B・11月)
44	〔69〕	20	20	D	溝口白羊(著)『明治神宮案内』(A・B・11月)
45	〔70〕	20	20	D	佐藤紅緑(著)『(長編小説)結婚前後』(A・B・11月)
46	〔71〕	11	1	C・D	羽太銳治(著)『通俗性欲学』(A・B・11月)
47	〔72〕	20	20	D	溝口白羊(編著)『明治神宮紀』(A・B・10月)
48	〔73〕	10	10	C・N	徳田秋声(著)『或売笑婦の話』
49	〔74〕	20	20	C・N	岩野泡鳴(著)『焰の舌(脚本全集)』(A・B・12月)
50	〔75〕	30	30	D	溝口白羊(著)『鎮座祭紀念・明治神宮写真帖』(A・B・12月)
51	〔76〕	12	15	D	羽太銳治(著)『性欲生活と両性の特徴』
52	〔77〕	20	20	C・D	沖野岩三郎(著)『恋の笈摺』
53	〔78〕	20	20	D	沖野岩三郎(著)・西村アヤ子(装画)『絵入り童話 頬白の歌』
6 大正10年(一九二一年)					
1	〔79〕	1	10	D	渡辺霞亭(著)『新比翼塚』
2	〔80〕	15	15	C・N	チャールス・ホルトン・クレー(著)・納部津(訳)『社会と我』
3	〔81〕	20	20	C・D	羽太銳治(著)・竹久夢二(装画)『性欲と恋愛』
4	〔82〕	20	20	D	佐藤紅緑(著)『何処まで』
5	〔83〕	2	18	C・N	バートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル論集』
6	〔84〕	20	20	C・D	稲葉君山(著)『最新支那史講話(近世之部)』
7	〔85〕			C・D	田山花袋(著)・竹久夢二(装画)『小説 渦』
8	〔86〕	3	5	C・D	木谷勝郎(著)『景気不景気の見方』
9	〔87〕			D	秋田雨雀(著)・竹久夢二(装画)『童話 東の子供へ』

33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	
[111]	[110]	[109]	[108]	[107]	[106]	[105]	[104]	[103]	[102]	[101]	[100]	[99]	[98]	[97]	[96]	[95]	[94]	[93]	[92]	[91]	[90]	[89]	[88]	
		7						6						5							4			
15	10	1	20	20	20	18	15	8	28	25	20	20	15	8	25	25	20	15	10	9	3	20	18	
C	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	D	C・D	C・D	C	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
渡平民(訳)『近代一幕物選集』(A・B…8月)	石井柏亭(著)『絵の旅(日本内地の巻)』	溝口白羊(編著)『東宮御渡欧記(乾の巻)』	ウオルホーフスキー(著)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第一編 茶碗の一生』	石井柏亭(著)『絵の旅(支那朝鮮の巻)』	久留義郷(著)『独塊及巴爾幹』敗残の国々を辿りて』	アンリ・ド・ラ・ヴォルIIアーヌウル・ガロバン(共著)・高瀬毅(訳)『世界一周飛行旅行』	木村荘八(著)『日本を見る』	西宮藤朝(訳)『ゴオルキ全集・第一巻 懺悔』	溝口白羊(著)『熱血史談・第三編 維新の人々』	高須梅溪(著)『近代史論叢書 近代文芸史論・上巻』	矢田挿雲(著)『俳句のねり方』	徳田秋声(著)『闇の花』	与謝野晶子(著)・石井柏亭II中沢弘光(画)『旅の歌』	下沢瑞世(著)『日本欧洲比較文化史』	田山花袋(著)『心の緒』	日本評論社出版部	世界思潮研究会(訳)『日米問題研究・戦争か平和か』…(発行)世界思潮研究会、(発売)	溝口白羊(著)『熱血史談・第二編 維新前後』	日本評論社出版部	吉井勇『生霊』	論社出版部	窪田空穂(著)『歌集 青水沫』	羅馬ン・ロラン(著)・細木盛枝(訳)『先駆者』…(発行)世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	福良竹亭(著)『洋行赤毛布』

34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52		
[112]	[113]	[114]	[115]	[116]	[117]	[118]	[119]	[120]	[121]	[122]	[123]	[124]	[125]	[126]	[127]	[128]	[129]	[130]		
20	30	8・6	10	10	15	15	15	15	15	20	20	9・3	3	10	13	15	15	15		
C・D	C・N	C・N	C・D	C・N	C・N	C・N	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N		
佐々木指月(著)『米国を放浪して』	クロイロフ(作)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第二編 ろしあ童話集・魚の舞踏』	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第一編』神祕主義と論理』	……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	エイチユ・ジー・ウエルズ(講述)・大畑達雄(訳)『エポック叢書・第一編』世界国家論』……	〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	赤木毅(著)『歌集・白帆の夢』	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第二編』自由教育に於ける科学の位置』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	オット・アウンテンリッツ(著)・小原正樹(訳)『エポック叢書・第二編』次の三大戦争』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	佐藤鋼次郎(著)『日米戦争夢物語』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	昇曙夢(訳)『ゴオルキイ全集・第二巻』零落者の群』	稲葉君山『对支一家言』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	望月小太郎(著)『軍備制限と日米関係』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	荻原井泉水(著)『新しき俳句の作り方』	アー・ドマンジエオン(著)・世界思潮研究会(訳)『エポック叢書・第四編』世界に於ける中心勢力の移動』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第三編』物理学对感覚与料の関係』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	長谷川零余子(編)『校註解釈』蕪村俳句全集』	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第四編』数学と形而上学者』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	アレキサンドル・クープリン(著)・世界思潮研究会(訳)『エポック叢書・第三編』労働露国の真相』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	ダーウキン(原著)・安東源治郎・岡本愛吉(共訳)『人間及動物の表情』	溝口白羊(著)『熱血史談・第四編』斬奸状』

70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53							
[148]	[147]	[146]	[145]	[144]	[143]	[142]	[141]	[140]	[139]	[138]	[137]	[136]	[135]	[134]	[133]	[132]	[131]							
16	11	3	11・1	25	25	20	20	18	16	15	10	10	7	10・2	29	26	21							
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	D	C・D	C・D	C・D							
ダイソーン(著)・ス波典二(訳)『小説 社会主義公爵』	阿良田弘三(著)『外遊の記録より』……〔注〕表紙カバーには「外遊記録より」とあるが、標題紙には「外遊の記録より」とある。また、標題紙には「日本評論社発行」とあるが、奥付記載の発行所は「暁聲社出版部」、発売所は「東京堂」および「北隆館」。	セヴラユー(著)・松原伝吾(訳)『死後の運命』	アンドレーフ(作)・伊藤欽二(訳)『救ひなき祈り』	……〔発行〕世界思潮研究会(発売)日本評論社出版部	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第六編 物質の究極的要素』	西宮藤朝(訳)『ゴオルキイ全集・第三巻 自由の生活へ』(A・B…11月)	納武林(著)『最新社会学講話』	浅野利三郎(著)『太平洋外交史』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部	徳田秋声(著)『断崖』	Kotaro Mochizuki, <i>The proposed reduction of the naval armaments of the United States and Japan</i> ……〔122〕の英訳版(A…なつ)	昇曙夢(著)『芸術の勝利・露西亜研究』	……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部	小山精一郎(著)『極東問題研究資料』西伯利の富源及政情——附・極東共和国国際管理論』	……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部	イナ』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部	ウィルヘルム・キスキー(著)・世界思潮研究会(訳)『エポック叢書・第六編』新興国ウクラ	方法』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第五編』哲学に於ける科学的	B…9月)	セルマ・ラゲルロフ(著)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第三編 漁夫の指輪』(A・	より』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部	ワグデマル・フォン・メンクデン(著)・高瀬毅(訳)『エポック叢書・第五編 過激派の獄中	寺田瑛(著)『陸上競技の研究』	溝口白羊(編著)『東宮御渡欣記(坤の巻)』

71	149	20	D	アナトール・フランス(著)・福永挽歌(訳)『世界童話傑作叢書・第四編』蜜蜂姫』
72	150	21	C・D	チャールズ・ノードマン(著)・浅野利三郎(訳纂)『誰にも解かる相対性原理の話』……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
73	151	27	C・D	荻原井泉水(著)『新に俳句を作る人に』(A・B・12月)
74	152	28	D	渡平民(編)・広川松五郎(装画)『一日一益お伽論語』
75	153	12	C・D	西宮藤朝(著)『現代文化の諸問題』
76	154	5	C・D	馬場胡蝶(訳)『ゴオルキイ全集・第四巻』国事探偵』
77	155	5	C・D	佐々木指月(著)『金と女から見た米国及米国人』(A・B・11月)
78	156	5	C・D	パートランド・ラッセル(著)・松本悟朗(訳)『ラッセル叢書・第七・八編』原因の觀念に就て／直知と叙述知』……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部 (A・B・10月)
79	157	7	C・D	佐藤惣之助(著)『佐藤惣之助詩集』新都市雑曲集・深紅の人』
80	158	10	D	ウォルター・エム・ガリカン(原著)・浅山於菟(訳)『教師並びに家庭の為の性欲学教科書』
81	159	11	C・D	吉田絃二郎(著)『白い鳩をたづねて』(A・なし)
82	160	12	C・D	宇治田直義(著)『支那研究・共和以後』
83	161	12	C・D	白鳥章吾(著)『詩に徹する道』
84	162	15	C・D	中村吉蔵∥河野義博(共著)『近代史論叢書』近代演劇史論』
7 大正11年(一九二二年)				
1	163	5	D	安東禾村(著)『意志療法・活力増進の秘訣』
2	164	10	C・D	佐々木指月(著)『亜米利加夜話』
3	165	10	C・D	福田正夫(編)『泰西社会詩人詩集』
4	166	10	C・D	福田正夫(編著)『日本社会詩人詩集』
5	167	13	C・D	マグニツキイ(著)・中村白葉∥金田常三郎(訳)『自由の一年』(A・B・2月)
6	168	17	C・N	エッチ・コール(著)・納武津(訳)『新社会組織の原理(機能的社會組織の提唱)』
7	169	25	C・D	尾瀬敬止(著訳)『ロシヤ十大革命家——附・ロシヤ革命小史』
8	170	28	C・D	宮島新三郎(訳)『ゴオルキイ全集・第六巻』三人』(A・B・2月)
9	171	31	C・D	仲木貞一(訳)『ゴオルキイ全集・第五巻』浮浪人』
10	172	2	C・D	小寺融吉(著)『近代史論叢書』近代舞踊史論』

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
[192]	[191]	[190]	[189]	[188]	[187]	[186]	[185]	[184]	[183]	[182]	[181]	[180]	[179]	[178]	[177]	[176]	[175]	[174]	[173]	
	8	7				6				5					4			3		
20	15	20	20	20	20	17	10	21	15	13	30	23	10	3	1	20	20	15	25	
C・N	D	C・N	C・D	C・N	C・N	C・N	(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	N	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	D	
久保和彦(編)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第五編 進化の話(生物篇)……(発行)	庄崎俊夫(著)『良子女王御生立の記』	寺田稔彦(著)『摂政宮御生立の記』	石田伝吉(恵峰)(著)『地方研究・新優良町村及優良団体』	松本悟朗(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第四編 哲学の話……(発行) 世界思潮研究会(発売) 日本評論社出版部(A・B:7月)	納部津(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第三編 社会の話……(発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	長谷川零余子(著)『近代史論叢書 第一卷・芭蕉時代』	若山牧水(選)『路行く人々の歌』	ウヰル・アウヰン(著)・弓家七郎(訳)『科学的軍備と次の戦争』	菊池悟郎＝溝口白羊(共編)『原敬全伝(地編)』……[177] [183] 復刻……御厨貴(監修)『歴代総理大臣伝記叢書10・11原敬(上)(下)』(ゆまに書房、平成18年2月)	浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第二編 文化の話……(発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	茂森唯士(著)『ガンデイ及びガンディズム』(A・B:5月)	潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第一編 宇宙の話……(発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	原田実(訳)『ゴオルキイ全集・第七卷 世の中へ出て』(A・B:5月)	森口多里(著)『近代史論叢書 近代美術史論』	菊池悟郎＝溝口白羊(共編)『原敬全伝・(天編)』	カテリン・ブラックフォード＝アーサー・ニューコムほか(原著)・安東源治郎(禾村)(訳纂)『性格解剖学』……(発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	ハヴァロック・エリス(著)・弓家七郎(訳)『産児制限と優生学』(A・B:なし)	行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	ミス・サンダース(著)・早坂二郎(訳)・相葉又一郎(編)『英国皇太子生立の記』……(発行) アンリ・ファアブル(著)・伊藤欽二(訳)『科学知識・少年少女の為に』

31	[193]		28	C・N	行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・7月) 大久保昶彦(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第七編 遺伝の話……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・10月)
32	[194]	9・20	20	C・D	与謝野晶子(著)『草の夢』
33	[195]	9・20	22	C・D	庄崎俊夫(著)『世界一周・港から港へ』
34	[196]			C	大久保昶彦(編)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第六編 進化の話(人類篇)……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・8月)
35	[197]	11・7		C	浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第九編 心理の話……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
36	[198]		15	C・N	大久保昶彦(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第八編 科学の話……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・10月)
37	[199]		18	C・D	ガンデイ(著)・岩下三良(訳)『ガンデイ論集』
38	[200]		20	C・D	金田常三郎(著)『独修自在・エスベラント講義——附録・小字彙』
39	[201]	12・4		C・D	遠藤楼外楼(著)『吾輩の最新銀行論』銀行罪悪史』
40	[202]		15	C・D	西野元(著)『云計制度要論』(A・な)……(再版)大正12年5月30日、(三版)大正15年(34)
41	[203]		23	C	大久保昶彦(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第一〇編 化学の話……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・11月)
8 大正12年(一九二三年)					
1	[204]	1・11		C・N	安島健(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第一一編 宗教の話……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
2	[205]		20	C・N	早坂二郎(著)『吾等何を学ぶべき乎』(第一期)第一二編 経済の話……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
3	[206]	2・1		C・D	鈴木茂三郎(著)『労働露西亜の国寶として』
4	[207]		10	C・D	遠藤麟太郎(著)『銀行罪悪史附録』ソレ見なさいの記』
5	[208]		20	C・D	仲木貞一(訳)『ゴオルキイ全集・第八巻 同志の者』
6	[209]		20	C・N	安島健(訳纂)・平栗要三(編輯)『世界新潮叢書・第一巻第一号』ファスシスチ——全世界的国家主義……(発行)世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	
[230]	[229]	[228]	[227]	[226]	[225]	[224]	[223]	[222]	[221]	[220]	[219]	[218]	[217]	[216]	[215]	[214]	[213]	[212]	[211]	[210]	
			6					5							4				3		
20	20	18	10	27	21	20	20	20	13	5	23	20	20	15	5	26	20	15	15	25	
C・D	C・N	C・(D)	C・N	C・D	C	D	C・D	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	D	C・N	C・D	C・N	
中田千畝(著)『最新登山案内』	レーニン(著)・茂森唯士(訳)『レーニン論文集』	大久保昶彦(補訳)『チルデン庭球術』	安島健(編)『最近主義思潮三十講』	大久保昶彦(著)『家庭電気学』	会、(発売) 日本評論社出版部	小田恪介(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第三編』	石田伝吉(著)『小説 理想の農家』	所) 日本評論社出版部	和3年(1933)	東京朝日新聞社経済部(編)『通俗財話』……(増補改訂) 大正13年(266)、(増補再改訂) 昭和3年(433)	川原次吉郎(著)『エスベラントの話』……(編輯者) 平栗要三、(発行者) 茅原茂	安島健(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第二編』	アンリ・バルビュウス(著)・青野季吉(訳)『闘争に赫く光』	ダニエル・ド・レオン(原著)・松本悟朗(訳)・世界思潮研究会版『同盟罷業の意義』……(編輯者) 平栗要三、(発行所) 日本評論社出版部(A・B・5月)	寺田瑛(著)『女子の運動競技』	山内封介(著)『出兵より撤兵まで』シベリヤ秘史』	中尾龍夫(著)『呪はれたる陸軍』	会、(発売) 日本評論社出版部	宮下文雄(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一編』	河瀬蘇北(著)『財界秘話(附・経済的国難論)』	荒木直範(著)『体育ダンスと社交ダンス』(A・B・5月)

28	[231]								荻原井泉水(著)『緑蔭に語る』
29	[232]								浅野利三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第四編』教育の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
30	[233]								安島健(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第五編』美学の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
31	[234]								伊藤正一(著)『通俗現代商業講話』
32	[235]								弓家七郎(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第六編』都市の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B…11月)
33	[236]								石黒修(著)『初等エスペラント教科書』……〔発行〕茅原茂、(発行所)世界思潮研究会、(発売)日本評論社、(増訂三版)大正13年5月
34	[237]								野間守人(著)『理想の庭園及公園』
35	[238]								信定龍太郎(編)『大震災・写生図解』
36	[239]								大内秀一郎(著)『通俗講話・建築の智識』
37	[240]								世界思潮研究会調査部(訳纂)『世界は日本の震災を如何に見たか(1)』世界パンフレット通信一八一号……〔発行所〕世界思潮研究会、(発売所)日本評論社出版部(A・B…大正13年1月)
38	[241]								佐伯矩(監修)・東京朝日新聞社(編)『栄養料理講習録』(A・B…11月)
									9 大正13年(一九二四年)
1	[242]								山内房吉(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一編』芸術の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
2	[243]								世界思潮研究会調査部(訳纂)『世界は日本の震災を如何に見たか(2)』世界パンフレット通信一八二号……〔発行所〕世界思潮研究会、(発売所)日本評論社出版部(A・B…2月)
3	[244]								時事新報社経済部(編)『大震災経済史』……〔編輯者〕石川連城、(発行)茅原茂、(発行所)日本評論社・時事新報社
4	[245]								イー・マーク・ハム・リー(述)・世界思潮研究会(抄訳)『音楽の新智識』世界パンフレット通信号外……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
5	[246]								茂森唯士(編)『少年詩人トーマス』(A・B…1月)
6	[247]								清水正己(著)『商業から見た欧米都会見物』

26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7							
[267]	[266]	[265]	[264]	[263]	[262]	[261]	[260]	[259]	[258]	[257]	[256]	[255]	[254]	[253]	[252]	[251]	[250]	[249]	[248]							
	6			5					4						3											
	5	20	10	10	10	29	25	17	16	15	15	11	25	20	10	?	25	20	10							
D	C・D	C・(D)	C・N	C・(D)	C・(D)	C	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・N	C・D							
山内房吉 (訳) 『世界童話名作選集 少年詩人の旅』 (A・B…5月)	東京朝日新聞経済部 (編) 『改訂増補 通俗財話』 …… (初版) 大正12年 [221]	東京商科大学庭球部 (編) 『バックハンドの研究』	吉野甫 (著) 『体験図解・自彊術講話』	山内封介 (編) 『日露会話独習——「附」新語 略語字彙』	マーク・ハム・リー (著) ・杉浦躬行 (訳) 『音楽の一般的智識』	研究会、(発売) 日本評論社出版部	大内秀一郎 (著) 『吾等何を学ぶべき乎 第二期第七編 建築の話』 …… (発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	吉野鉄拳禅 (著) 『政治家のカラクリ』	寺田瑛 (著) 『最新陸上競技法』 (A・B…2月)	6月5日	水島爾保布 (著) 『新東京繁昌記 (附) 大阪繁盛記』 (A・B…5月) …… (発売禁止改訂版)	ダウキン (原著) ・大畑達雄 (訳) 『人間の由来』	蘆川忠雄 (著) 『現代商業・流行の見方と流行品の売方』	新山虎治 (著) 『欧米参考・店員訓練及待遇法』	評論社出版部	大久保和彦 (著) 『趣味と実益の泉・今日の科学』 …… (発行) 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	住谷成一 (著) 『新聞雑誌の作方と説方』	安島健 (著) 『吾等何を学ぶべき乎 第二期第八編 論理の話』	〔注〕 東京朝日新聞大正13年11月4日朝刊五面に、既刊の広告が掲載されている。	中村八郎 (著) 『むだな悩みと時間をはぶく 国語の新しい学び方』 (A・B…2月) ……	所) 日本評論社 (A・B…大正12年11月、大正13年3月) …… (編纂者) 平栗要三、(発行所) 大阪朝日新聞経済記者 (共編) 『財界楽屋・新人と旧人』 ……	東京・大阪朝日新聞経済記者 (共編) 『財界楽屋・新人と旧人』 …… (編纂者) 平栗要三、(発行所) 日本評論社 (A・B…大正12年11月、大正13年3月) ……	〔発行〕 世界思潮研究会、(発売) 日本評論社出版部	平林初之輔 (著) 『日本自由主義義達史』 世界パンフレット通信四号 (他に上製版あり) ……	一八四号…… (発行所) 世界思潮研究会、(発売所) 日本評論社出版部 (A・B…3月)	世界思潮研究会調査部 (訳纂) 『世界は日本の震災を如何に見たか(3)』 世界パンフレット通信

27	[268]	C・N	10	?	?	(C)	長谷川猪三郎(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一〇編』歴史の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・5月)
28	[269]	C・D	25	7	5	C・D	ランケスター(著)・大畑達雄(訳)『地と海の秘密』
29	[270]	C・D	5	7	5	N	松川二郎(著)『珍珠を求めて』舌が旅をする』
30	[271]	N	5	7	5	N	大久保昶彦(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第一編』電気の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部(A・B・6月)
31	[272]		12	8	12		西田卯八(著)『吾等何を学ぶべき乎・第二期第六編』地理の話』……〔発行〕世界思潮研究会、(発売)日本評論社出版部
32	[273]	C・D	20	9	20	C・D	東京朝日新聞経済部(編)『国際財誌』
33	[274]	C・D	3	10	3	C・D	伊藤正一(著)『現代商工実務の学び方——商業編』(A・B・9月)
34	[275]	C・D	5			C・D	寺田瑛(著)『最新運動競技規則集』(A・B・9月)
35	[276]	C・D	10			C・D	新関荘蔵(著)『通俗財政経済大系・第八編』貿易の見方』
36	[277]	C・D	20			C・D	下田将美(著)『通俗財政経済大系・第一〇編』物価の見方』
37	[278]	C・D	20			C・D	土田清次(著)『現代商工実務の学び方——工業編』
38	[279]	C・D	?	11	?	C・D	松本七郎(著)『模範答案・代数問題粹』(A・B・11月)……東京朝日新聞大正14年1月25日朝刊七面では、『模範答案・代数問題粹』(280)より前の位置に既刊の広告が掲載されている。
39	[280]	N	5			N	山本宏一郎(著)『模範答案・代数問題粹』(A・B・なし)
40	[281]	C・D	10			C・D	森田久(著)『通俗財政経済大系・第三編』予算の見方』(A・B・10月)
41	[282]	C・D	10			C・D	西野喜与作(著)『通俗財政経済大系・第六編』金融の見方』
42	[283]	C・D	20	12	5	C・D	ジュール・コンパリウ(著)・田坂晋三郎(訳)『音楽の思想と法則』
43	[284]	C・D	5			C・D	マッケンザー(著)・浅野利三郎(訳)『社会哲学大系』
44	[285]	C・D	10			C・D	森田久(著)『通俗財政経済大系・第四編』税の見方』(A・B・11月)
45	[286]	C・D	10			C・D	三浦弘一(著)『通俗財政経済大系・第一四編』相場取引の見方』(A・B・11月)
46	[287]	C・D	10			C・D	石田伝吉(著)『農村改造十二講(附録・漁村振興の新提唱)』
47	[288]	N	10			N	納武津(編)『受験参考』英文解釈・作法・文法集成』
48	[289]	(C)	?	?	?	(C)	稲葉岩吉(著)『満州発達史(増補版)』……〔注〕天津図書館・遼寧省図書館所蔵(国内図書館に所蔵なし)……〔増訂版〕昭和10年〔983〕

26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
[315]	[314]	[313]	[312]	[311]	[310]	[309]	[308]	[307]	[306]	[305]	[304]	[303]	[302]	[301]	[300]	[299]	[298]	[297]	[296]	[295]	[294]	[293]	[292]	[291]	[290]
		6						5						4	3					2				1	10
20	5	1	22	22	22	15	1	1	20	20	15	10	10	1	10	10	20	10	10	10	10	10	10	10	10
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
政治教育会調査部(編)『普通政治講話』	堀江帰一(著)『通俗財政経済大系・第一編』国民経済の話』(A・B・5月)	日本評論社(編)『通俗経済講座(第五輯)』	東京朝日新聞経済部(編)『国際資本戦』	浅野利三郎⇨大久保昶彦(編輯代表)『現代常識大系・第八編』社会の見方』	川西正鑑(著)『通俗財政経済大系・第一編』商品取引の見方(一般商品篇)』	日本評論社(編)『通俗経済講座(第四輯)』	日本評論社(編)『通俗経済講座(第三輯)』	田川大吉郎(著)『普選の話』(A・B・4月)	清水都代三(著)『通俗財政経済大系・第二編』商品取引の見方(重要商品篇)』	浅野利三郎⇨大久保昶彦(編輯代表)『現代常識大系・第四編』人種の見方』	日本評論社(編)『通俗経済講座(第二輯)』	下田将美(著)『通俗財政経済大系・第二編』労働問題の見方』(A・B・3月)	堀川淳一郎(著)『通俗財政経済大系・第二〇編』工場経営の見方』(A・B・3月)	日本評論社(編)『通俗経済講座(第一輯)』	浅野利三郎⇨大久保昶彦(編輯代表)『現代常識大系・第五編』遺伝の見方』(A・B・2月)	和田信夫(著)『通俗財政経済大系・第二三編』米国経済の見方』	石田伝吉⇨吉野甫(共編)『公民教育・教授要綱の字引』	茂森唯士(著)『国際知識大系・第八編』露西亞の見方』	長永義正(著)『通俗財政経済大系・第一八編』保険の見方』	山崎靖純(著)『通俗財政経済大系・第九編』外国為替の見方』	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D

27	[316]	7・10	C・D	信夫淳平(著)『国際政治論叢・第一巻』国際政治の進化及現勢……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所)合資会社・日本評論社(A・B・6月)
28	[317]	15	C・D	中平亮(著)『欧・亜・弗の旅——君府から聖都まで』
29	[318]	?	C・D	牧野輝智(著)『農村金融』(A・なし、B・7月)……〔注〕翌年7月に牧野輝智(著)『農村問題大系・第五編』農業金融』(355)が刊行されている。
30	[319]	9・5	C・D	信夫淳平(著)『国際政治論叢・第二巻』国際政治の綱紀及連鎖……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所)合資会社・日本評論社
31	[320]	5	C・(D)	太田正孝(著)『読本シリーズ』経済読本……〔訂正版〕大正15年1月、〔改訂〕昭和2年(401)
32	[321]	15	C・D	尾崎行雄(著)『読本シリーズ』政治読本……〔増補改訂〕昭和11年(1068)
33	[322]	15	D	杉村広太郎(楚人冠)(著)『正誤取消の規定に関する誤解』
34	[323]	10・15	C・D	大阪朝日新聞社経済部(編)『商売うらおもて』〔正編〕
35	[324]	20	C・N	小汀利得(著)『通俗財政経済大系・第一五編』会社の見方
36	[325]	11・10	C・D	牧野輝智(著)『為替問題十講』
37	[326]	10	D	日本評論社(編)『通俗経済講座(追補)』
38	[327]	18	C・D	清沢冽(著)『米国の研究』
39	[328]	20	C・D	武内文彬(著)『通俗財政経済大系・第二編』支那経済の見方
40	[329]	20	C・D	北沢新次郎(著)『資本主義経済と社会主義経済』
41	[330]	28	C・D	清水長郷(著)『農村問題大系・第三編』農村財政
42	[331]	30	C・D	信夫淳平(著)『国際政治論叢・第三巻』国際紛争と国際連盟……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所)合資会社・日本評論社
43	[332]	12・20	C・D	下村宏(海南)(著)『新聞に入りて』
44	[333]	20	C・D	太田利一(著)『農村社会問題の趨嚮』
45	[334]	20	C・D	有馬農村問題研究所(編)『農村問題文献資料』
11 大正15年・昭和元年(一九二六年)				
1	[335]	1・1	C・D	武藤山治(著)『読本シリーズ』実業読本……〔訂正版〕2月
2	[336]	2・10	C・D	八木長人(著)『通俗財政経済大系・第一三編』食糧政策の見方』(A・B・1月)
3	[337]	18	C・D	小橋一太(著)『農村問題大系・第二編』農村自治

27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4		
[361]	[360]	[359]	[358]	[357]	[356]	[355]	[354]	[353]	[352]	[351]	[350]	[349]	[348]	[347]	[346]	[345]	[344]	[343]	[342]	[341]	[340]	[339]	[338]		
11・5	10・25	10・10	12	12	8・5	7・5	29	20	10	6・10	5・21	5・18	12	10	5	4・1	30	20	8	5	1	1	3・1		
C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・D	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・(D)	C・D		
志村源太郎(著)『農村問題大系・第一〇編 産業組合問題』	小平権一(著)『農村問題大系・第九編 農村副業問題』	ダーウィン(原著)・大畑達雄(訳)『雌雄淘汰』(A・B・11月)	土方成美(著)『我國民經濟と財政』	鈴木文史朗(郎)(著)『東西話行』	下村宏(海南)(著)『思ひ出草(二白の巻)』(A・B・7月)	牧野輝智(著)『農村問題大系・第五編 農業金融』	松岡正男(著)『通俗財政經濟大系・第一九編 植民及移民の見方』	尾崎行雄(著)『読本シリーズ 婦人読本』	太田正孝(著)『經濟そのをりをり』	太田正孝(著)『新聞そのをりをり』	年(4081)	西野元(著)『予算概論』	本位田祥男(著)『消費組合巡礼』	上山満之進(著)『農村問題大系・第八編 米穀問題』	永井亨(著)『読本シリーズ 社会読本』	山室宗文(著)『我國の金融市場(正編)』	西野元(著)『會計制度要論(第三版)』……〔初版〕大正11年(202)、〔再版〕大正12年5月30日	平、(発行所) 合資会社・日本評論社	信夫淳平(著)『國際政治論叢・第四卷 外政監督と外交機關』……〔著者兼発行者〕信夫淳平、(発行所) 合資会社・日本評論社	東京朝日新聞經濟部(編)『経営百態』	大阪朝日新聞經濟部(編)『商売うらおもて(続編)』	号(昭和10年10月)〔1042〕。	「經濟往来」一卷一号。〜一〇卷九号(昭和10年9月)。「継続後誌」「日本評論」一〇卷一〇号(昭和10年10月)〔1042〕。	原田讓二(著)『欧米新聞遍路』(A・B・2月)	遠藤麟太郎(著)『財政經濟私言』

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
[386]	[385]	[384]	[383]	[382]	[381]	[380]	[379]	[378]	[377]	[376]	[375]	[374]	[373]	[372]	[371]	[369]	[368]	[367]	[366]	[365]	[364]	[363]	[362]	
5	25	15	4	25	15	5	3	25	17	15	2	25	1	1	25	17	15	15	10	10	22	20	15	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
D	(D)	D	D	(D)	(D)	(D)	D	(D)	(D)	D	(D)	(D)	D	(D)	(D)	D	D	D	D	(D)	D	D	D	D

12 昭和2年（一九二七年）

- 武藤山治（著）『実業政治——吾々もし政局に立たば』
 西野喜与作・松本武雄（著）『通俗財政経済大系・第一七編』運輸交通の見方』
 東京朝日新聞社経済部（編）『金と物どう動く？』（A・B・12月）
 『社会経済体系・第一巻』
 下村宏（海南）（著）『読本シリーズ』財政読本』（A・B・11月）
 藤田進一郎（著）『東西記者行脚』
 本位田祥男（著）『人間復興』
 武藤山治（著）『普選のススメ』（A・B・11月）
 永井亨（著）『労働組合法論』
 『社会経済体系・第二巻』
- 「経済研究」四巻一号……（出版者）経済研究会、（発売）日本評論社。一巻一号（大正13年10月）〜三巻四号（大正15年10月）は岩波書店の刊行。五巻三号（昭和3年7月）で廃刊。
- 武藤山治（著）『実業政治参考資料』（A・B・2月）
 『社会経済体系・第三巻』
 南波礼吉（著）『株式講話』
 喜多取一郎（著）『通俗財政経済大系・第二四編』欧州経済の見方』
 社会科学研究所同人（編）『社会科学研究』一巻一号
 『社会経済体系・第四巻』
 河田嗣郎（著）『農村問題大系・第四編』農業経済』
 杉村広太郎（楚人冠）（著）『新聞紙の内外』
 ヒュー・ダルトン（著）・楠井隆三（訳）『財政学』
 『社会経済体系・第五巻』
 信夫淳平（著）『近代外交史論』（A・B・3月）
 小林丑三郎（著）『批判経済学』
 『社会経済体系・第六巻』
 穂積重遠（著）『読本シリーズ』民法読本』……〔改訂版〕昭和6年〔772〕、〔新訂版〕昭和

41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
[412]	[411]	[410]	[409]	[408]	[407]	[406]	[405]	[404]	[403]	[402]	[401]	[400]	[399]	[398]	[397]	[396]	[395]	[394]	[393]	[392]	[391]	[390]	[389]	[388]	[387]
11	30	24	18	10	10	10	10	5	30	28	20	10	30	18	17	10	10	30	15	15	14	25	25	13	10
C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D

- 11年〔1086〕、〔改版〕昭和18年〔1084〕、昭和23年『新民法読本』〔1898〕
 関谷龍吉（著）『読本シリーズ』教育読本』
 東京朝日新聞経済部（編）『経済随想』
 『社会経済体系・第七巻』
 小林丑三郎（著）『経済思想及学説史』（A・B：6月）
 野村兼太郎（著）『欧洲印象記』
 下田将美（著）『通俗財政経済大系・第二編 経済政策の話』
 『社会経済体系・第八巻』
 『社会経済体系・第九巻』
 藤山雷太（著）『南洋叢談』
 『社会経済体系・第九巻』
 前田繁一（著）『庶民金融』
 土方成美（著）『マルクス価値論の排撃』
 東京朝日新聞社会部（編）『夏日夜話』
 矢野恒太（編）『日本国勢図会（昭和二年版）』
 『社会経済体系・第一〇巻』
 太田正孝（著）『〔改訂〕経済読本』……〔初版〕大正14年〔320〕
 米山梅吉（著）『銀行行余録』
 泉哲（著）『最近国際法批判』（A・B：10月）
 『社会経済体系・第一一巻』
 吉野作造（編）『明治文化全集・第一四巻（翻訳文芸篇）』
 関口泰（著）『普選と新興勢力』
 下村宏（海南）（著）『皮と肉』
 太田正孝（著）『婦人経済読本（も一つの鏡改題）』……〔初版〕大正15年〔330〕
 小林丑三郎（著）『税制整理の根本批判（総選挙攻戦の争点）』
 牧野英一（著）『海を渡りて野をわたりて』
 『社会経済体系・第一二巻』
 高田保馬（著）『人口と貧乏』（A・B：12月）

39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	
[461]	[460]	[459]	[458]	[457]	[456]	[455]	[454]	[453]	[452]	[451]	[450]	[449]	[448]	[447]	[446]	[445]	[444]	[443]	[442]	[441]	[440]	[439]	[438]	[437]	[436]	
										6				5						4						
20	18	18	18	15	15	15	15	5	1	1	31	25	25	15	30	28	25	15	15	15	5	25	20	20	18	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
青木得三(著)『日本国債論』	石原護(著)『社会科学叢書・第三編』ギリシャ人の哲学思想』	土方成美(著)『財政学講義(上巻)』	〔第三版〕昭和22年(1861)	本位田祥男(著)『社会科学叢書・第一編』英国経済史要』……(改訂)昭和13年(1255)、『	与謝野晶子(著)『心の遠景』	長岡隆一郎(著)『世界の動き』	深井英五(著)『通貨調節論』……(増訂)昭和4年(552)、『(新訂)昭和13年(1288)	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三巻』	小島精一(著)『(産業統制史論・第三分冊)英国産業組織論』	新生協会同人(著)『新社会の基調』	土方成美(著)『日本経済研究(上巻)(下巻)(附録)』(全三巻)(A・B・3月)	『社会経済体系・第一八巻』	猪谷善一(著)『日本資本主義——其歴史・機構・改造』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三巻』	吉野作造(編)『明治文化全集・第二巻(正史篇・上巻)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二四巻』	『社会経済体系・第一七巻』	山室宗文(著)『我国の金融市場(統編)』	小島精一(著)『(産業統制史論・第二分冊)恐慌と独占』	吉野作造(編)『明治文化全集・第三巻(時事小説篇——附・統訳訳文芸篇)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二巻』	滝本誠一(著)『日本経済典籍考』	上杉慎吉(著)『(読本シリーズ)憲法読本』(A・B・2月)	長尾半平(著)『禁酒叢話』	『社会経済体系・第一六巻』	下村宏(海南)(著)『思ひ出草(二黒の巻)』

- 40 (462) C・D 吉野作造(編)『明治文化全集・第一七卷(新聞篇)』
- 41 (463) C・D 土田杏村(著)『社会科学叢書・第二編』社会哲学』
- 42 (464) C・D 堀尾夫(著)『社会科学叢書・第四編』リカアド派社会主義』
- 43 (465) C・D グスタフ・カッセル(著)・田村敏雄||毛里英於菟(共訳)『世界の貨幣問題(購買力平価説)』
- 44 (466) C・D 山川均(著)『社会科学叢書・第六編』社会主義サヴェート共和国同盟の現勢』
- 45 (467) C・D 末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法學全集・第四卷』
- 46 (468) C・D 『社会経済体系・第一九卷』
- 47 (469) C・D 吉野作造(編)『明治文化全集・第四卷(憲政篇)』
- 48 (470) C・D 末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法學全集・第五卷』
- 49 (471) C・D 永井亨(著)『日本民族論』
- 50 (472) C・D 永井亨(著)『日本国体論』
- 51 (473) C・D エル・エル・ブライス(著)・石渡六三郎(訳)『英国経済学史』
- 52 (474) C・D 高橋亀吉(著)『日本資本主義発達史』……〔増補改訂〕昭和4年(1900)、『改訂増補』昭和14年〔1930〕
- 53 (475) C・D マックス・アドラー(著)・山田秀男(訳)『思想家としてのマルクス』
- 54 (476) C・D 末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法學全集・第六卷』
- 55 (477) C・D 吉野作造(編)『明治文化全集・第一卷(宗教篇)』(A・B・8月)
- 56 (478) C・D 高柳賢三(著)『社会科学叢書・第五編』法律哲学』
- 57 (479) C・D 山口正太郎(著)『労働法原理』
- 58 (480) C・D 波多野鼎(著)『社会科学叢書・第七編』社会思想史概説』
- 59 (481) C・D 高田保馬(著)『社会科学叢書・第八編』経済学』
- 60 (482) C・D 小松堅太郎(著)『社会科学叢書・第九編』社会学概論』
- 61 (483) C・D 高島素之(著)『社会科学叢書・第一〇編』地代思想史』
- 62 (484) C・D 中川友長(著)『統計研究法の基礎』
- 63 (485) C・D 『現代経済学全集・第一卷』……土方成美(著)『経済学総論』
- 64 (486) C・D 大藏省理財局(編)『昭和三年調』金融事項参考書』(A・B・10月)
- 65 (487) C・D 上田貞次郎(著)『社会科学叢書・第一一編』株式会社論』(A・B・10月)

4	3	2	1		84	83	82	81	80	79		78	77	76	75		74	73	72	71	70	69	68	67	66		
[510]	[509]	[508]	[507]		[506]	[505]	[504]	[503]	[502]	[501]		[500]	[499]	[498]	[497]		[496]	[495]	[494]	[493]	[492]	[491]	[490]	[489]	[488]		
			1							12							11							10			
20	20	15	10		25	20	15	10	5	1		25	20	15	10		1	30	25	25	20	15	15	15	30		
C・D	C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・D		C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		
<p>14 昭和4年（一九二九年）</p> <p>波多野鼎（著）『社会科学叢書・第二編』新カント派社会主義（A・B・10月）</p> <p>末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第七巻』</p> <p>吉野作造（編）『明治文化全集・第二巻（文学芸術篇）』（A・B・9月）</p> <p>『社会経済体系・第二〇巻』（完結）</p> <p>巖山政道（著）『社会科学叢書・第二三編』行政学総論</p> <p>那須皓（著）『村上隆吉』吉村万治』内藤久寛（著）『現代産業叢書・第一巻』農業・鉱業編</p> <p>那須皓（著）『農村問題大系・第一編』農村社会問題』</p> <p>下田将美（著）『世界経済の革新運動』</p> <p>経済史研究会（編）『経済史研究』一号……（継続） 〓五〇号（昭和8年12月）、一一巻一号（昭和9年1月） 〓三二巻一号（昭和20年1月）。</p> <p>末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第八巻』</p> <p>『現代経済学全集・第三巻』……高田保馬（著）『景気変動論』（A・9月、B・月表記なし）</p> <p>吉野作造（編）『明治文化全集・第一巻（皇室篇）』</p> <p>武藤山治』杉浦宗三郎』村山義路』今岡純一郎』河村驍』野田鶴雄』中井励作』高杉晋（著）</p> <p>『現代産業叢書・第五巻』工業編（下巻）』</p> <p>杉村楚人冠（著）『湖畔吟』</p> <p>小林良正（著）『社会科学叢書・第一四編』ドイツ経済史要』（A・B・10月）</p> <p>末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第九巻』</p> <p>『現代経済学全集・第一八巻』……神戸正雄（著）『财政学・日本租税論』</p> <p>吉野作造（編）『明治文化全集・第一八巻（雑誌篇）』</p> <p>土方成美（著）『财政学講義（下巻・第一分冊）』……〔注〕『下巻・第二分冊』も発刊されているが、国会図書館蔵本には奥付がないため、刊行年月日不明。〔合冊版〕昭和4年〔516〕</p> <p>末弘厳太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第一〇巻』</p> <p>孫田秀春（著）『労働法論（巻の二・各論上）』（A・B・2月）</p> <p>白柳武司（著）『財界太平記（正）』（A・B・2月）</p> <p>安川雄之助』中川正左』米山梅吉』長満欽司』村田省蔵（著）『現代産業叢書・第三巻』商業・</p>																											

- 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5
- 〔534〕 〔533〕 〔532〕 〔531〕 〔530〕 〔529〕 〔528〕 〔527〕 〔526〕 〔525〕 〔524〕 〔523〕 〔522〕 〔521〕 〔520〕 〔519〕 〔518〕 〔517〕 〔516〕 〔515〕 〔514〕 〔513〕 〔512〕 〔511〕
- 20 17 15 10 10 4 30 15 10 10 10 20 17 17 17 17 15 15 25 10 10 10 10 2・10
- C・(D) C・(D) C・D C・(D) C・(D) C・N C・(D) C・(D) C・D C・(D) C・(D) C・D C・D C・D C・D C・D C・(D) C・D C・D C・D C・D C・N C・(D)
- 交通編』
- 末弘徹太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第一巻』
- 荒木光太郎（著）『社会科学叢書・第一七編 奥太利学派経済学』
- 小野清一郎（著）『社会科学叢書・第一八編 法律思想史概説』
- 茗荷房吉（著）『日本政党的現勢』……〔著者兼発行者〕茗荷房吉、〔発行所〕合資会社・日本評論社
- 田中広太郎（著）『時事問題講座6〕 地方財政』
- 土方成美（著）『財政学講義（下巻）』……〔下巻・第一分冊〕昭和3年（306）
- 『現代経済学全集・第三巻』……河田嗣郎（著）『経済学原論』
- 下村宏（海南）（著）『新聞常識』
- 藤井悌（著）『社会科学叢書・第一五編〕 各国労働党・社会党・共産党』
- 稲畑勝太郎（著）『欧亜に於て』
- 新明正道（著）『社会科学叢書・第一六編〕 独逸社会学』
- 三谷隆正（著）『社会科学叢書・第一九編〕 国家哲学』
- 吉野作造（編）『明治文化全集・第二巻（社会篇）』
- 末弘徹太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第二巻』
- 吉野作造（編）『明治文化全集・第三巻（正史篇・下巻）』
- 渡辺鉄蔵（著）『時事問題講座12〕 経営合理化』
- 『現代経済学全集・第一九巻』……小島昌太郎（著）『保険学要論』
- 藤山雷太（著）『稲畑勝太郎（松永安右衛門）今井五介（著）『現代産業叢書・第四巻 工業編（上巻）』
- 山川均（著）『社会科学叢書・第二〇編〕 インタナショナルの歴史』
- 末弘徹太郎（編輯代表者）『現代法学全集・第一三巻』
- 吉野作造（編）『明治文化全集・第二〇巻（文明開化篇）』
- 山崎寛次郎（著）『貨幣概論』
- 矢作栄蔵（編）『山崎（寛次郎）教授還暦祝賀記念 経済学研究（第一巻・経済編）（第二巻・金融編）』
- 『現代経済学全集・第一六巻』……小島精一（著）『工業政策・交通政策』

49	48		47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
[555]	[554]		[553]	[552]	[551]	[550]	[549]	[548]	[547]	[546]	[545]	[544]	[543]	[542]	[541]	[540]	[539]	[538]	[537]	[536]	[535]
10	10		7	15	30	25	21	20	18	15	15	10	6	30	25	20	20	20	20	10	5
C・D	C・D		C	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
上山満之進(著)『戦争と硬貨』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一六卷』		明治文化研究会(編)『明治文化』五巻七号……一年(『第一巻』一冊(大正14年2月)〜三年(『第三巻』二冊(昭和2年2月)の雑誌名は「新旧時代」(福永書店、四年三冊(昭和3年3月)〜五巻六号(昭和4年6月)の雑誌名は「明治文化研究・新旧時代」(三省堂。日本評論社版は、六巻三号(昭和5年3月)で「第一期」休刊、昭和9年1月「第二期」復刊(七巻一号)、昭和19年1月終刊(一七巻一号))。]	深井英五(著)『増訂』通貨調節論』……【初版】昭和3年(455)、『新訂』昭和13年(1288)	吉野作造(編)『明治文化全集・第一五巻(思想篇)』	藤井悌(著)『社会科学叢書・第三編』ファッシズム』	松本勝太郎(著)『海外を巡りて』	栗栖起夫(著)『工場・鉄道及鉱業抵当法論』	ゲオルグ・イエリネック(著)・美濃部達吉(訳)『社会科学叢書・第二四編』人権宣言論・外編』	白柳秀湖(著)『西園寺公望伝』	『現代経済学全集・第九巻』……林癸未夫(著)『社会問題各論』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一五巻』	土田杏村(著)『社会科学叢書・第二二編』ユートピア社会主義』	穂積八束(著)『憲法制定之由来』	池田成彬(著)『森広成』井上進之助(著)『藤原銀次郎』矢野恒太(著)『現代産業叢書・第二巻』金融・保険編』	牧野輝智(著)『時事問題講座5』国際貸借』	田辺忠男(著)『社会科学叢書・第二一編』労働組合運動』	『現代経済学全集・第二〇巻』……汐見三郎(著)『統計学』	吉野作造(編)『明治文化全集・第八巻(法律篇)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一四巻』	美濃部達吉(編)『不戦条約中「人民の名に於て」の問題』

50	[556]	C・D	15		『現代経済学全集・第六卷』……本条栄三郎 黒正徹(著)『日本経済史』
51	[557]	C・D	15		牧野輝智(著)『貨幣学の実証的研究』
52	[558]	C・D	20		アルフレット・アモン(著)『社会科学叢書・第二五編 正統派経済学』
53	[559]	C・D	25		石川三四郎(著)『社会科学叢書・第二六編 社会主義運動史』
54	[560]	C・D	5	8	阿比留乾二(著)『満洲問題とは何ぞや』
55	[561]	C・D	10		吉野作造(編)『明治文化全集・第九卷(経済篇)』
56	[562]	C・D	15		末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一七卷』
57	[563]	C・D	15		下村宏(海南)(著)『鯨を読む話』
58	[564]	C・D	15		『現代経済学全集・第四卷』……高島素之(著)『マルクス経済学』
59	[565]	C・D	20	9	石榑茂(著)『石榑茂歌集』
60	[566]	C・D	1	1	下村宏(海南)(著)『さし潮ひき汐』
61	[567]	C・D	1		小島精一(著)『産業統制史論・第一分冊 企業集中論(増補再版)』……〔初版〕昭和2年〔418〕
62	[568]	C・D	5		梅嵩南(著)『三民主義と階級闘争』
63	[569]	C	15		新渡戸稲造(編)『太平洋問題叢書1 満洲問題研究』……〔発行〕太平洋問題調査会、〔発売〕日本評論社
64	[570]	C	15		太平洋問題調査会(編)『太平洋問題叢書2 米国人の観たる満洲問題』……〔発行〕太平洋問題調査会、〔発売〕日本評論社
65	[571]	C・D	15		末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一八卷』
66	[572]	C・D	15		高島素之(著)『批判マルクス主義』
67	[573]	C・D	25		『現代経済学全集・第七卷』……高橋誠一郎(著)『経済学史』
68	[574]	C・D	25		大阪毎日新聞社・東京日日新聞社エコノミスト部(編)『エコノミスト叢書1 日本金融資本戦』
69	[575]	C・D	5	10	尾崎行雄(著)『罵堂漫談』
70	[576]	C・D	5		向井鹿松(著)『新経営者学——新時代の事業とその経営者』
71	[577]	C・D	10		末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第一九卷』
72	[578]	C・D	10		土方成美(著)『時事問題講座1 金解禁』
73	[579]	C・D	10		土田杏村(著)『時事問題講座9 思想問題』
74	[580]	C・D	15		『現代経済学全集・第二三卷』……高瀬荘太郎(著)『会计学』

96	[602]	C・D	15	尾崎行雄(著)『時事問題講座8)軍備制限』
97	[603]	C・D	15	『現代経済学全集・第一卷』……高垣寅次郎・荒木光太郎(著)『貨幣制度』
98	[604]	C・D	20	岡美(著)『社会経済批判』
99	[605]	C・D	20	橋本伝左右衛門(著)『農村問題大系・第七編)農業土地問題』
100	[606]	C・D	25	吉野作造(著)『時事問題講座7)对支問題』
101	[607]	C・D	25	林房雄(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一卷)密偵』(A・B・昭 and 5年1月)
102	[608]	C・D	30	栗栖赳夫(著)『社債信託法原論』(A・B・昭 and 5年1月)
103	[609]	C・D	30	滝本誠一(著)『乞食袋』(A・B・昭 and 5年1月)
104	[610]	C・D	30	平林たい子(著)『日本プロレタリア傑作選集・第二卷)敷設列車』(A・B・昭 and 5年1月)
15	昭和5年(一九三〇年)			
1	[611]	C・D	5	金子洋文『日本プロレタリア傑作選集・第三卷)赤い湖』
2	[612]	C・D	5	黒島伝治(著)『日本プロレタリア傑作選集・第四卷)氷河』
3	[613]	C・D	5	村山知義(著)『日本プロレタリア傑作選集・第五卷)暴力団記』
4	[614]	C・D	5	徳永直(著)『日本プロレタリア傑作選集・第六卷)能率委員会』
5	[615]	C・D	5	片岡鉄兵(著)『日本プロレタリア傑作選集・第七卷)血』
6	[616]	C・D	10	岩藤雪夫(著)『日本プロレタリア傑作選集・第八卷)誰が殺したか?』
7	[617]	C・D	10	葉山嘉樹(著)『日本プロレタリア傑作選集・第九卷)セムガ』
8	[618]	C・D	10	前田河広一郎(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一〇卷)セムガ』
9	[619]	C・D	10	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二卷』
10	[620]	C・D	10	松崎実(著)『伴天連見聞録・殺生関白行状記』
11	[621]	C・D	15	『現代経済学全集・第一〇卷』……橋爪明男(著)『貨幣論』
12	[622]	C・D	20	河津暹(著)『時事問題講座10)中小農工商問題』(A・B・2月)
13	[623]	C・D	20	藤森成吉(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一卷)蜂起』
14	[624]	C・D	20	小林多喜二(著)『日本プロレタリア傑作選集・第二卷)不在地主』
15	[625]	C・D	22	奈良正路(著)『判例を中心としたる普選法』(A・B・2月)
16	[626]	C・D	25	今中次麿(著)『社会科学叢書・第二九編)政治政策学』
17	[627]	C・D	2	鶴見祐輔(著)『自由人の旅日記』

44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18
(654)	(653)	(652)	(651)	(650)	(649)	(648)	(647)	(646)	(645)	(644)	(643)	(642)	(641)	(640)	(639)	(638)	(637)	(636)	(635)	(634)	(633)	(632)	(631)	(630)	(629)	(628)
25	25	25	20	20	15	15	5 5	25	20	20	20	20	20	10	4 10	25	25	18	10	10	3 10	20	15	10	10	10
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
白柳秀湖(著)『続・財界太平記』	大森洪水(著)『裁判夜話』	牧野輝智(著)『時事問題講座5) 国際貸借』	小川郷太郎(著)『新銀行法理由』	『現代経済学全集・第一七卷』……上田貞次郎(著)『商業政策』	吉野作造(編)『明治文化全集・第二卷(正史篇(上卷))』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二八卷』	蠟山政道(著)『現代政治学全集・第一一巻(無産政党論)』	『現代経済学全集・第五卷』……本位田祥男(著)『欧洲経済史』(B…7月)	カアル・クニス(著)・山口正吾(訳)『貨幣論』	シンクレア(著)・前田河広一郎(訳)『資本』	小島昌太郎(著)『交通経済論』	小島精一(著)『モルガン王国——弗資本の神々に就いて』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二七巻』	山内一雄(著)『ソウェート共和国——その政治・経済・社会』	吉野作造(著)『現代政局の展望』	大口喜六(著)『時事問題講座3) 財政整理』	松平齊光(著)『社会科学叢書・第三〇編) フランス政治思想史』(A・B…4月)	大内民恵(著)『教育制度改革概論』	貴司山治(著)『日本プロレタリア傑作選集・第一三巻) 敵の娘』	渡辺鉄蔵(著)『時事問題講座12) 産業合理化』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二六巻』	中川与之助(著)『財政現象の研究』	藤村一雄(著)『学生思想問題雑話——彼等はどうして左傾したか』	田中広太郎(著)『時事問題講座6) 地方財政』	吉野作造(編)『明治文化全集・第三卷(軍事篇・交通篇)』	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二五巻』

70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	
[680]	[679]	[678]	[677]	[676]	[675]	[674]	[673]	[672]	[671]	[670]	[669]	[668]	[667]	[666]	[665]	[664]	[663]	[662]	[661]	[660]	[659]	[658]	[657]	[656]	[655]	
		10							9			8						7				6				
	20	5	20	20	20	20	15	15	15	20	15	12	5	25	25	20	20	15	25	20	15	5	5	25	25	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三三卷』	立作太郎(著)『平時国際法論』	末弘徹太郎(著)『法窓雑話』……〔改訂〕昭和13年10月	尾崎敬義(著)『随筆・秋花譜』	下村海南(宏)(著)『盗忠』	田村謙治郎(著)『列国の財政恢復と財政論考』(A・B:11月)	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三二卷』	下村宏(海南)(著)『飴ん棒』	矢野恒太(著)『財界立直しの一策——税制改革論(所得単税の主張)』	信夫淳平(著)『現代政治学全集・第三二卷』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三一巻』	高橋清吾(著)『現代政治学全集・第一〇巻』現代の政党	山本条太郎(著)『経済国策の提唱——国民繁栄への道』(A・B:7月)	菅野和太郎(著)『日本商業史』(A・B:7月)	(合冊)版)昭和13年〔1214〕(選集)昭和24年〔2000〕	河合栄治郎(著)『トーマス・ヒル・グリーンの思想体系(上巻)』(A・B:6月)……〔改装	吉野作造(編)『明治文化全集・第三三巻(軍事篇・交通篇)』	戸沢鉄彦(著)『現代政治学全集・第一巻』政治学概論(B:9月)	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三〇巻』	『現代経済学全集・第一四巻』……牧野輝智(著)『金融論』	佐藤寛次(著)『肥料問題研究』(A・B:8月)	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第二九巻』	小川郷太郎(著)『時事問題講座2) 国債整理』	清水玄(著)『健康保険法提要』	尾佐竹猛(著)『現代政治学全集・第六巻』日本憲政史	アーヴィング・フィッシャー(著)・山本米治(訳)『貨幣錯覚』	松好貞夫(著)『土佐藩経済史研究』

97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	76	75	74	73	72	71	
[706]	[705]	[704]	[703]	[702]	[701]	[700]	[699]	[698]	[697]	[696]	[695]	[694]	[693]	[692]	[691]	[690]	[689]	[688]	[687]	[686]	[685]	[684]	[683]	[682]	[681]	
20	20	20	20	15	5	5	5	30	20	20	20	15	15	15	15	15	15	15	15	5	1	11	28	22	20	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
楠木徳二(著)『自然科学叢書・第一編』森林の生理』	本庄栄治郎(著)『人口及人口問題』	勝田貞次(著)『財界は何うなる——昭和六年財界観測』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三五卷』	永雄策郎(著)『植民地鉄道の世界経済的及世界政策的研究』(A・B・昭和6年1月)	ダブリュー・シー・シュルター(著)・東京政治経済研究所	田村市郎(著)『経済統計学』……〔再刊〕昭和6年3月	奈良正路(著)『法律学の根本問題』	美濃部達吉(著)『現代政治学全集・第七卷』議会議度論』……〔第二版〕昭和21年〔1821〕	吉野信次(著)『我国工業の合理化』	『現代経済学全集・第二五卷』……猪間驥一(編)『日本経済図表』	末弘徹太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三四卷』	前田河広一郎(著)『新作長編小説選集』支那から手を引け』	黒島伝治(著)『新作長編小説選集』武装せる市街』	今野賢三(著)『新作長編小説選集』女工戦』	金子洋文(著)『新作長編小説選集』魚河岸』	伊藤永之介(著)『新作長編小説選集』暴動』	細田源吉(著)『新作長編小説選集』陰謀』	葉山嘉樹(著)『新作長編小説選集』稚き闘士』	青野季吉(著)『新作長編小説選集』或る時代の群像』	三土忠造(著)『経済非常時の正視』	汐見三郎(著)『社会科学叢書・第三編』財政統計』(A・B・10月)	(合冊)版)昭和13年〔124〕、(選集)昭和24年〔2043〕	河合栄治郎(著)『トーマス・ヒル・グリーンの思想体系(下巻)』(A・B・10月)……〔改装	笠森伝繁(著)『農村社会学』(A・B・9月)	小牧近江(著)『新作長編小説選集・第七』異国の戦争』(A・B・11月)	巖山政道(著)『現代政治学全集・第九卷』行政組織論』

98	[707]	20	C・D	小南又一郎・土屋栄吉(合著)『自然科学叢書・第二編 飲酒と犯罪及び禁酒』
99	[708]	20	C・D	東京政治経済研究所(著)『(一九二〇—三〇) 政治経済年鑑——最近十年の日本』
100	[709]	20	C・D	中瀬古六郎(著)『自然科学叢書・第三編 近代化学概観』
101	[710]	25	C・D	『現代経済学全集・第一二巻』……高垣寅次郎(著)『銀行論』
102	[711]	25	C・D	吉野作造(著)『時事問題講座7 対支問題』
103	[712]	?・?	C・D	日本評論社経済研究所(編)『日刊景気特報』……(注) 東京朝日新聞昭和5年11月5日夕刊4面広告、12月27日朝刊1面広告、昭和6年9月19日朝刊1面広告
1	16 昭和6年(一九三一年)			
2	[713]	1・1	C・N	日本評論社経済研究所(編)『昭和六年・日本経済大観』経済往来六巻一号附録
3	[714]	10	C・D	渡辺宗太郎(著)『現代政治学全集・第一二巻』自治制度論』
4	[715]	10	C・N	向井鹿松(著)『産業の合理化』
5	[716]	20	C・D	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三六巻』
6	[717]	20	C・D	東京朝日新聞経済部(編)『明るい里暗い村』
7	[718]	25	C・D	本位田祥男(著)『消費組合運動』
8	[719]	25	C・D	前田繁一(著)『新街頭経済学』
9	[720]	28	C・D	岩崎重三(著)『自然科学叢書・第四編』農業地質学』
10	[721]	30	C・D	須藤詩登美(著)『社会理想パンフレット・第一輯』マルクス主義討伐論(弁証法的人生社会観の排撃)』
11	[722]	2・1	C・D	レオン・フルラス(著)・早川三代治(訳)『理論経済学叢書・第二編』純粹経済学入門』
12	[723]	1	C・D	高田保馬(著)『労働価値説の吟味』
13	[724]	5	C・D	カール・カウツキー(著)・藤井悌二(訳)『唯物史観・第一巻・自然と社会——第一書』精神と世界』
14	[725]	20	C・D	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三七巻』
15	[726]	20	C・D	橋爪明男(著)『社会科学叢書・第三二編』英国の株式銀行』
16	[727]	3・10	C・D	大谷武夫(著)『自然科学叢書・第五編』酵素研究法』
17	[728]	20	C・D	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三八巻』
18	[729]	20	C・D	馬場敬治(著)『経営学方法論』

40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22		21	20	19	18	
[752]	[751]	[750]	[749]	[748]	[747]	[746]	[745]	[744]	[743]	[742]	[741]	[740]	[739]	[738]	[737]	[736]	[735]	[734]		[733]	[732]	[731]	[730]	
5	5	5	5	5	1	6 1	20	20	20	17	11	11	10	10	5 5	20	17	15		4 1	25	20	20	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D		C・N	C・D	C・D	C・N	
フランツ・オッペンハイマー(著)・谷川弘実(訳)『社会文庫・第六冊』社会問題及社会主義	ゲオルク・ハルム(著)・西原重吾(訳)『社会文庫・第五冊』社会主義は経済的に可能なりや	エヂュアード・ダヴィッド(著)・森力(訳)『社会文庫・第四冊』社会主義と農業	ルドルフ・シュタムラー(著)・国松久彌(訳)『社会文庫・第三冊』唯物史観批判	ベーム・パウエルク(著)・竹原八郎(訳)『社会文庫・第一冊』マルクス学説体系の終焉	河津暹(編)『矢作(栄蔵)教授官歴祝賀記念』農業経済の諸問題	河津暹(編)『矢作(栄蔵)教授官歴祝賀記念』農業政策の諸問題	鶴見祐輔(著)『現代米国論』	福永恭助(著)『挑むアメリカ』	金持一郎(著)『植民政策』	『現代経済学全集・第二巻』……河田嗣郎(著)『土地経済論』／永井亨(著)『人口論』／	佐藤安之助(著)『満蒙問題を中心とする日支関係——共存共栄か? 共亡共枯か?』	宇野木忠(著)『台所経済学』	大森洪太(著)『裁判異譚』	石井満(著)『女人極楽郷』……(新訂版) 昭和14年5月	評論社(三巻一、二、三号(昭和9年3月)まで。四巻一、二、三号(昭和9年4月)より岩波書店に変更。	社会経済史学会(編)『社会経済史学』一巻一、二、三、四号……(発行所) 社会経済史学会、(発売所) 日本	高田保馬(著)『歌集・ふるさと』	池田芳郎(著)『自然科学叢書・第七編』美しき高電圧の現象	立作太郎(著)『戦時国際法論』	『現代経済学全集・第一五巻』……那須皓(著)『農業政策』	東京帝国大学経済学会(編)『経済学論集』新刊一巻一、二、三、四号……(発行所) 東京帝国大学経済学	森口繁治(著)『現代政治学全集・第八巻』選挙制度論	野満隆治(著)『自然科学叢書・第六編』海洋学	渡辺良吉(著)『日印綿業論』

41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
[753]	[754]	[755]	[756]	[757]	[758]	[759]	[760]	[761]	[762]	[763]	[764]	[765]	[766]	[767]	[768]	[769]	[770]	[771]	[772]	
25	7・?	15	8・1	10	12	15	15	17	20	18	20	25	10・1	1	1	1	10	10	10	
C・D	C・D	C・N	C	C・D	C	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
(A・B:8月)	阪本勝(著)『戯曲資本論』	日本評論社経済研究所(編)「企業週報」(A・B:なし)……〔注〕東京朝日新聞昭和6年6月26日夕刊4面広告	勝田貞次(著)『フーヴァ提案と日本の景気——附録・東株の前途観』経済往来六卷七号臨時増刊……〔発行〕日本評論社経済研究所(A:なし、B:9月)	クラウゼン(著)・和田英作 岩井尊人(訳編)『絵画の制作と鑑賞』	『現代経済学全集・第八卷』……河合栄治郎(著)『社会政策原理』……〔改訂〕昭和10年(1010)、『選集』昭和22年(1846)	勝田貞次(著)『英独財界混乱と日本の景気』経済往来六卷八号臨時増刊(A:なし、B:10月)	尾崎行雄 田川大吉郎(共著)『銀行国営論——一名・金本位制廃止論』	斎藤良衛(著)『ソヴィエト露国の極東進出』	松田慎三(著)『デパートメントストア』……〔改訂版〕昭和8年(895)、『新訂版』昭和14年(1341)	末弘厳太郎(編輯代表者)『現代法学全集・第三九卷』〔完結〕	下条康磨(著)『社会政策の理論と施設』	石黒直男(著)『消費組合の世界は躍る』	『現代経済学全集・第二四卷』……中西寅雄(著)『経営経済学』	本庄栄治郎(著)『近世日本の研究・その一』近世の経済思想〔正篇〕……〔続編〕昭和13年(1301)	岩崎卯一(著)『社会統制理論の研究』	ヴィクトル・カートライン(著)小田垣光之輔(訳)『社会文庫・第七冊』社会主義の科学的基礎に関する考察』	アンリー・セイ(著)・花沢武夫(訳)『社会文庫・第二冊』唯物史観と歴史の経済的説明』	勝本正晃(著)『法学挿話』	奈良正路(著)『法学の基礎観念(法律学の根本問題・第二卷)』	穂積重遠(著)『読本シリーズ』改訂・民法読本』……〔初版〕昭和2年(386)、『新訂版』昭和

6	5	4	3	2	1	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
[796]	[795]	[794]	[793]	[792]	[791]	[790]	[789]	[788]	[787]	[786]	[785]	[784]	[783]	[782]	[781]	[780]	[779]	[778]	[777]	[776]	[775]	[774]	[773]
	3・20	2・10		20	1・4		25	25	20	20	18	10	10	23	23	23	20	15	15	15	11・10	25	25
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D

17 昭和7年（一九三二年）

- 和11年〔1086〕〔改版〕昭和18年〔1684〕、昭和23年『新民法読本』〔1898〕
- 『現代経済学全集・第二巻』……小泉信三（著）『経済原論』……〔第六版〕昭和12年〔1146〕
- 今中次麿（著）『現代政治学全集・第四巻』政治学説史』
- 東京朝日新聞経済部（編）『地方産業座談会』
- 谷口吉彦（著）『商業組織の特殊研究——米の配給組織に関する研究』（A・B・12月）
- 大西清治（著）『自然科学叢書・第八編』労働医学概論（A・B・12月）
- ジョン・パーマー・ガビット（著）・安藤明道（訳）『阿片』
- 星野直樹（著）『日本租税法概論』
- 神戸正雄（著）『現行税制及其整理』
- 新明正道（著）『欧洲の危機』
- 岡部平太（著）『スポーツ行脚』
- カルル・フォン・チスカ（著）・藤川宏（訳）『社会文庫・第八冊』経済生活の社会化』
- カール・ディール（著）・桜井誠之（訳）『社会文庫・第九冊』資本主義の法律的基础』
- アドルフ・ウェーバー（著）・竹原八郎（訳）『社会文庫・第九冊』資本主義の終末？』
- 正路倫之助||吉村寿人（著）『自然科学叢書・第九編』生物の物理化学』
- 『現代経済学全集・第二六巻』……猪間驥一（編）『世界経済図表』
- エム・ツガン・パラノウスキー（著）・鍵本博（訳）『英国恐慌史論』
- 神戸正雄（著）『最近地方税問題』
- 河合栄治郎（著）『大学生活の反省』
- 平田晋策（著）『読本シリーズ』陸軍読本』（B・なし）
- 小出満二（著）『農村問題大系・第二編』農村教育』
- オスカー・シュテイリッヒ（著）・高後虎雄（訳）『新貨幣学入門』
- レオナルド・シドニー・ウルフ（著）・篠田七郎（訳）『社会文庫・第二一冊』協働組合と産業の将来』
- 高市慶雄（編）『明治文献目録』
- 穂積重遠（著）『判例百話』

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	18	38	37	36	35	34	33	32	31		
[842]	[841]	[840]	[839]	[838]	[837]	[836]	[835]	[834]	[833]	[832]	[831]	[830]	[829]	昭和8年(一九三三年)	[828]	[827]	[826]	[825]	[824]	[823]	[822]	[821]		
	3	25	20	20	20	2	25	25	20	20	20	20	1		25	22	22	20	12	11	15	25		
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D		C・D	C・D	C・D	C・N	C・D	C・D	C・D	C・D		
上田貞次郎(著)『最近商業政策』	平貞蔵(著)『満蒙移民問題』	清水玄(著)『社会保険要論』(A・B・3月)	B・3月)	フリードリッヒ・レンツ(著)・小田垣光之輔(訳)『社会文庫・第一七冊) 国家と社会』(A・	永田稠(著)『農村更生叢書4) 農村人口問題と移植民』	小平権一(著)『農村更生叢書3) 農業金融と農家負債整理』	アルヴィン・エッチ・ハンセン(著)・小川福太郎(訳)『景気循環論』	賀川豊彦(著)『農村更生叢書2) 農村社会事業』	本位田祥男(著)『農村更生叢書1) 農村更生の原理』	沢村康(著)『協同組合叢書・第二卷) ロシアの協同組合』	ハイブリッヒ・ディーツェル(著)・渡辺信一(訳)『社会文庫・第一六冊) 価値論の学説価値』	レオ・ケッペル(著)・藤田清(訳)『社会文庫・第一五冊) 限界効用説とマルクス主義』	館デジタルコレクション表紙扉には「8・1・18禁止」の書き込みがある)	末弘巖太郎(著)『法窓漫筆』……〔注〕発禁により2月20日に改訂再版発行(国立国会図書	荒木光太郎(著)『貨幣制度概説』	『現代経済学全集・第二九卷』……増井光蔵(著)『賠償問題』／蠟山政道(著)『世界恐慌と	『現代経済学全集・第一九卷』……増井光蔵(著)『賠償問題』／蠟山政道(著)『世界恐慌と	大平久(著)『法律相談』……〔改訂版〕昭和12年〔1175〕	横尾惣三郎(著)『農村教育の革新』	山崎勉治(著)『協同組合叢書・第四卷) 日本消費組合運動史』	エー・アンドレアース(著)・町田義一郎(訳)『英蘭銀行史論』	小川太一郎(著)『読本シリーズ) 航空読本』……〔改訂版〕昭和13年〔1222〕	郎(著)『金本位と世界恐慌』／東畑精一(著)『日本農業恐慌』／永雄策郎(著)『満洲問題』	『現代経済学全集・第二八卷』……上田貞次郎(著)『最近世界及日本の関税政策』／高垣寅次

15	[843]	C・D	20	千石興太郎(著)『農村更生叢書5) 産業組合の諸問題』
16	[844]	C・D	20	南崎雄七(著)『農村更生叢書6) 農村の衛生と医療』
17	[845]	C・D	20	檀崎敏雄(著)『空中戦争論』
18	[846]	C・D	20	下村宏(海南)(著)『日本の行くべき道』
19	[847]	C・D	30	大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第五卷(論文篇)』(A・B・4月)
20	[848]	C・D	5	武田春次郎(著)『武田春次郎遺稿)管理通貨論』
21	[849]	C・D	15	長守善(著)『ナチス—ヒットラー運動・思想・政策』
22	[850]	C・D	20	土田杏村(著)『読本シリーズ)思想読本』
23	[851]	C・D	20	本庄栄治郎(編)『日本経済史研究所紀要・第一冊)改版・日本経済史文献』……(初版)『日本経済史文献』(内外出版株式会社、大正13年9月20日)
24	[852]	C・D	20	永井治良(著)『農村更生叢書7) 蚕糸業経済』
25	[853]	C・D	20	関谷龍吉(著)『農村更生叢書8) 農村社会教育』
26	[854]	C・D	25	『現代経済学全集・第三〇卷』……高瀬荘太郎(著)『企業財政論』
27	[855]	C・D	25	高田保馬(著)『理論経済学叢書・第三編)経済原論』
28	[856]	C・D	10	カール・カウツキー(著)・佐多忠隆(訳)『唯物史観・第一卷・自然と社会—第二書)人間性』
29	[857]	C・D	10	大森洪太(著)『裁判綺聞』
30	[858]	C・D	20	山崎寛次郎(著)『読本シリーズ)貨幣読本』
31	[859]	C・D	20	東浦庄治(著)『農村更生叢書9) 農業団体の統制』
32	[860]	C・D	20	東畑精一(著)『農村更生叢書10) 農産物物価統制』
33	[861]	C・D	20	本位田祥男(著)『欧洲の憶ひ出』
34	[862]	C・D	25	大藏省(編)『昭和八年度予算の解説(非常時財政の内容)』
35	[863]	C・D	30	大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第七卷(史料篇)』
36	[864]	C・D	14	『現代経済学全集・第三一卷(完結)』……馬場敬治(著)『技術と経済』
37	[865]	C・D	15	土方成美(著)『国民所得の構成』
38	[866]	C・D	20	奥田讓 大谷武夫(著)『自然科学叢書・第一二編)水産食品化学』
39	[867]	C・D	20	田沢義鋪(著)『農村更生叢書11) 農村更生と青年教育』
40	[868]	C・D	20	有働良夫(著)『農村更生叢書12) 耕地整理と土地改良』

66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41
[894]	[893]	[892]	[891]	[890]	[889]	[888]	[887]	[886]	[885]	[884]	[883]	[882]	[881]	[880]	[879]	[878]	[877]	[876]	[875]	[874]	[873]	[872]	[871]	[870]	[869]
			11			10								9					8						7
25	25	20	1	25	25	25	25	25	25	25	23	23	19	1	29	25	25	20	20	29	20	20	20	17	1
C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・D	C・(D)	C・D	C・D	C・D	C・D	C・(D)	C・D	C・(D)	C・(D)	C・D	C・D	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・(D)	C・N
麻生慶次郎(著)『農村更生叢書20』土壌と肥料』……〔改訂版〕昭和13年〔1289〕、〔第三	今和次郎(著)『農村更生叢書19』農村家屋の改善』	榛村専一(著)『新聞法制論』	森武夫(著)『日本統制経済叢書・第六卷』戦時統制経済論』(A・B:10月)	コンラード・メツレロウイチ(著)・大塚一朗(訳)『経営経済学総論』	諸井貫一(著)『現代日本工業全集18』セメント』	池田英次郎(著)『経営学研究会(編輯) 経済学叢書・第一冊』原価と操業率』	大蔵公望(著)『日本統制経済叢書・第五卷』日滿統制経済論』	岡田温(著)『農村更生叢書18』農村更生の原理と計画』	村上龍太郎(著)『農村更生叢書17』我国の畜産』	フアンチェスコ・ニツティ(著)・田中力(訳)『社会文庫・第一八冊』ボルシェビズムとファッシズムと民主主義』	堀真琴(著)『現代政治学全集・第一六卷』現代独裁政治論』	松井茂(著)『読本シリーズ』警察読本』……〔改訂版〕昭和16年7月	中平亮(著)『大亜細亜主義』	水野祐吉(著)『百貨店経営学』	堀江保蔵(著)『日本経済史研究所研究叢書・第一冊』我国近世の専売制度』(A・B:9月)	渡辺全(著)『農村更生叢書16』木材と木炭』	高橋偵造Ⅱ坂口謙一郎(共著)『農村更生叢書15』農産製造の原理と実際』	柳沢健(著)『日本発見』	水上滝太郎(著)『貝殻追放(第一)』	吳文炳(著)『信託経済論』	渡辺全(著)『農村更生叢書14』造林と山村の副業』	関慎之介(著)『農村更生叢書13』蔬菜園芸』	岡崎文規(著)『職業統計問題研究』	小島精一(著)『非常時統制経済論』	経済往来編輯部(中目尚義)(編)『新作三十三人集』経済往来夏季増刊(A・B:9月)

67	[895]			C・D	版)昭和22年〔854〕(第四版)昭和23年〔996〕 松田慎三(著)『改訂・デパートメントストア』……〔初版〕昭和6年〔761〕、〔新訂版〕昭和14年〔341〕
68	[896]	12・5		C・D	社会経済史学会(編)『平沼淑郎博士古稀祝賀記念 社会経済史論集』
69	[897]	25		C・D	岩原拓(著)『農村更生叢書21 農村の体育運動』
70	[898]	25		C・D	高橋広治(著)『農村更生叢書22 農村更生と養鶏』
19 昭和9年(一九三四年)					
1	[899]	1・5		C・D	小松堅太郎(著)『現代哲学全集・第一六卷 社会学』(A・B・昭和8年12月)
2	[900]	20		C・D	山口正(著)『社会事業研究』(A・B・2月)
3	[901]	23		C・D	五来欣造・広瀬哲士(著)『現代政治学全集・第二卷 政治思想』
4	[902]	25		C・D	福島繁三(編)『農村更生叢書23 篤農青年体験記録』
5	[903]	25		C・D	石黒忠篤(著)『農村更生叢書24 農林行政』
6	[904]	25		C・D	カール・デュール・フォン・ポルトキウィツチ(著)・渡辺信一(訳)『社会文庫・第一九冊 マルクス地代論に関する二つの批判的研究』
7	[905]	25		C・D	三浦悦郎(著)『生氣躍動する産業朝鮮』(A・B・2月)
8	[906]	2・5		C・D	谷口吉彦(著)『百貨店・連鎖店・小売店問題』
9	[907]	7		C・D	大阪市役所(編)『明治大正大阪市史・第六卷(法令篇)』(A・B・1月)
10	[908]	20		C・D	池田秀雄(著)『満洲統治論』
11	[909]	20		C・D	佐藤寛次(編)『農業大辞典(上巻)』
12	[910]	3・1		C・D	日本評論社(編)『満洲国読本』経済往来九卷三号別冊附録(A・なし)
13	[911]	18		C・D	河合良成(著)『国家改造の原理及其実行——主として経済的觀察』
14	[912]	22		C・D	石川一郎(著)『現代日本工業全集13 化学肥料』
15	[913]	4・1		C・D	山崎延吉(著)『農村更生叢書25 農村非常時と農民道の真髓』(A・B・11月)
16	[914]	1		C・D	菅野秀雄(著)『海の生命線・南洋の楽園』経済往来九卷四号別冊附録(A・なし)
17	[915]	1		C・D	日本評論社(編)『ロシア読本』経済往来九卷四号別冊附録(A・なし)
18	[916]	1		C・D	下村海南(宏)(著)『心の花叢書』歌集・白雲集』
19	[917]	6		C・D	立作太郎(著)『時局国際法論』

46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	
[944]	[943]	[942]	[941]	[940]	[939]	[938]	[937]	[936]	[935]	[934]	[933]	[932]	[931]	[930]	[929]	[928]	[927]	[926]	[925]	[924]	[923]	[922]	[921]	[920]	[919]	[918]	
13	9	8	7	3	7	20	20	15	10	8	5	27	27	20	20	20	18	17	11	4	5	29	20	20	20	19	
C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
山崎寛次郎（監修）・橋爪明男（編）『金融大辞典（第二卷・コ〜ハ）』	池上謙三（著）『現代哲学全集・第一〇巻 論理学』……〔第二版〕昭和22年〔1837〕	馬場敬治（著）『経営学の基礎的諸問題』	茂森唯士（著）『日本と蘇聯邦』	大蔵省（編）『昭和九年度予算の解説』	東郷実Ⅱ長谷川了ほか（著）『南洋読本』経済往来九巻七号別冊附録（A・B…昭和10年2月）	谷口吉彦（著）『新経済全集7』貿易統制論』	生島広治郎（著）『新経済全集5』世界経済論』	アーヴィング・フィッシャー（著）・大岩鉄（編訳）『リフレーションの基礎理論』	山崎寛次郎（監修）・橋爪明男（編）『金融大辞典（第一巻・ア〜ケ）』	美濃部達吉（著）『憲法と政党——国法学資料五篇』	入沢達吉（著）『読本シリーズ』内科読本』（A・B…9月）	大阪市役所（編）『明治大正大阪市史・第四巻（経済篇・下）』（A・B…6月）	土方成美（著）『読本シリーズ』国民経済読本』	佐藤寛次（編）『農業大辞典（下巻）』	高木寿一（著）『新経済全集23』戦時財政論』（A・B…4月）	内田武男（著）『新経済全集6』ブロック経済論』（A・B…4月）	渡辺万次郎（著）『読本シリーズ』金銀読本』	齊藤隆夫（述）『革新論及び革新運動を戒む』	柳沢健（著）『異国趣味』	穂積重遠（著）『有閑法学』	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D
シュランニー・ウンゲル（著）・堀経夫Ⅱ三谷友吉（共訳）『現代経済学概観』		末弘徹太郎（著）『法学入門』	松井春生（著）『新経済全集1』経済参謀本部論』（A・B…3月）	高木友三郎（著）『新経済全集4』厚生経済論』（A・B…3月）	大阪市役所（編）『明治大正大阪市史・第一巻（概説篇）』（A・B…5月）	美濃部達吉（著）『議会政治の検討』																					

72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	
[970]	[969]	[968]	[967]	[966]	[965]	[964]	[963]	[962]	[961]	[960]	[959]	[958]	[957]	[956]	[955]	[954]	[953]	[952]	[951]	[950]	[949]	[948]	[947]	[946]	[945]	
						11						10								9			8			
29	20	20	20	10	5	3	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	15	15	15	7	20	20	20	20	15	
C・N	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	C・D	
社・殿松堂書店	三菱経済研究所 〔編〕『世界経済の現勢』……〔発行所〕三菱経済研究所、〔発売元〕日本評論社・殿松堂書店	勝野金政〔著〕『赤露脱日記』	加田哲二〔著〕『新経済全集32〕維新以後の社会経済思想概論』	佐藤貞二郎・竹内正巳〔著〕『新経済全集9〕満蒙資源論』	原伝〔著〕『日本経済史研究所研究叢書・第二冊〕松江藩経済史の研究』	近藤康男〔著〕『農村問題大系・第六編〕農村経済の諸問題』	我妻栄〔編〕・杉村章三郎・後藤清・木村亀二・我妻栄〔著〕『ナチスの法律』	四宮恭二〔著〕『農業更生叢書26〕農業保険の理論と実際』	山中六彦〔著〕『農村更生叢書27〕保育事業と農繁託児所』	野村兼太郎〔著〕『新経済全集31〕徳川時代の社会経済思想概論』	小野武夫〔著〕『新経済全集27〕農村経済論』	高須芳次郎〔著〕『明治文学史論』	美濃部達吉〔著〕『美濃部達吉論文集・第一卷〕日本憲法の基本主義』	菅円吉〔著〕『宗教復興』	森武夫〔著〕『新経済全集22〕戦時経済論』	岩崎重三〔著〕『新経済全集17〕金と銀』	菅円吉〔著〕『現代哲学全集・第二〇卷〕現代の宗教哲学』	友松円諦〔著〕『読本シリーズ〕宗教読本』	室伏高信〔著〕『論語』	木下正中〔著〕『読本シリーズ〕産科婦人科読本』	河合栄治郎〔著〕『欧洲最近の動向』	板倉正一〔著〕『新経済全集16〕金問題概論』	高島佐一郎〔著〕『新経済全集13〕管理通貨論』	山崎寛次郎〔監修〕・橋爪明男〔編〕『金融大辞典（第三卷・ヒソワ）』	八木芳之助〔著〕『新経済全集28〕米穀統制論』	ランダワー〔著〕・田中力〔訳〕『社会文庫・第二〇冊〕計画経済と流通経済』

82	81	80	79	78	77	76	75	74	73
[980]	[979]	[978]	[977]	[976]	[975]	[974]	[973]	[972]	[971]
									12
									5
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)

大阪市役所（編）『明治大正大阪市史・第三卷（經濟篇・中）』（A・B…11月）
 河村又介（著）『現代政治学全集・第一五卷 直接民主政治』
 宗正雄（著）『農村更生叢書28 品種改良法』
 長守善（著）『新經濟全集11 ファッショ的統制經濟』
 宮田喜代蔵（著）『新經濟全集18 平価切下論』
 柳沢健（著）『柳沢健隨筆集 三鞭酒の泡』
 杉山平助（著）『氷河のあくび』
 河合栄治郎（著）『ファッシズム批判』
 室伏高信（著）『孔子』
 阿部真之助（著）『新人物論』